第 15 章 東中学校西遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

東中学校西遺跡は入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川とさかい川の間の標高は 20.0 ～ 21.0m の低位台地に位置する。現在は平坦であるが、区画整理事業以前は遺跡の北側に、西から北東側にかけて埋没河川 (現在用水路) が流れ、東側には僅かな窪地もみられた。

遺跡は埋没河川と窪地の縁に位置するが、遺構は埋没河川からやや離れた遺跡の中央部から西部にかけて分布する。周辺の遺跡は、前述した埋没河川を隔てた北側約 50m に東久保西遺跡、南東に東久保南遺跡が隣接する。

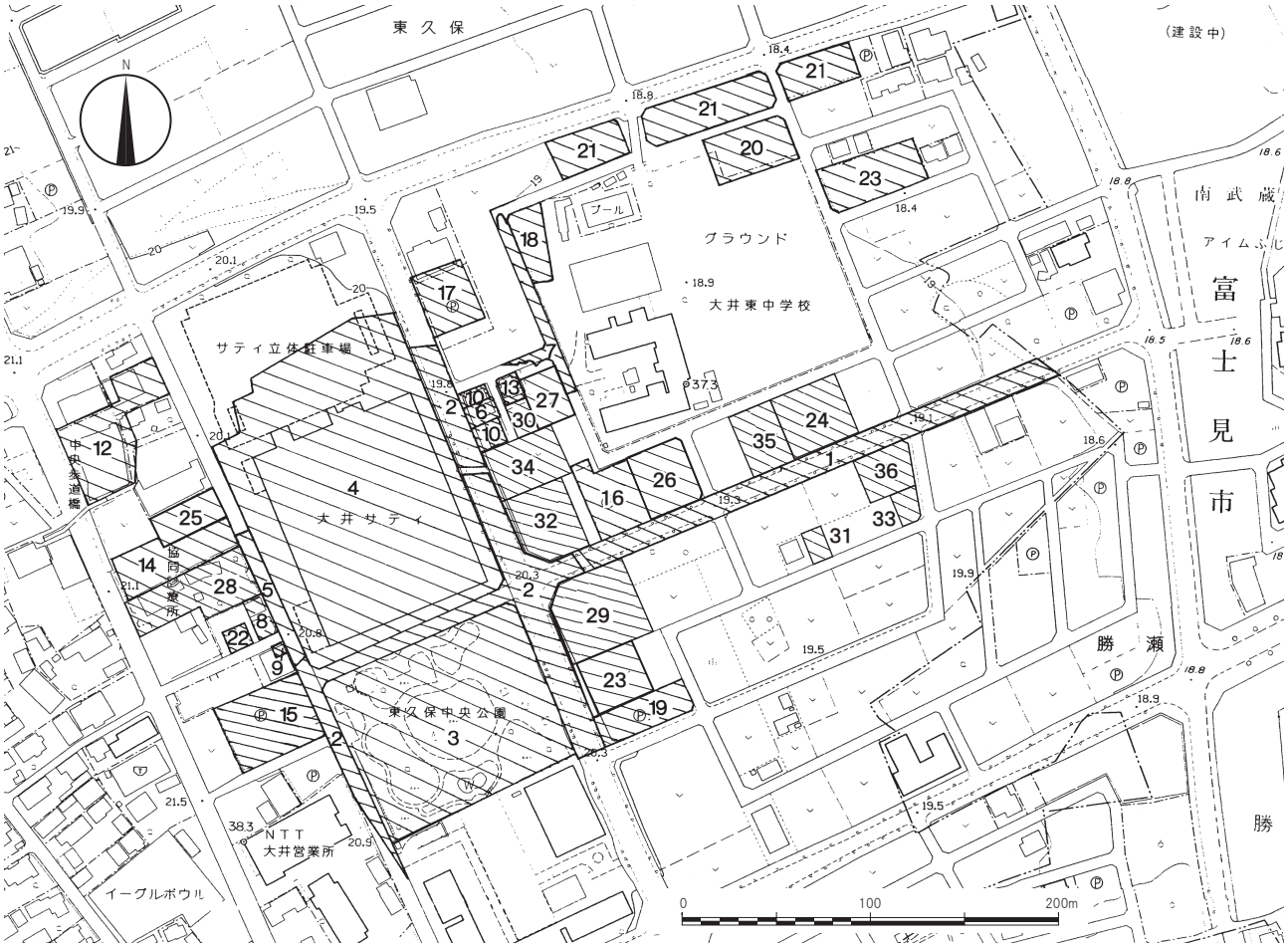
遺跡の時期は縄文時代では早期の炉穴群、縄文時代中期前葉の屋外埋甕、落とし穴や集石土坑などを検出している。中・近世では墓壙・溝・柵列などが確認されている。本遺跡の調査は 1995 年以来 2018 年 4 月現在、35 ヶ所で試掘調査および発掘調査が行われている。

Ⅱ　東中学校西遺跡第 36 地点

（1）調査の概要

調査は駐車場造成に伴うもので、原因者より 2015 年 7 月 7 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 8 月 11 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1.3m のトレンチ 5 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 50 ㎝である。

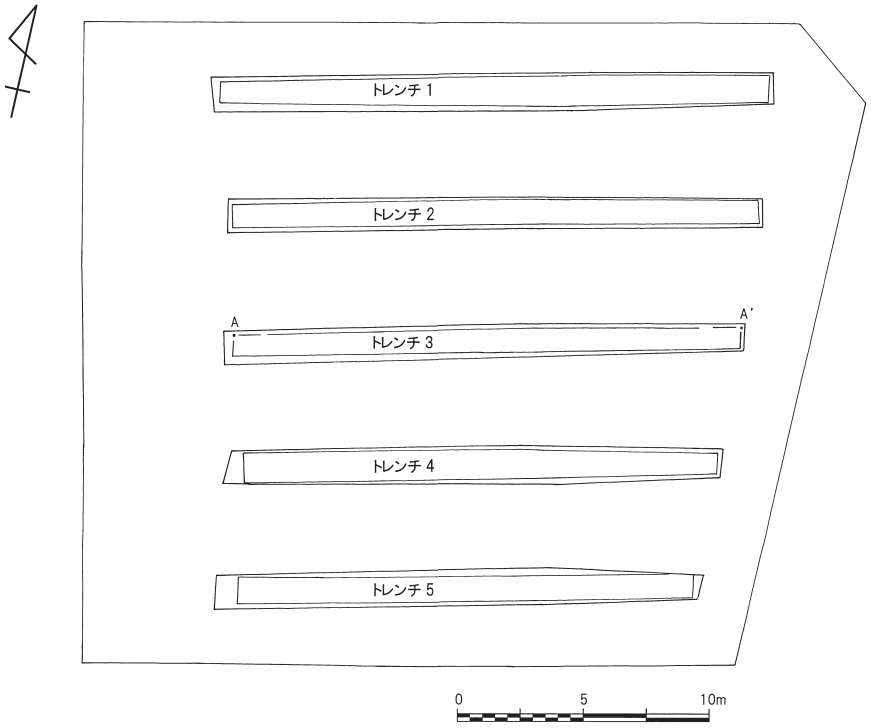
調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

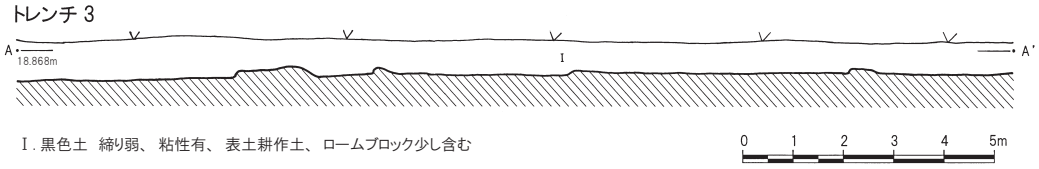


第 65 図　東中学校西遺跡の地形と調査区（1/4,000)

第 40 表　東中学校西遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間（　）は試掘調査	面積（㎡）	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	東久保5511、526、531　他	1994.10.6～11.9	3,168	区画整理道路	縄文：土坑１、ピット８	遺跡調査会報告第14集
2	亀久保466-1他	〈Ａ区〉1996.10.7～11.15 〈Ｂ区〉1996.12.12～17 〈Ｃ区〉1997.3.5～19	3,308	区画整理道路	縄文早期：炉穴26、集石土坑１、落とし穴４、土坑２、ピット26、中近世の溝５	遺跡調査会報告第14集
		〈Ｄ区〉1997.6.12～19 〈Ｅ区〉1997.7.8～8.8	1,168			
		〈Ｆ区〉1996.1.18～31 〈Ｇ区〉1996.1.25	880			
3	東久保465、500他	（1996.8.29～9.13）1996.10.7～21	10,200	区画整理公園	縄文：落とし穴１、溝１、土坑６、ピット４、石鏃１	町内遺跡群Ⅵ・ 遺跡調査会報告第14集
4	東久保326他	（1997.2.6～10.29）1997.6.12～8.8	24,681	店　舗	縄文：落とし穴３、集石土坑２、屋外埋甕１、近世：土壙１、溝９、柵列１、ピット多数	町内遺跡群Ⅵ・Ⅶ・ 遺跡調査会報告第14集
5	東久保487-1、474-4他	1997.6.12～7.24	688	区画整理道路	縄文早期：炉穴６、落とし穴１、溝２、ピット２	遺跡調査会報告第14集
6	亀久保325-1・7・8・9	（1997.6.26～27）	135.62	事務所	遺構遺物なし	町内遺跡群Ⅶ
7	東久保402-1他	1997.7.21～31	636	区画整理道路	柵列１、ピット５	遺跡調査会報告第14集
8	東久保44街区13・14画地	1997.8.5～9	251.94	個人住宅	縄文：落とし穴１、溝１、ピット９、（落とし穴は第５地点で報告）	町内遺跡群Ⅶ
9	東久保45街区２・３画地	（1997.8.19～9.1）	324.7	個人住宅	溝２、ピット９	町内遺跡群Ⅶ
10	東久保42街区１画地	（1997.12.10～20）	135.19	店　舗	遺構遺物なし	町内遺跡群Ⅶ
11欠						
12	東久保44街区３・23・24画地	（1998.1.6～24）	1,879	店　舗	遺構遺物なし	町内遺跡群Ⅶ
13	東久保２街区12画地	（1998.6.9～11）	218	専用住宅	ピット１	町内遺跡群Ⅷ
14	東久保44街区11・20・26画地	（1998.6.23～26）	1,231	共同住宅	ピット２、風倒木痕	町内遺跡群Ⅷ
15	東久保45街区1・41・6画地	（1998.8.17～24）	2,649	店舗専用駐車場	中世以降：ピット２	町内遺跡群Ⅷ
	ふじみ野市1-9-5・6・7	（2013.2.18～22）	1,834	集合住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群15
16	東久保42街区６画地	（1998.8.17～31）	1,347	店舗専用駐車場	ピット２	町内遺跡群Ⅷ
17	東久保38街区７・８画地	（1998.8.19～24）	1,131	店舗専用駐車場	縄文：石鏃１	町内遺跡群Ⅷ
18	亀久保319-1	（1999.2.8～24）	850	テニスコート	ピット５、柵列１	町内遺跡群Ⅷ
19	東久保52街区８画地	（1999.3.17）	944	アスファルト駐車場	遺構なし、陶器２	町内遺跡群Ⅷ
20	東久保39街区１画地	（1999.6.16～7.19）	900	区画整理調整池	溝１、ピット26	町内遺跡群Ⅸ
21	東久保37街区１～３画地	（1999.11.18～12.9）	1,311	店　舗	縄文：土坑１、溝３、ピット23	町内遺跡群Ⅸ
22	東久保44街区15画地	（2000.3.7～9）	150	個人住宅	中世以降：溝１、ピット５	町内遺跡群Ⅸ
23	東久保33街区６画地	（2003.8.5～13）	1,233	共同住宅	焼土跡１、ピット１	町内遺跡群Ⅻ
	ふじみ野4-1-6の一部	（2005.5.24～30）	926	店　舗	土坑１	市内遺跡群２
24	ふじみ野3-9-5	（2005.6.20～7.7）2005.7.11～13	1,425	店　舗	縄文時代早期：炉穴５	市内遺跡群２
25	ふじみ野1-1-9・10	（2005.6.28～7.2）	604	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群２
26	ふじみ野3-10-8～11	（2006.1.5～10）	1,060	店　舗	遺構遺物なし	市内遺跡群２
27	ふじみ野3-10-3の一部-4	（2006.1.11）	120	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群２
28	ふじみ野１丁目1-13・14・15・32・23	（2006.4.24～5.10）	1,568.15	共同住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群３
29	ふじみ野4-4-1	（2006.5.15～19・7.28～8.1）	2,004	店　舗	縄文：土坑検出	市内遺跡群３
30	ふじみ野3-10-13	（2006.7.3）	634	保育所	遺構遺物なし	市内遺跡群３
31	ふじみ野4-3-14	（2008.2.14）	165	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群４
32	ふじみ野3-10-12	（2008.6.13～25）	1,231	分譲及び店舗	遺構遺物なし	市内遺跡群６
33	ふじみ野4-3-8の一部	（2008.10.3）	214.92	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群６
34	ふじみ野3-10-6	（2011.2.2～4）	1,032	宅地造成	遺構遺物なし	市内遺跡群10
35	ふじみ野3-9-地１の一部	（2015.3.10）	661.42	病院増築	遺構遺物なし	市内遺跡群20
36	ふじみ野4-3-6・7	（2015.8.11）	724	駐車場	遺構遺物なし	市内遺跡群22





第 66 図　東中学校西遺跡第 36 地点調査区域図（1/300）、土層 (1/150)

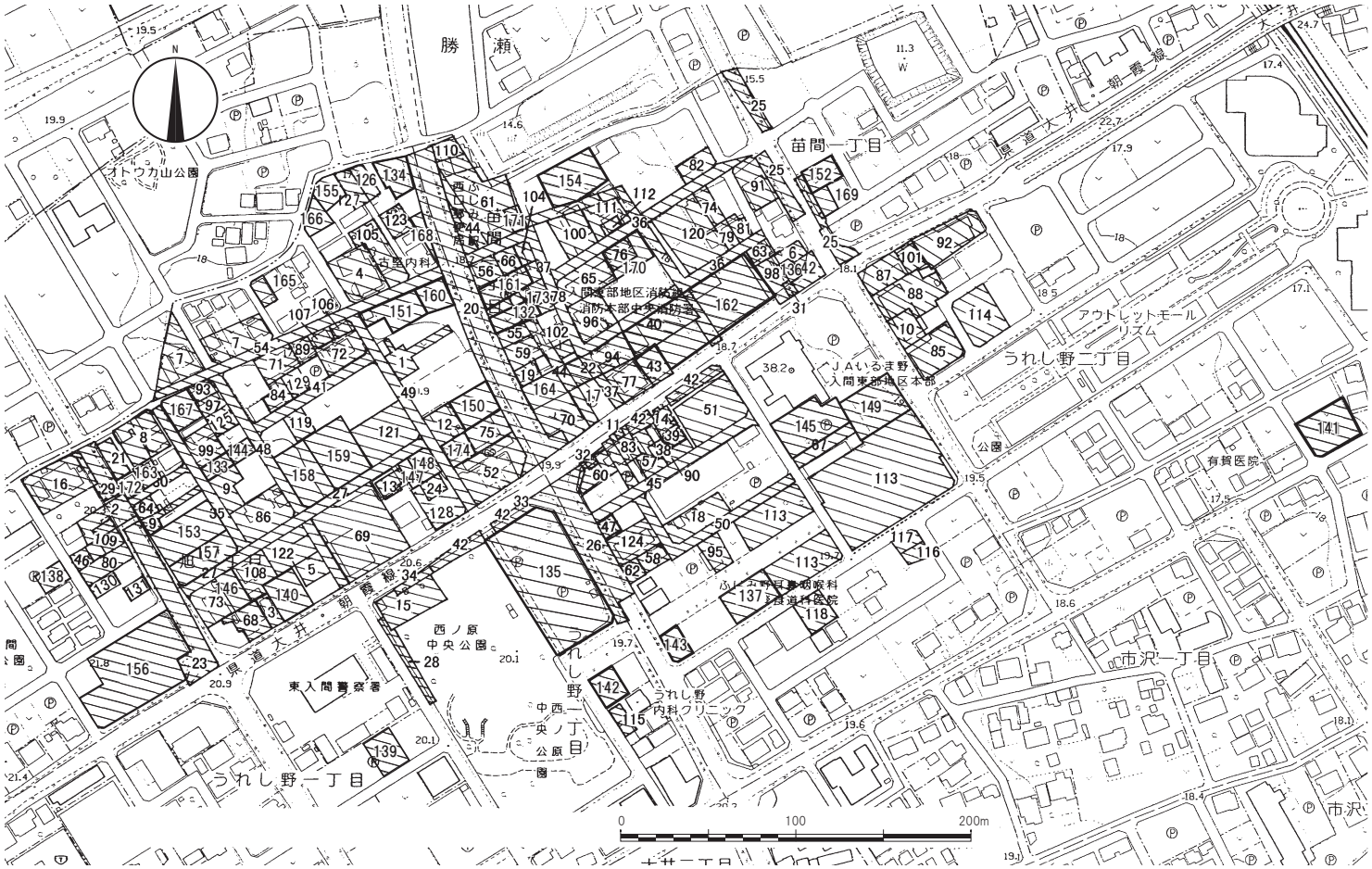
第 16 章 西ノ原遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

西ノ原遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約 300m、さかい川の谷頭部から約 500m 下った右岸、標高 18 ～ 21m に位置する。さかい川は現在の富士見市勝瀬字茶立久保付近に湧水源を持つ伏流水で、西から東へ流れて入間川の支流新河岸川に注ぐ。かつては水量も豊富であったと言われるが、現在は下水路となっている。西ノ原遺跡とさかい川との高低差は 2 ～ 3m で、武蔵野台地縁辺で一段低い部分、さかい川が侵食によって作り出した低位台地上に立地する。

周辺の遺跡は、下流に中沢前遺跡が隣接し、さらに下流域には神明後遺跡、苗間東久保遺跡、浄禅寺跡遺跡等縄文時代の集落が存在する。さかい川対岸には東久保南遺跡と富士見市のオトウカ山があり、その下流には縄文時代中期後半集落の中沢遺跡が広がる。

本遺跡は昭和 40 年代頃までは武蔵野の面影を残す農村地帯であったが、区画整理事業とふじみ野駅の開設により、ここ数年開発の増加に伴い遺跡の破壊が進んでいる。1971 年以来 2018 年 4 月現在で 174 地点に及ぶ調査で明らかになった遺跡の時期は、旧石器時代、縄文時代早期・中期・後期、平安時代、中世、近世である。特に縄文時代中期には、210 軒を超す住居跡が環状集落として形成され、市内において東台遺跡と共に中期全般を通した良好な大規模集落跡であったことがわかる。



第 67 図　西ノ原遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第 41 表　西ノ原遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 （　）は試掘調査	面積 （㎡）	調査原因	確認された遺構と遺物	所収 報告書
1		1971			住居跡１、土坑３、集石土坑１	町資Ⅰ
2	西ノ原83	1978.12.6～12.26	270	宅地造成	住居跡１、溝２、旧石器、縄文土器　1979「西ノ原遺跡」	西ノ原遺跡
3		1979.3		宅地造成	土器片のみ出土	
4	西ノ原125-1	1979.7.2～9	668	宅地造成	遺構なし、縄文中期土器	東Ⅰ
5		1979.8.1～14		町史編纂事業	住居跡１、土坑１、早期炉穴２、縄文中期土器「大井町史料７集」	町史料7
6	西ノ原170-2	1980.6.19～27	450	宅地造成	土坑２、柱穴２、堀之内Ⅱ式土器他	東Ⅱ
7	西ノ原96-1	1080.10.1～29	563	宅地造成	旧石器礫群２、縄文土坑１	東Ⅱ
8	西ノ原95-2･3	1980.10.30～11.14	661	宅地造成	縄文集石土坑２、土坑１、溝２、縄文中期土器	東Ⅱ
9	西ノ原93-1、98-1	1981.6.1～23	600		柱穴６、溝２、石器、土器	東Ⅲ
10	西ノ原180-2	1981.11.4～13	400	個人住宅	柱穴11	東Ⅲ
11	西ノ原143-4	1983.5.23～27	198	宅地造成	縄文土坑１、縄文中期土器	東Ⅴ
12	西ノ原123-3	1983.7.6～8.11	330		縄文中期住居跡２、縄文土坑39	東Ⅴ
13	西ノ原114-6	1983.9.13～10.18	350		縄文中期住居跡１、縄文土坑56、集石１、溝１	東Ⅴ
14	西ノ原143	1983.10.24～11.7	240		縄文中期住居跡２、縄文土坑３、集石１、溝１	東Ⅴ
15				共同住宅	縄文土坑２、ピット６	
16					遺構なし	
17	西ノ原135-3	1985.5.13～22	165	宅地造成	縄文土坑２、溝１	東Ⅵ
18	西ノ原141-2	1985.7.26～8.5	569	宅地造成	縄文中期住居跡１、縄文土坑１、ピット群	東Ⅵ
19	西ノ原135-1	1986.7.8～21	230	住宅建設	縄文中期住居跡１、縄文土坑１、屋外埋甕２	東Ⅶ
20	西ノ原135-1	1986.11～1987.4	3,553	区画道路	縄文早期炉穴４、中期住居跡跡12、竪穴状遺構、屋外埋甕２、落とし穴５、土坑40	調査６
21	西ノ原95-1	1986.12.11～1987.1.9	447	住宅	竪穴状遺構１	東Ⅶ
22		1987	480	資材置場	縄文中期住居跡２、縄文土坑11、ピット２	東Ⅷ
23		1987.7～8	1,024	区画道路	土坑２	調査６
24		1987			縄文中期住居跡２確認、未検出	
25		1988.1～2	781	区画道路	遺構なし	調査６
26		1988.3～4	1,649	区画道路	旧石器礫群、縄文中期住居跡３、土坑９、ピット、屋外埋甕１	調査６
27		1988.10	942	区画道路	縄文中期住居跡５、縄文土坑２、炉穴１、集石土坑１	調査６
28		1988.11		区画道路	遺構なし	調査６
29		1988.12		区画道路		調査６
30		1989.2～3		区画道路	土坑１	調査６
31	西ノ原115-1	1989.11.4～11	21	下水管埋設	遺構なし	東Ⅸ
32	西ノ原122	1989.1.10～19	21	区画道路	縄文中期住居跡１、屋外埋甕３	東Ⅸ
33	西ノ原153-2	1989.1.10～19	21	区画道路	縄文中期住居跡１	東Ⅸ
34	西ノ原171	1989.1.24～31	21	区画道路	縄文中期住居跡１	東Ⅸ
35		1989.2～3	4,000	区画道路	縄文中期住居跡１、土坑１	調査６
36		1989.3～4		区画道路	縄文中期住居跡４、縄文土坑５、落とし穴２、井戸１	調査６
37		1989.5～8	200	区画道路		
38	西ノ原142-2	1989.8.29～9.12	74	個人住宅	縄文中期住居跡１、土坑３	東Ⅹ
39	西ノ原142-2	1989.8.29～9.12	94	個人住宅	土坑２、溝２	東Ⅹ
40		1989.9.18～10.16 1989.10.19～11.4	980	消防訓練塔	縄文中期住居跡４、土坑４、集石土坑１、ピット28	東Ⅹ
41		1989.9～10	476	区画道路	縄文中期住居跡４、土坑１	調査６
42		1991.12～1992.7		区画道路	屋外埋甕２、土坑19	調査６
43	苗間153-3	1990.6.26～7.9	272	個人住宅	縄文中期住居跡４、土坑３	東Ⅺ
44		1990.6～8	3,224	区画道路	屋外埋甕、炉穴３、落とし穴２、土坑16、集石土坑１	調査６
45		1991.2		区画道路		
46	苗間83-2	1991.4.9～10	199	個人住宅	遺構なし、土器片のみ	町Ⅰ
47	苗間136-2	1991.7.15～7.26	141	個人住宅	遺構なし、石鏃、土器片のみ	町Ⅰ
48		1991.9～10	2,610	区画道路	縄文中期住居跡、土坑３	調査６
49		1991.12～1992.1		区画道路	縄文中期住居跡12、集石土坑１、土坑８	調査６
50		1991.11～12		区画道路	縄文中期住居跡15、屋外埋甕１、土坑３	調査６
51	苗間153-2	1991.2.4～12	1,190	モデルルーム	縄文中期住居跡２、掘立柱跡、土坑２、ピット５	町Ⅰ
52	苗間122	1991.2.10～20	984	ガソリンスタンド	縄文中期住居跡14、集石土坑７、土坑５、野外炉１、ピット19	調査５
53	西ノ原133-2	1992.6	261	分譲住宅		
54		1992.5～7		区画道路	集石土坑１、土坑１	調査６
55	西ノ原135-5他	1992.5.21～6.23	241	駐車場	縄文中期住居跡２、炉穴５、土坑１	調査５
56	西ノ原133-2	1992.6.23～26	261	分譲住宅	集石土坑１、土坑３、ピット６、溝１	町Ⅱ
57	西ノ原143-3･4	1992.7.6～9.1	174	個人住宅	縄文中期住居跡２、土坑１	町Ⅱ
58	西ノ原137-2	1992.9.8	146	個人住宅	遺構なし、縄文土器若干	町Ⅱ
59	西ノ原135-1	1992.10.6～11.12	494	個人住宅	縄文中期住居跡３、炉穴11、屋外埋甕１、土坑１、ピット12	町Ⅱ
60	西ノ原136-2	1992.12.10～25	253	個人住宅	縄文中期住居跡２、炉穴４、土坑１、ピット34、落とし穴１	町Ⅱ
61	西ノ原	1993.2	2,240	区画整理	早期竪穴状遺構１、落とし穴３、土坑２、炉穴	調査６
62						
63	西ノ原162-3、169	1993.4.13～22	147	共同住宅	中（近世）ピット群、遺物なし	町Ⅲ
64	西ノ原94-1	1993.4.27～28	327	共同住宅	近世･近代溝、前期土器	町Ⅲ
65	西ノ原145-1	1993.6.7～11	615	共同住宅	縄文中期土坑３、平安時代住居跡１、土師器、須恵器	町Ⅲ
66	西ノ原133-2	1993.6.30～7.19	474	共同住宅	近代溝、縄文土器	町Ⅲ
67	西ノ原159-2	1994.1.20～21	308	倉庫	縄文中期土坑、ピット、近代溝	町Ⅲ
68	西ノ原91-2･6	1994.3.22～25	285	店舗住宅	遺構遺物なし	町Ⅲ
69	苗間106	（1994.4.8～27） 1994.5.16～10.24	1,821	店舗	縄文中期住居跡28、土坑６、ピット11、溝１	調査13
70	苗間136	1994.5	551	店舗	屋外埋甕４、土坑14	調査６
71	苗間112	1994.6～7	309	個人住宅	落とし穴１	
72	苗間112-109	1994.11.2～28	321	個人住宅	縄文中期住居跡３、土坑２、溝２	町Ⅳ
73	苗間92-1	1994.3.27～29	274	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅳ
74	苗間163	（1994.4.21～5.13）	169	事務所	ピット６	町Ⅴ
75	苗間122	（1995.5.16～23） 1995.6.2～9.23	379	事務所	縄文中期住居跡17、集石土坑１、土坑４、集石２、ピット９、溝１	調査13
76	苗間151-2他	（1995.4.20～27）	468	倉庫	ピット１、溝１	町Ⅴ
77	苗間143-2	（1995.5.24～25） 1995.6.1～7.28	347	店舗	縄文中期住居跡１、土坑18、溝４、ピット58	調査13
78	苗間22-3-2	（1995.6.28～8.8）	45	貯水槽	縄文中期住居跡３	町Ⅴ
79	苗間162-2他	（1995.6.29～7.24）	135	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅴ
80	苗間83-2	（1995.7.19～25）	319	駐車場	遺構遺物なし	町Ⅴ
81	苗間169	（1995.8.2～7）	223	店舗付住宅	溝１、遺物なし	町Ⅴ
82	苗間168	（1995.8.1～5）	249	事務所	遺構遺物なし	町Ⅴ
83	苗間136-2	1995.8.23～10.21	190	個人住宅	縄文中期住居跡２、集石土坑２、土坑２、ピット22	町Ⅴ
84	苗間108、109	（1995.11.30～12.9）	135	個人住宅	土坑１、ピット５	町Ⅴ
85	苗間181-3	（1996.1.9～26）	654	パチンコ店	遺構遺物なし	町Ⅴ
86	苗間113-2、93-1	（1996.4.19） 1996.4.22～5.15	698	個人住宅	土坑６、ピット26、溝２	町Ⅵ
87	苗間182-1	（1996.6.14～17）	344	学習塾	遺構遺物なし	町Ⅵ
88	苗間西ノ原182-3、189-2、202-1	（1996.7.16～22） 1996.8.1～8	745	共同住宅	土坑３、ピット29、柵列１、落とし穴１、銭	調査13
89	苗間西ノ原112	（1996.7.17～18）	143	個人住宅	溝、土器片のみ	町Ⅵ
90	苗間西ノ原142-2	（1996.7.3） 1996.8.7～30	177	個人住宅	縄文中期住居跡２、炉穴２、土坑１、ピット９	町Ⅵ
91	苗間169	（1996.8.1～5）	477	店舗	遺構遺物なし	町Ⅵ
92	苗間192-2	（1996.10.23～28）	684	店共用住宅	遺構遺物なし	町Ⅵ
93	苗間315	（1996.10.22～23）	141	分譲住宅	遺構なし、土器片のみ	町Ⅵ
94	苗間145-2	（1996.11.11～12）	165	個人住宅	遺構なし、土器片のみ	町Ⅵ
95	苗間154	（1996.11.14～19）	283	商業ビル	炉１	町Ⅵ
96	苗間441	（1996.12.17～20） 1997.1.9～14	333	個人住宅	縄文中期住居跡２、炉穴２、土坑１、ピット３	町Ⅵ
97	苗間97-2	（1996.12.19～20）	141	分譲住宅	遺構遺物なし	町Ⅵ
98	苗間171-2	（1997.1.6）	206	個人住宅	盛土保存	町Ⅵ
99	苗間97-1	（1997.1.20～24）	396	個人住宅	土坑１、落とし穴１、ピット12、溝１	町Ⅵ
100	苗間150-2	（1997.4.5～12）	447	共同住宅	土坑２、ピット３	町Ⅶ
101	苗間183-1･3	（1997.7.22～25）	187	モデルハウス	遺構遺物なし	町Ⅶ
102	大井苗間22街区５画地	（1997.10.9～20）	179	個人住宅	ピット２、溝２	町Ⅶ
103						
104	苗間22街区２画地	（1997.10.6～8）	223	個人住宅	焼土、溝２	町Ⅶ
105	苗間125-2、126-2	（1998.1.13～2.12）	565	共同住宅	縄文中期住居跡１、炉穴１、溝９	町Ⅶ
106	苗間112	（1998.1.28～2.4）	135	個人住宅	ピット１	町Ⅶ
107	苗間112	（1998.2.9～13）	135	個人住宅	ピット４、溝１	町Ⅶ
108	苗間91-1、92-1、99-1	（1998.3.3） 1998.3.4～17	413	個人住宅	縄文住居跡１、土坑１、近世溝３	町Ⅶ
109	苗間83-4、429	（1998.3.11～18）	429	店舗付共同住宅	遺構遺物なし	町Ⅶ
110	苗間146-2	（1998.4.20～5.28）	385	郵便局	落とし穴１、集石１、礫群１	町Ⅷ
111	大井苗間23街区９画地	（1998.10.23～27）	354	個人住宅	ピット１、近世の溝１、道１	町Ⅷ
112	大井苗間23街区９画地	（1999.2.9）	144	個人住宅	近世の溝のみ	町Ⅷ
113	大井苗間57･58街区	（1999.4.5～12.14） 2000.1.6～3.13	2,817	店舗	旧石器時代のユニット、中期住居跡６、炉穴２、土坑、ピット、近世溝	町Ⅸ
114	西ノ原194-1	（1999.8.4～12）	676	駐車場	落とし穴１、ピット２	町Ⅸ
115	大井苗間52街区３画地	（1999.9.27～29）	135	事務所	遺構遺物なし	町Ⅸ
116	大井苗間59街区11画地	（1999.12.2～3）	119	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅸ
117	大井苗間199-2	（1999.12.2～4）	131	店舗併用住宅	遺構遺物なし	町Ⅸ
118	大井苗間59街区45画地	（2000.4.3～12）	548	店舗住宅	遺構なし、縄文中期土器片	町Ⅹ
119	大井苗間18街区４画地	2000.11.15～12.6	221	倉庫	縄文中期住居跡３、土坑１、近世溝１	町Ⅹ
120	大井苗間24街区４画地	（2001.5.7～15）	1,120	共同住宅	遺構なし、縄文中期土器片	町Ⅺ
121	旭1-15	2002.2.7～3.8	803	個人住宅	縄文中期住居跡２、土坑２、ピット35、近世溝４	町Ⅺ
122	大井苗間14街区８画地	（2002.3.9～19） 2002.6.21～7.22	593	共同住宅	縄文中期住居跡４、溝３	町Ⅺ
123	大井苗間19街区10画地	（2002.9.3～9）	252	共同住宅	根切溝のみ	町Ⅻ

地点	所在地	調査期間 （　）は試掘調査	面積 （㎡）	調査原因	確認された遺構と遺物	所収 報告書
124	苗間137-2	（2002.10.2～6） 2002.10.8～11	524	個人住宅	縄文中期住居跡１、土坑２、溝２	町XII
125	旭1-8-2	（2003.2.14～19）	182	個人住宅	ピット５	町XII
126	旭1-13-6・7	（2004.2.23～25）	153	個人住宅	遺構遺物なし	町XII
127	旭1-13-4・19	（2004.5.24～25）	327	個人住宅	土坑１	町XII
128	旭1-16-9・10	（2004.6.14～7.15） 2004.7.16～9.29	614	店舗	縄文中期住居跡17、集石５、土坑10、ピット17	町XII
129	旭1-11-5	（2004.9.30～10.7）	235	共同住宅	縄文中期住居跡１	町XII
130	旭1-5-8	（2004.10.14～15）	116	個人住宅	遺構遺物なし	町XII
131	旭1-5-13	（2004.10.22）	97	店付個人住宅	遺構遺物なし	町XII
132	苗間1-15-17	（2005.7.28～8.2） 2005.8.3～11	272	店舗併用 共同住宅	縄文中期住居跡３、炉穴７、土坑１	調査18
133	旭1-8-8	（2005.10.11～12）	176	個人住宅	遺構なし、土器片	市２
134	旭1-13-8	（2005.10.6～11）	348	店舗	道跡１	市２
135	うれし野1-5-2	（2006.3.14～4.28） 2006.5.29～6.19	3,341	店舗併用 共同住宅	縄文中期住居跡１、炉穴１	市３
		（2007.11.5～12）	257		土坑１、ピット３	市４
136	苗間1-13-22・23	（2006.6.23）	629.66	学生寮	遺構遺物なし	市３
137	うれし野2-17-5・6・7	（2006.8.3～7）	861	共同住宅	遺構遺物なし	市３
138	旭1-4-7・8	（2006.11.21～22）	247.33	個人住宅	遺構遺物なし	市３
139	うれし野1-4-4・5・6	（2007.2.1）	474	共同住宅	遺構遺物なし	市３
140	旭1-16-14の一部	（2007.5.7～10）	487	学習塾	遺構遺物なし	市４
141	市沢1-8-8	（2007.5.8～9）	735	店舗兼事務所	土坑１、ピット１	市４
142	うれし野1-6-2	（2008.4.4～7）	296.01	寄宿舎（24戸）	遺構遺物なし	市６
143	うれし野2-17-3	（2009.3.23）	287	寄宿舎（25戸）	遺構遺物なし	市６
144	旭1-8-11	（2009.9.18～25）	155	店舗兼事務所	遺構遺物なし	市８
145	うれし野2-4-1・10	（2010.7.23～8.25）	4,938	農協事務所・ 農産物直売所	近世以降の溝５	市10
146	旭1-16-3	（2010.10.8～13）	246	分譲住宅	遺構遺物なし	市10
147	旭1-16-8の一部	2010.12.8～ 2011.1.18	135	個人住宅	縄文中期住居跡１、集石土坑１、土坑１、ピット50、近世以降溝２	市10
148	旭1-16-8の一部	2011.1.19～2.1	211	個人住宅	縄文中期住居跡１、土坑３、ピット20、近世以降溝２	市10
149	うれし野2-4-7	（2011.2.7～10）	625	農協事務所・ 農産物直売所	近世以降の溝１	市10
150	旭一丁目14-5・6	（2012.1.23～16） 2012.2.20～3.4	108	宅地造成	縄文中期住居跡12、集石土坑２、土坑２、ピット36、縄文土器・石器	市11
	旭1-14-18	2013.1.23～2.14	111	個人住宅	縄文中期住居跡５、風倒木痕１、縄文中期土器・石器コンテナ14箱	市15
	旭1-14-19	2012.6.26～27	107	個人住宅	縄文中期住居跡１、縄文土器・石器	市15
	旭1-14-17	2013.7.1～26	111	個人住宅	縄文中期住居跡３、土坑３、ピット２、縄文土器・石器	市18
151	旭1-14-1	（2012.1.25～27）	467	分譲住宅	溝５、縄文土器片	市14
152	苗間1-12-3	（2012.1.27～31）	324	分譲住宅	遺構遺物なし	市14
153	旭1-6-2の一部、1-6-4・5	（2012.5.28～30）	951	共同住宅	縄文中期住居跡１、縄文土器、石器	市15
154	苗間1-2-2・3	（2011.10.24～28）	846	共同住宅	遺構なし　縄文土器片	市14
155	旭1-13-3・25	（2013.10.21～22）	234	分譲住宅	地表面から1.7m掘削するも確認面まで達せず、遺構遺物なし	市18
156	旭1-17-1・2	（2013.11.26～12.9）	2,345.1	店舗付工場	縄文住居跡床面確認、遺存状態悪く本調査不可	市18
157	旭1-6-3	（2013.12.9～17）	602	分譲住宅		市18
158	旭1-15-6の一部	（2014.1.7～14）	739	共同住宅	縄文時代住居跡12軒検出、要本調査	市18
159	旭1-15-8	（2014.1.30～2.10） 2014.3.4～5.2	869	共同住宅	縄文時代住居跡９（プラン。炉・ピットのみの検出含む）	市16・18
160	旭1-14-2	（2014.4.15～16）	309	駐車場	土坑１、縄文土器	市20
161	旭1-15-18	（2014.6.17） 2014.6.18～23	442	個人住宅	縄文時代中期住居跡２、溝１、土器片、石器	市20
162	苗間1-13-2～5・11	（2014.8.29・9.4）	2,526.76	葬祭場	溝１（時期不明、中近世以降）、土器片	市20
163	旭1-7-10	（2015.2.2～3）	148.98	個人住宅	遺構なし、土器片	市20
164	苗間1-15-8	（2015.5.11～18）	647	駐車場	住居跡１、屋外埋甕１、土坑６、ピット１、縄文土器、石器	市22
165	旭1-12-1	（2015.9.30）	160	個人住宅	遺構なし、土器片	市22
166	旭1-13-1・17・18	（2015.11.5）	212.01	分譲住宅	遺構遺物なし	市22
167	旭1-8-1	（2015.11.9～10）	349	駐車場	遺構なし、土器片	市22
168	旭1-13-20・23	（2013.10.21）	76.8	店舗	遺構遺物なし（旧西ノ原遺跡第154地点の名称を変更）	市18
169	苗間1-12-5	（2016.9.14）	173	共同住宅	遺構遺物なし	未報告
170	苗間1-14-2・3	（2016.10.18～19）	468.36	分譲住宅	ピット４、溝１、土器、石器、陶磁器	未報告
171	苗間1-4・5	（2016.11.28）	102.32	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
172	旭1-7-12	（2017.2.17）	147.45	分譲住宅	ピット２、土器	未報告
173	苗間1-15・3	（2017.4.14） 2017.4.17～21	113.82	個人住宅	縄文住居跡１、縄文土器	未報告
174	旭1-14-12・13	（2017.5.24）	229.08	共同住宅	縄文住居跡５、土坑、溝１、縄文土器、石器	未報告

※東：大井町東部遺跡群、町：大井町町内遺跡群、町資：大井町史資料編Ⅰ、調査：大井町遺跡調査会報告、市：ふじみ野市市内遺跡群

第 42 表　西ノ原遺跡住居跡一覧表

住居番号	調査率	平面形 （　）は推定	規模	炉			埋甕	拡張	壁溝	備考	時期	文献
				地床	埋設	石囲						
1	完掘	楕円形	456×398	○				有	○	床直上土器	EⅡ古	資Ⅰ
2	完掘	不整円形	400×400	○	△						阿Ⅱa	調６集
3	完掘	楕円形	634×530	○	△		△				勝Ⅱ新	調６集
4	75%	隅丸方形	540×485			○		有	○	111号と複合	EⅠ新	東Ⅴ
5	60%	隅丸方形	不明	○						111号に切られる	EⅠ新	東Ⅴ
6	70%	（隅丸方形）	520×？			○	○	有			EⅡ新	東Ⅴ
7	80%	（隅丸方形）	440×430			○					EⅡ新	東Ⅴ
8	撹乱	不明	削平			○				石皿	EⅡ	
9	90%	（不整円形）	（540）	○							EⅡ	東Ⅵ
10	95%	楕円形	460×415	○				建替			勝Ⅲ古	町Ⅱ
11	完掘	楕円形	550×497	○	○			建替		土製品・浮子	勝Ⅲ古	調６集
12	30%	（円形）	（440）×？	未　掘						下層土器	EⅠ新古	調６集
13	完掘	円形	630×660	○					△	炉西埋設	EⅡ古	調６集
14	完掘	楕円形	（430×350）	○	○						勝Ⅲ古	調６集
15	80%	（円形）	543×？	○	○			有	○		EⅠ古	調６集
16	完掘	楕円形	548×516	○	○		建替		○	耳栓	EⅠ古	調６集
17	完掘	楕円形	665×590	○	○		２回拡張		○	復元26個体	勝Ⅲ新	調６集
18	完掘	楕円形	420×353	○				有	○	22号と複合	（勝Ⅲ）	調６集
19	完掘	円形	515×488	○							EⅡ中	調６集
20	完掘	楕円形	500×450	○	○			有		有効鍔付完形・復元15個体	勝Ⅲ新	調６集
21	完掘	不整円形	615×635	○			○	建替			EⅡ新	調６集
22	完掘	楕円形	550×450	○	○				○	床直上土器・人面	勝Ⅲ新	調６集
23	完掘	楕円形	425×370	○							勝Ⅱ古	東Ⅶ
24	85%	（円形）	不明	○	○					工事中止・調査	勝Ⅲ古	東Ⅷ
25	85%	楕円形	床部削平	撹　乱			○			工事中止・調査	EⅡ新	東Ⅷ
26	30%	（円形）	？×（530）	○			○				EⅡ古	調６集
27	完掘	隅丸方形	570×460	○					○	据付台石・耳栓	EⅠ新中	調６集
28	65%	円形	床部削平	○	○		○				EⅡ中	調６集
29	完掘	円形	460×420	○		○					EⅠ	調６集
30	80%	楕円形	405×403	○				有	○	121号と複合	勝Ⅲ	調６集
31	完掘	円形	半掘	○						122号と複合	勝Ⅲ	調６集
32	50%	（不整円形）	（380）×350	○	○						勝Ⅱ新	調６集
33	完掘	楕円形	？×（340）	○	○					２回発掘	EⅠ新	町XII
34	完掘	楕円形	580×490	○				建替			EⅡ中	調６集
35	完掘	楕円形	605×550			○				耳栓・石皿	EⅡ中	調６集
36	完掘	隅丸方形	560×530			○			△		EⅠ新中	調６集
37	完掘	楕円形	440×390	○			△			柱穴内土器	阿Ⅱ新	調６集
38	90%	隅丸方形	530×524	○							EⅡ新	調６集
39	70%	円形	（610）×？			○					EⅠ新	調６集
40	95%	楕円形	420×380	○					○		EⅠ古	調６集
41	20%	（楕円形）	一部のみ調査	未　掘					○		EⅡ新	町Ⅱ
42	60%	楕円形	610×510	○							EⅠ新	調６集
43	完掘	円形	506×470	不　明				有	○	床大部分撹乱	不明	調６集
44	50%	楕円形	（約500）×？	○							EⅠ新	調６集
45	完掘	楕円形	560×530		○		建替		○	耳栓	勝Ⅲ新	調６・XII
46	完掘	楕円形	600×496	○							EⅡ	東Ⅹ
47	98%	円形	約460×約450			○				有孔鍔付・硬玉大珠	EⅡ新	東Ⅹ
48	完掘	円形	550×560	○	○						EⅡ新	東XI
49	75%	楕円形	半掘×740	○							EⅡ	東XI
50	完掘	円形	530×約500			○			○		EⅡ	調６・市20
51	80%	大部分未掘	540×630	③	○			有	×		EⅡ新	調13集
52	60%	大部分未掘	460×？	○	○				×		EⅠ新	調13集
53	90%	大部分未掘	690×560		○	○		建替	○	朱塗多い	勝Ⅲ古	調６集
54	完掘	円形	335×355	○						55号と複合	EⅡ	東XI
55	撹乱	不明	690×？	○						54号と複合	EⅢ	東XI
56	完掘	楕円形	600×496	○						床直上土器	EⅠ新	調６集
57	35%	不明	？×約500	未　掘							EⅠ新	調６集
58	完掘	円形	550×560	○			△			柱穴内土器	EⅡ新	調６集
59	40%	楕円形	半掘×740	○			○			58号と複合	EⅡ新	調６集
60	85%	楕円形	590×540	○	○			有	○	復元27個体・石器36	勝末～E	調６集
61	20%	（円形）	（475×365）	未　掘							勝Ⅲ古	調６・市18
62	20%	（円形）	（450×435）	未　掘							EⅠ新	調６・市18
63	完掘	楕円形	550×492	○				有	○	異系土器	EⅠ新古	調６集
64	完掘	不整円形	418×420	○							EⅡ	調６集
65	完掘	円形	550×565	○			３回拡張		○	耳栓・連弧文・復原33個体	EⅡ	調６集
66	90%	楕円形	670×570	○		○	○			耳栓・土錘・77・75号と複合	EⅡ	調６集
67	75%	楕円形	670×620	○	○	○	○	有	○	土錘・建替有	EⅠ古	町XII
68	75%	円形	625×610	○			○	有		３回発掘	EⅡ中	町XI
69	80%	円形	618×？	○		○				曽利式多い	EⅡ新	調６集
70	30%	東半未掘	468×？	未　掘						床直上土器	EⅠ新中	調６集
71	20%	円形	420×？	未　掘						石皿	勝Ⅲ古	調６集
72	15%	隅丸方形	不明	未　掘				有	○		勝Ⅲ古	調６集

住居番号	調査率	平面形（　）は推定	規模	炉			埋甕	拡張	壁溝	備考	時期	文献
				地床	埋設	石囲						
73	80%	楕円形？	570×440	○						大磨製石斧・器台	EⅡ新	調６集
74	95%	隅丸方形	520×410	○	○			有	○	曽利系・98号と複合	EⅠ新中	調６集
75	80%	楕円形	(600)×(600)		○				○	ミニ土器・66・77号と複合	勝Ⅲ古	調６集
76	完掘	円形	512×545		○	○			○	３回発掘	EⅡ中	町Ⅺ
77	80%	楕円形	(550)×(550)	○			○		○	石棒・石皿・75号と複合	EⅠ新中	調６集
78	完掘	楕円形	402×352	○							勝Ⅲ	町Ⅵ
79	55%	南半未掘	？×570	○	△		３回拡張		○	炉上土器	勝Ⅲ新	調６集
80	80%	東半未掘	422×460	○				有			EⅡ新	調６集
81	65%	円形	588×未掘	○			○			曽利系	EⅡ	調６集
82	70%	楕円形	(560～570)	○			○				EⅡ中	調６集
83	45%	円形	364×？	未　掘							EⅡ	調６集
84	完掘	隅丸方形	732×674	○			○	有	○	複合・小形磨製石斧	EⅠ新中	調５集
85	完掘	楕円形	620×598	○	△		○			84号と複合	EⅡ新	調５集
86	完掘	隅丸方形	520×490	○			○	有	○	97号と複合	EⅠ新	調５集
87	完掘	円形	354×374	○						88号と複合	EⅡ	調５集
88	85%	隅丸方形	640×559		○	○	○	有	○	複合・復原31個体	EⅠ古	調５集
89	完掘	円形？	420×(390)	○						85号と複合	EⅠ新	調５集
90	70%	楕円形	？×560	○					○		勝Ⅲ新	調６集
91	80%	隅丸方形	746×？	○	○			有	○		勝Ⅲ新	町Ⅱ
92	完掘	楕円形	508×422	○	○			有	○		勝Ⅲ	調５集
93	完掘	楕円形	580×490	○			○	建替			EⅡ	調５集
94	70%	円形	不明	○	○		○			床撹乱	EⅡ	調５集
95	完掘	（円形）	(600×500)	○							EⅡ	町Ⅵ
96	完掘	楕円形	(560×580)			○				小形磨製石斧	EⅡ	調５集
97	完掘	楕円形	602×505	○						86号と複合	EⅡ古	調５集
98	60%	楕円形	472×(234)	○	○					74号と複合	勝Ⅲ古	調５集
99	完掘	不明	？×402	○						100号と複合	EⅡ新	調５・13集
100	完掘	隅丸方形	614×644		○	○	○伏	有	○	小形磨製石斧・99号と複合	EⅡ新	調５集
101	完掘	円形	414×420	○	○			有			EⅠ新中	町Ⅱ
102	40%	円形	？×376								EⅡ	町Ⅱ
103	55%	楕円形	？×380	○	○						阿Ⅰb古	調５集
104	90%	（楕円形）	(524×449)	○	○			有	○		勝Ⅲ	調13集
105	完掘	円形	405×420	○	○			有			EⅠ新	調13集
106	完掘	円形	560×520	②			○	有	○		EⅠ新中	調13集
107	完掘	円形	520×510	②	○			有			勝Ⅱ新	調13集
108	完掘	円形	385×340	○	○				○		勝Ⅲ新	調13集
109	完掘	楕円形	560×494	○	○	○			○		EⅠ新	調13集
110	完掘	不整円形	418×370	○								調13集
111	30%	楕円形	不明	未　掘					○	５・125号と複合	E	調13集
112	完掘	隅丸方形	600×574	○	○		○	有	○	124・126号と複合	EⅠ新中	調13集
113	完掘	隅丸方形	520×496	○	○		○		○	120号と複合	EⅠ新古	調13集
114	完掘	円形	480×480	○	○			有	○		勝Ⅲ古	調13集
115	完掘	隅丸方形	460×340	○	○						勝Ⅲ	調13集
116	完掘	楕円形	540×498		○	○			○	添石埋甕炉	EⅠ古（中峠）	調13集
117	70%	隅丸方形	？×440	○	○						勝Ⅲ新	調６集
118	完掘	楕円形	520×374	○	○			建替			EⅡ新	調６集
119	90%	楕円形	580×480	○				有	○		EⅡ・曽Ⅲ	調13集
120	完掘	円形	392×400	○						113・124号と複合	EⅠ新古	調13集
121	完掘	（円形）	380×390	○	○					30号と複合	EⅡ	調13集
122	完掘	隅丸方形		②			○	有	○	31号と複合	EⅡ	調13集
123												
124	完掘	円形？	418×420	○	○					112・120・126号と複合	勝Ⅲ新	調13集
125	10%	不明	不明	未　掘					○	111号と複合	E	調13集
126	完掘	不明	550×565		○	○		有	○	112・124号と複合	EⅠ新	調13集
127	10%	不明	645×？	未　掘							E	調13集
128	完掘	楕円形	(610×580)	○						削平著しい	E	調13集
129	完掘	不明	618×？	○							E	調13集
130	完掘	円形	542×465	○	○						勝Ⅲ古	町Ⅳ
131	完掘	楕円形	560×442	○	○				○		勝Ⅲ新	町Ⅳ
132	完掘	楕円形	590×580	②			○	有			EⅢ	調13集
133	60%	楕円形	？×460	○			○	有		138号と複合	EⅢ	調13集
134	完掘	隅丸方形	630×530	②				有		141号と複合	EⅠ新	調13集
135	完掘	隅丸方形	540×460	○	○				○		勝Ⅲ	調13集
136	70%	楕円形	？×610	②				有				調13集
137	20%	不明	×？	○				有	○	138・140号と複合	E	調13集
138	完掘	隅丸方形	450×360	○	○			有		133・139・140号と複合	勝Ⅲ	調13集
139	55%	不明	(546)×不明	○		○				138号と複合、4・213号と重複		調13集
140	40%	楕円形	(762)×不明	○						137・138号と複合		調13集
141	55%	不明	528×不明	○						134号と複合		調13集
142	50%	不明	不明	○						143・144号と複合		調13集
143	完掘	楕円形	479×421			○		建替	○	142・151号と複合		調13集
144	90%	（隅丸長方形）	595×430×40	○	○			有		142号と複合	勝Ⅲ新	調13・市14
145	60%	不明	不明×325	○						149・151号と複合		調13集
146	85%	楕円形	585×？	○				有		炉穴群と複合	EⅡ	調17集
147	30%	楕円形	？×	未　掘					○	148号と複合	EⅡ	町Ⅴ
148	完掘	楕円形	不明	○						147号と複合	EⅡ	町Ⅴ
149	90%	（楕円形）	430×336		○	○				145・150号と複合	EⅡ新	調13集
150	80%	（円形）	581×不明			○				149・151号と複合		調13集
151	95%	（楕円形）	664×(642)		○	○				143・145・150号と複合	EⅡ古	調13集
152	95%	円形	380×370	○						153号と複合	EⅡ	町Ⅵ
153	20%	（円形）	(600)	○						152号と複合	EⅡ新	町Ⅵ
154	完掘	不明	(400)	○	○			有		床面まで削平	勝Ⅲ	町Ⅶ
155	75%	隅丸方形	610×540	②	②		建替と拡張		○	２回拡張・建替	勝Ⅲ新・EⅠ新式古	町Ⅻ
156	完掘	円形	462×365×14		○						EⅡ新	調17集
157	75%	楕円形	594×392×22	○							EⅡ	調17集
158	完掘	不定形	669×455×16			○					EⅡ新	調17集
159	完掘	円形	434×415×13	○?							EⅡ～Ⅲ	調17集
160	完掘	円形	547×490×35			○?					EⅡ新	調17集
161	完掘	楕円形	512×440×16		○	○?	②				EⅡ中～新	調17集
162	75%	隅丸方形	715×？	③	○		２回拡張		○		勝Ⅲ	町Ⅹ
163	完掘	楕円形	505×482	○	○		○	有	○	脂肪酸分析実施	EⅠ新古	町Ⅹ
164	20%	隅丸方形	不明	未　掘					○		EⅠ新	町Ⅹ
165	完掘	卵形	498×488	②	○			建替	○	他地域系多い	勝Ⅲ・EⅠ新式古	町Ⅻ
166	10%	不明	不明	○						削平著しく炉・ピットのみ検出	EⅡ中	調13集
167	55%	（円形）	不明							168・170号と複合	EⅡ	調18集
168	45%	隅丸方形	不明	未　掘				有	○	167号に切られる	EⅠ新	調18集
169	30%	円形	不明	○						南・東未発掘		調18集
170	60%	（円形）	不明×496	○						167号を切る	EⅢ	調18集
171	完掘	不整円形	554×595	○				有	○	173号を切る	EⅡ	調18集
172	52%	円形	不明×472	未　掘					○		EⅠ古	調18集
173	完掘	円形	485×492	○				有		171号に切られる	EⅠ新	調18集
174	90%	楕円形	612×？	○						179号と複合	EⅡ古	調18集
175	完掘	楕円形	640×630	○				有	○	176号に切られる	EⅡ	調18集
176	完掘	隅丸方形	690×535	○	○		２回拡張		○	175・177号と複合	EⅠ古	調18集
177	95%	楕円形	624×不明	○			○	不明		176号を切る	EⅡ	調18集
178	10%	隅丸方形	不明	未　掘				有	○	177号と複合	EⅠ新	調18集
179	95%	楕円形					○			174号を切る	EⅡ	調18集
180	完掘	円形	385×392								EⅡ	調18集
181	完掘	不整楕円形	340×298	○						削平著しい	EⅡ	調18集
182	45%	（円形）	不明×390		○					削平著しい	EⅡ	調18集
183	完掘	隅丸方形	450×370	○	○				○		EⅠ新	市３
184	25%	（隅丸方形）	(337×225)						○			市15
185	80%	（円形）	320×(224)			○			○	187号と複合		市15
186	欠番											
187	完掘	楕円形	480×430			○		○	○	185号と複合		市15
188	50%	楕円形	(517×430)		○						EⅢ	市15
189	完掘	楕円形	452×400	○							EⅡ～EⅢ	市11・15
190	完掘	楕円形	436×302	○							EⅢ	市11
191	50%	（円形）	(392×220)				○				EⅢ	市11
192							○			掘り込み確認できず		市15
193	90%	（円形）	(270×173)		○						阿玉台Ⅰb～Ⅱ	市18
194	プランのみ確認	不明	(310×195)							西ノ原遺跡第158地点試掘調査済み、トレンチでプラン確認のみ		市18
195		不明	(150×135)									市18
196		不明	(490×145)									市18
197		不明	(455×140)									市18
198		不明	(330×160)									市18
199		不明	(430×160)									市18
200		不明	(485×150)									市18
201		不明	(410×150)									市18
202		不明	(310×140)									市18
203		不明	(440×155)									市18
204	50%	円形か隅丸方形	375×165×20		○	○						市16
205	100%	円形	360×35×35		○	○				212号と重複		市16
206	100%	隅丸長方形	475×455×18		○	○	○					市16
207	50%	円形か隅丸方形	(375×160)×20	○						212号と重複		市16
208	100%	隅丸台形	475×452×43.6			○			○			市16
209	100%	不明	直径360㎝以上									市16
210	25%	不明	(260×168)×50	○								市16
211		楕円形	425×273×16	埋甕炉			○					市20
212	40%	楕円形か隅丸長方形	(460×19)×55	○					○	207号と重複		市16
213	90%	隅丸長方形	(460×300)×32							４・139号と重複		市18
214												未報告
215												未報告
216												未報告
217												未報告
218		楕円形	(454)×414×32	○			○					市22

※東：大井町東部遺跡群、町：大井町町内遺跡群、町資：大井町史資料編Ⅰ、調査：大井町遺跡調査会報告、市：ふじみ野市市内遺跡群

第 68 図　西ノ原遺跡遺構分布図（1/2,000）

Ⅱ　西ノ原遺跡第 164 地点

（1）調査の概要

調査は駐車場造成に伴うもので、原因者より 2015 年 4 月 13 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。調査は 2015 年 5 月 11 日～ 18 日にまで行った。幅 1.5m のトレンチ 4 本を設定し、重機で表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 60 ㎝である。

調査の結果、縄文時代の住居跡 1 軒、屋外埋甕 1 基、土坑 6 基、ピット 1 基を検出した。遺構に対して 30 ㎝以上の保護層が確保できるため、工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

（2）遺構と遺物

①第 218 号住居跡

今回の調査では現状保存が可能であったため、規模の確認等最低限の調査のみ行った。そのため住居跡に関しても遺構の掘削は行っていない。また、試掘調査段階では本地点の北側に隣接する西ノ原遺跡第 19 地点検出の 10 号住居跡だと思われていたが、検討の結果、新たに発見された住居跡であることが判明した。そのため新たに付番した。

【位置・時期】調査区北側に位置する。

【形状・規模】住居跡の平面形態は楕円形を呈する。規模は (454) × 414 ㎝、深さ 32 ㎝である。

【ピット】住居内ピットは 3 基確認した。いずれも主柱穴の可能性が考えられる。ピット 1 は楕円形を呈し、確認面径 58 × 40 ㎝、深さ 22.8 ㎝である。ピット 2 は不整円形を呈し、確認面径 37 × 35 ㎝、深さ不明。ピット 3 も不整円形を呈する。規模は確認面径 (34) × 32 ㎝、深さは不明である。

【炉】炉は住居跡ほぼ中央部に位置する。地床炉で、規模は長軸 51 ㎝、短軸 45 ㎝、深さ 16 ㎝である。

【遺物出土状況】住居覆土中より縄文土器が出土した。いずれも破片で、全容を把握できるものはない。

②屋外埋甕

屋外埋甕は調査区北側、第 218 号住居跡の東側に位置する。撹乱によって北側 1/2 と南側が部分的に破壊されているため平面形態は不明。底部を欠損する深鉢形の縄文土器を逆位に埋設する。確認面径は 112 × (53) ㎝、深さ 22.2 ㎝である。

③土坑

土坑の詳細については第 43 表に掲載した。

④ピット

ピットは調査区北側、第 218 号住居跡の東側に位置する。撹乱によって一部を破壊されているため、平面形態は不明である。確認面径 (60) × 30 ㎝、底径 10 × 3 ㎝、深さ 66.1 ㎝である。

⑤溝

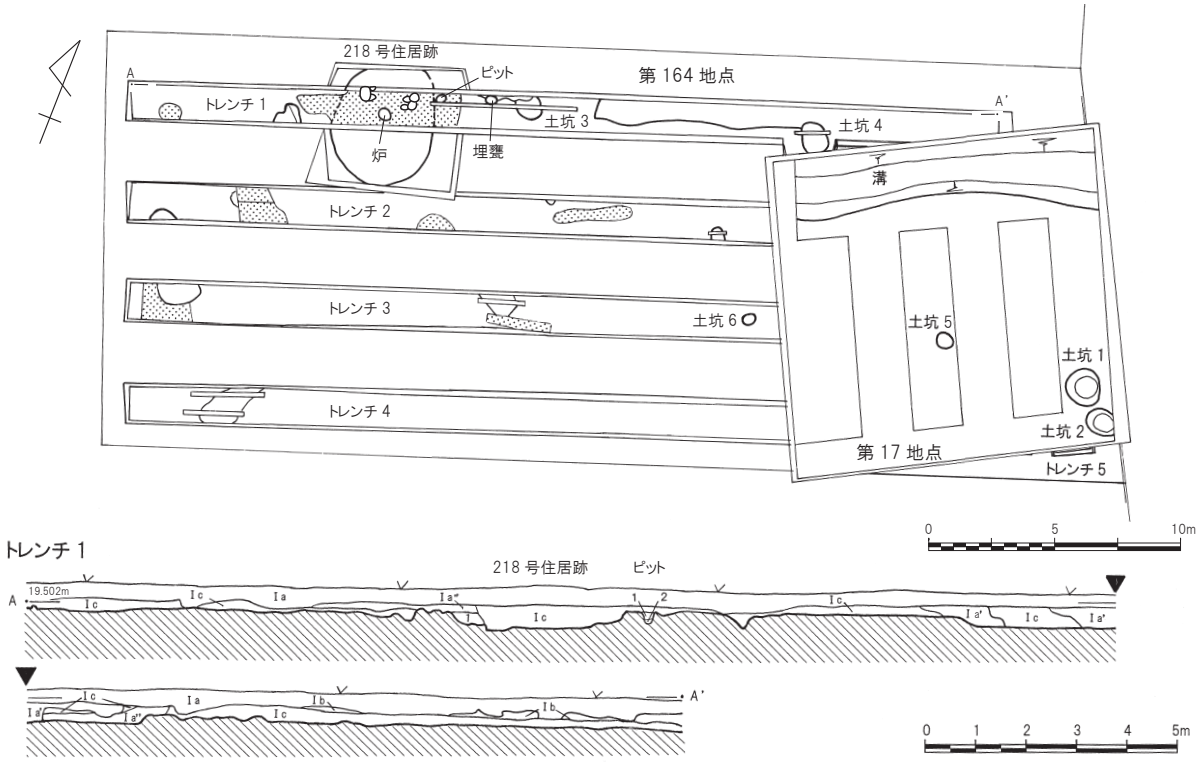
溝に関しては第 17 地点として調査済みである。詳細については文化財調査報告第 15 集『東部遺跡群Ⅵ』(1986 年 3 月刊行) にて報告済みのため、本書では割愛する。

⑤出土遺物

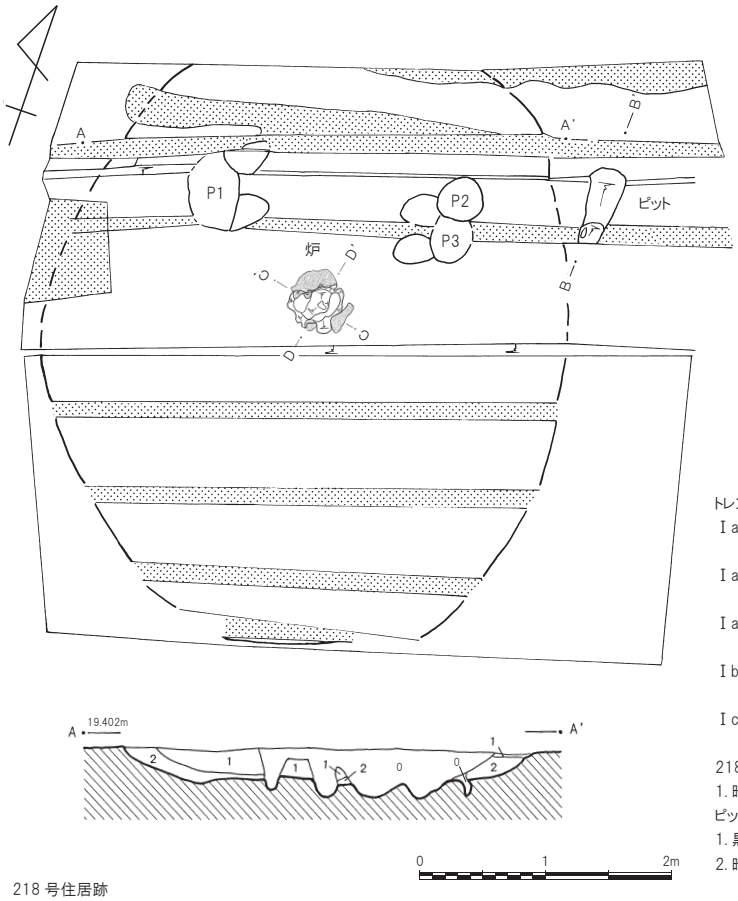
出土遺物の詳細については、第 71 図及び第 44 表に掲載した。

第 43 表　西ノ原遺跡第 164 地点土坑一覧表（単位㎝）

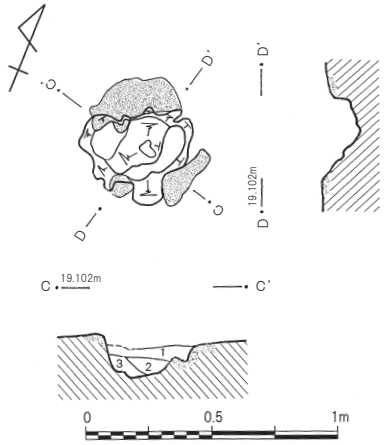
新No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	旧No.
1	楕円形	78×59	51×40	33.2	17地点土坑１
2	不明	76×76	51×43	35.6	17地点土坑２・164地点土坑４
3	円形	92×90	50×50	39.5	164地点土坑１
4	円形	(127)×115	112×95	23.6	164地点土坑２
5	円形	75×67	57×56	28.5	164地点土坑３
6	円形	64×62	53×53	22.4	164地点土坑５



218 号住居跡



炉



トレンチ 1

Ⅰa. 黒褐色土　締りやや弱、 粘性やや弱、 耕作土、 上部は現耕作土で混入物少なく締り弱い、 下部は 1cm 以下ロームブロック・粒やや多く含む

Ⅰa'. 黒褐色土　締りやや弱、 粘性やや弱、 15mm 以下ロームブロック・粒やや多く含む、トレン チャー痕

Ⅰa''. 黒褐色土　締り強、 粘性有、 5mm 以下ロームブロック・粒やや多く含む、トレンチャー痕

Ⅰb. 黄褐色土　締り強、 粘性有、 暗黄褐色土ベースに 3cm 以下ロームブロック主体、盛土

Ⅰc. 黒褐色土　締り強、 粘性有、 灰色味が有る、 硬く締る、 5 ～ 80mm ロームブロック・5mm 未満ローム粒多く含む、 盛土

218 号住居跡

1. 暗黄褐色土　締り強、 粘性有、 5mm 未満ローム粒少し含む、 縄文時代包含層

ピット

1. 黒褐色土　締り強、 粘性有、 2mm 以下ローム粒少し含む
2. 暗灰黄色土　締り強、 粘性有、 黒褐色土主体でシミ状にロームブロック多く含む

218 号住居跡

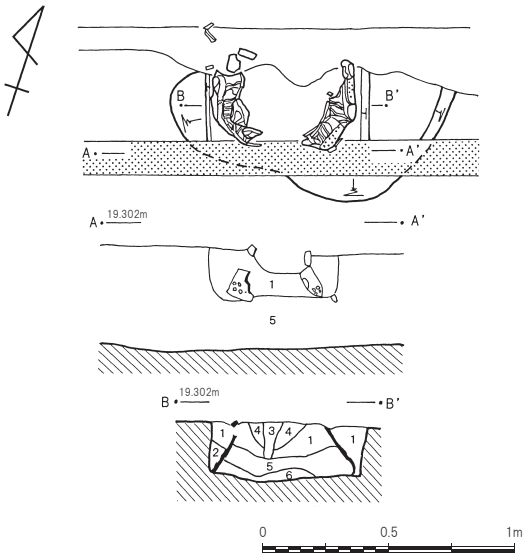
0. 撹乱
1. 暗褐色 (暗黄灰色) 土　締り強、 粘性有、 3mm 以下ローム粒やや多く、 2mm 以下焼土少し含む
2. 暗黄褐色 (暗灰黄色) 土　締り強、 粘性有、 うっすらシミ状に 3cm 以下ロームブロックを多く、 2mm 以下ローム粒少し含む

炉

1. 黒褐色土　締り強、 粘性有、 3 ～ 4cm ロームブロック・1 ～ 2mm ローム粒多く、1mm 程度の赤褐色粒・炭化物少し含む
2. 黒褐色土　締り強、 粘性有、 1mm 以下ローム粒・赤褐色粒少し含む
3. 暗褐色土　締り強、 粘性有、 1cm 程度ロームブロック・焼土ブロック多く含む

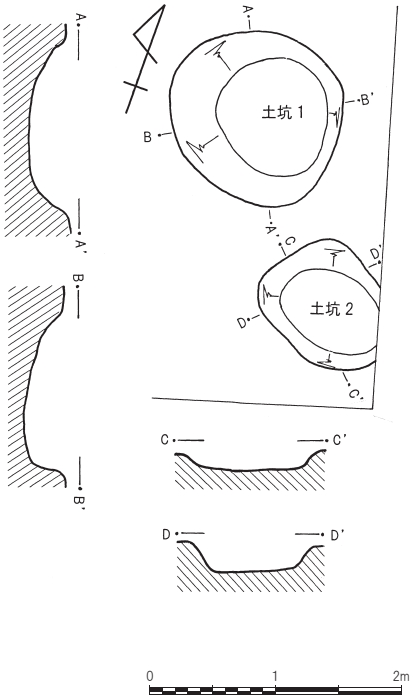
第 69 図　西ノ原遺跡第 164 地点 遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)、218 号住居跡・ピット (1/60)、炉 (1/30)

164 地点　屋外埋甕

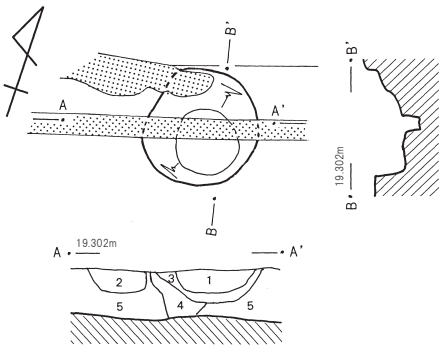


屋外埋甕
1. 褐色土　締り強、 粘性有、 2 ～ 3mm ローム粒多く、 3mm 程度炭化物少し、 1mm 大焼土僅かに含む
5. 黄褐色土　締り強、 粘性有、 ローム主体、 1 ～ 3cm 黒色土ブロック僅かに含む
1. 黄褐色土　締り強、 粘性有、 1cm 程度のロームブロック・1 ～ 3cm 黒色土多く、 1 ～ 2mm ローム粒・1mm 大炭化物少し含む
2. 黄褐色土　締り強、 粘性有、 1 ～ 2mm ローム粒・同炭化物少し含む
3. 黒褐色土　締りやや強、 粘性有、 2 ～ 3cm ロームブロック多く、 1mm 以下ローム粒・1 ～ 2mm 焼土少し含む
4. にぶい黄褐色土　締り強、 粘性有、 1mm 大ローム粒少し、 焼土僅か、 黒褐色土を斑に含む
5.1 層＋1cm 大ロームブロック少し、 1 ～ 2mm 炭化物多く含む
6. 黄褐色土　締り強、 粘性有、 1mm 以下ローム粒・炭化物少し含む
土坑 3
1. 褐色土　締り強、 粘性有、 2 ～ 3mm ローム粒多く、 3mm 程度炭化物少し、 1mm 大焼土僅かに含む
2. 暗褐色土　締り強、 粘性有、 1mm 以下炭化物極僅かに含む
3. 暗褐色土　締り強、 粘性有、 5mm 大ロームブロック多く、 1 ～ 2mm ローム粒少し含む
4. 暗黄褐色土　締り強、 粘性有、 1 ～ 4cm ロームブロック多く、 斑状に含む
5. 黄褐色土　締り強、 粘性有、 ローム主体、 1 ～ 3cm 黒色土ブロック僅かに含む
土坑 4
0. 撹乱
1. 暗黄灰色土　締り強、 粘性有、 5 ～ 90mm ロームブロック少し含む
2. 暗黄褐色土　締り強、 粘性有、 2 ～ 5cm ロームブロック多く含む
土坑 5・6
0. 撹乱
1. 暗褐色土　締り強、 粘性有、 2 ～ 3mm ローム粒多く、 3mm 程度炭化物少し、 1mm 大焼土僅かに含む
2. 暗褐色土　締り強、 粘性有、 5mm 大ロームブロック多く、 1 ～ 2mm ローム粒少し含む
3. 暗褐色土　締り強、 粘性有、 1 ～ 3cm ロームブロック多く含む
4. 暗褐色土　締り強、 粘性有、 5 ～ 10mm ロームブロック・1 ～ 3mm ローム粒多く、 2 ～ 3mm 炭化物少し含む

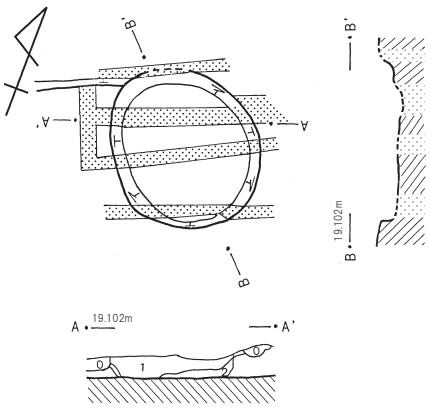
第 17 地点　土坑 1・2



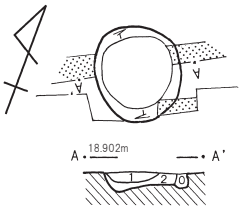
土坑 3



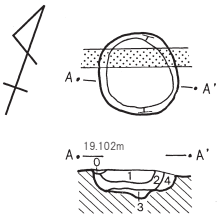
土坑 4



土坑 5

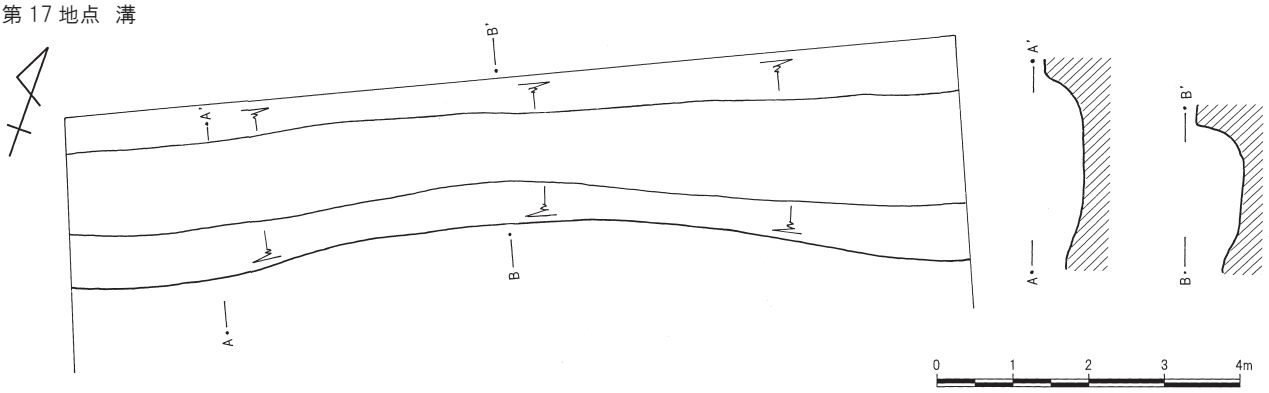


土坑 6



0　1　2m

第 17 地点　溝

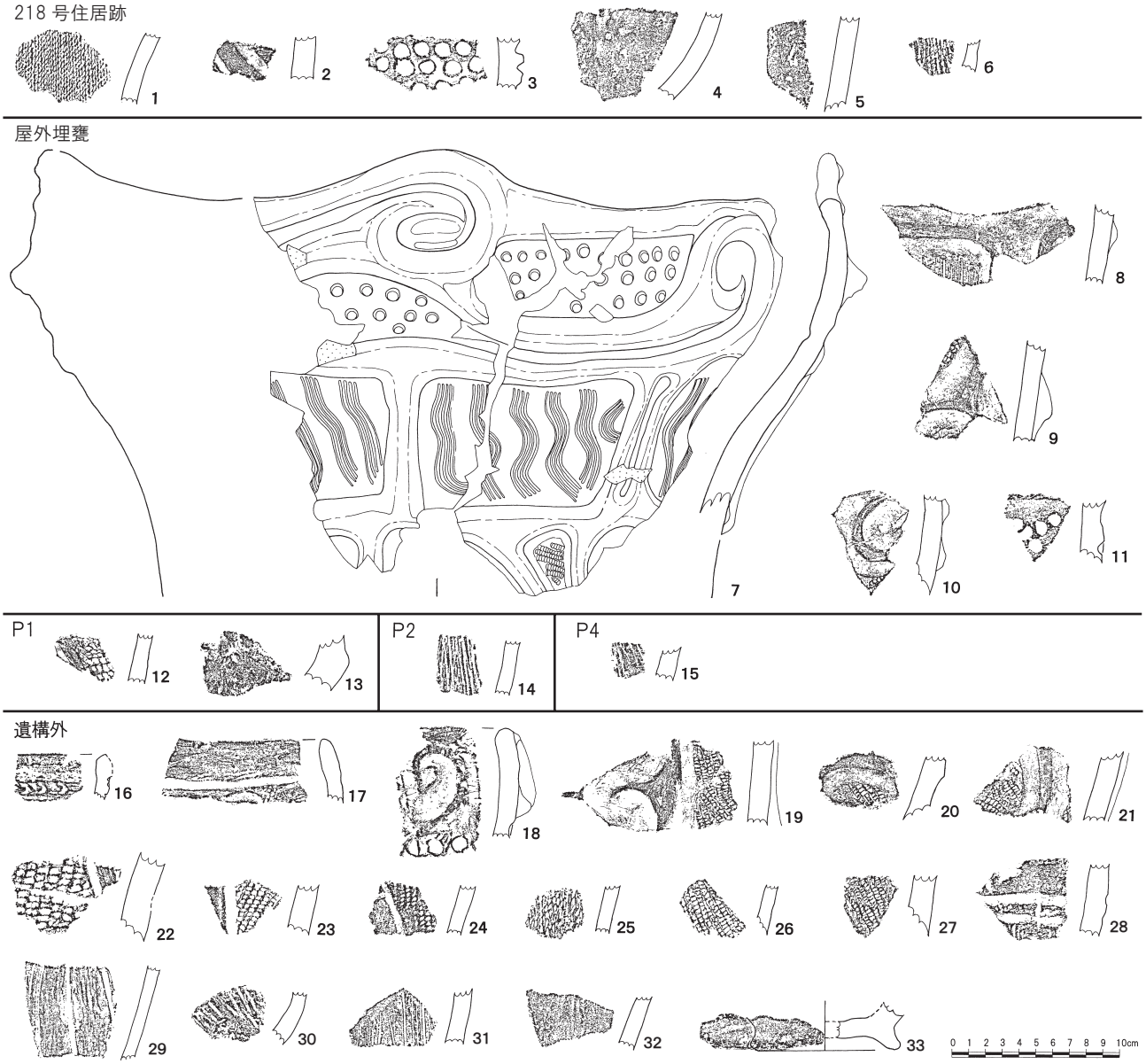


第 70 図　西ノ原遺跡第 164 地点屋外埋甕 (1/30)、土坑 (1/60)、溝 (1/100)

第 44 表　西ノ原遺跡第 164 地点出土遺物観察表（単位㎝・g）

図版番号	出土遺構	器形/部位	地文/施文/備考	時期/型式
第71図-1	218号住居跡	胴部	縦位RL撚糸/砂礫を多く含む	中期
第71図-2		胴部	２列の沈線	中期
第71図-3		胴部	径９㎜の円形刺突文/第71図-7屋外埋甕と同一か	中期/加曽利Ｅ
第71図-4		胴部	無文/僅かに雲母を含む	中期
第71図-5		胴部	無文/白色粒子を多く含む	中期
第71図-6		胴部	RL撚糸	—
第71図-7	屋外埋甕	深鉢/口縁部	埋甕、口縁部に渦巻文の隆帯、渦巻文間の方形区画内に径９㎜の円形刺突文を充填、胴部の隆帯による方形区画内に縦位の波状の縦位櫛歯状工具文、隆帯による逆Ｕ字状区画内に縦位RL充填/口縁復元径43.5㎝/白色粒子を多く含む/口縁部径（47.2）㎝、器高（26.6）㎝	中期/加曽利ＥⅡ新
第71図-8		深鉢/胴部	隆帯による区画、区画内に縦位櫛歯状工具文/ミガキ丁寧/第71図-7屋外埋甕と同一か	中期/加曽利ＥⅡ新
第71図-9		胴部	縦位RL?、隆帯が三叉状になる/第71図-7屋外埋甕と同一か	中期/加曽利ＥⅡ新
第71図-10		胴部	隆帯、横位LR/第71図-7屋外埋甕と同一か	中期/加曽利ＥⅡ新
第71図-11		胴部	径８～９㎜の円形刺突文/第71図-7屋外埋甕と同一か	中期/加曽利ＥⅡ新
第71図-12	P1	胴部	地文RL縄文後擦り消し	中期
第71図-13		胴部	隆帯	中期
第71図-14	P2	胴部	縦位櫛歯状工具文	—
第71図-15	P4	胴部	縦位櫛歯状工具文か	—
第71図-16	遺構外	深鉢/口縁部	半截竹管状工具による刺突文、口縁部に剥離痕有	中期/勝坂

図版番号	出土遺構	器形/部位	地文/施文/備考	時期/型式
第71図-17	遺構外	深鉢/口縁部	縦位RLか、横位沈線、逆Ｕ字状の沈線による区画	中期/加曽利ＥⅡ～Ⅲ
第71図-18		深鉢/口縁部	隆帯による渦巻文、渦巻文直下に径９㎜の円形刺突文/僅かに雲母を含む	中期/加曽利ＥⅡ
第71図-19		深鉢/胴部	地文LR、隆帯による渦巻文/白色粒子を多く含む/第71図-7屋外埋甕と同一か	中期/加曽利ＥⅡ～Ⅲ
第71図-20		深鉢/胴部	地文LR、隆帯による区画/白色粒子を多く含む/第71図-7屋外埋甕と同一か	中期/加曽利ＥⅡ～Ⅲ
第71図-21		深鉢/胴部	地文LR、隆帯による区画/白色粒子を多く含む/第71図-7屋外埋甕と同一か	中期/加曽利ＥⅡ～Ⅲ
第71図-22		深鉢/胴部	地文LR、沈線による区画か/砂礫を多く含む	中期/加曽利ＥⅡ～
第71図-23		胴部	地文RL、沈線による区画	中期/加曽利ＥⅡ～
第71図-24		胴部	地文RL。沈線による区画、磨滅が激しい	中期/加曽利ＥⅡ～
第71図-25		胴部	RL撚糸	中期
第71図-26		胴部	LR縄文	中期
第71図-27		胴部	LR縄文	中期/加曽利ＥⅡ～
第71図-28		胴部	２本の横位沈線、下部に縄文か/砂礫を多く含む	中期
第71図-29		胴部	２本の縦位沈線、ミガキ丁寧	中期
第71図-30		胴部	細い棒状工具による施文/砂礫を多く含む	中期
第71図-31		胴部	縦位櫛歯状工具文/白色粒子を多く含む/第71図-7屋外埋甕と同一か	中期
第71図-32		胴部	無文/白色粒子を多く含む	中期
第71図-33		底部	上げ底	中期



第 71 図　西ノ原遺跡第 164 地点 出土遺物 (1/4)

Ⅲ　西ノ原遺跡第 165 地点

（1）調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 7 月 30 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2015 年 9 月 30 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1.2m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から遺構確認面までの深さは約 130 ㎝である。

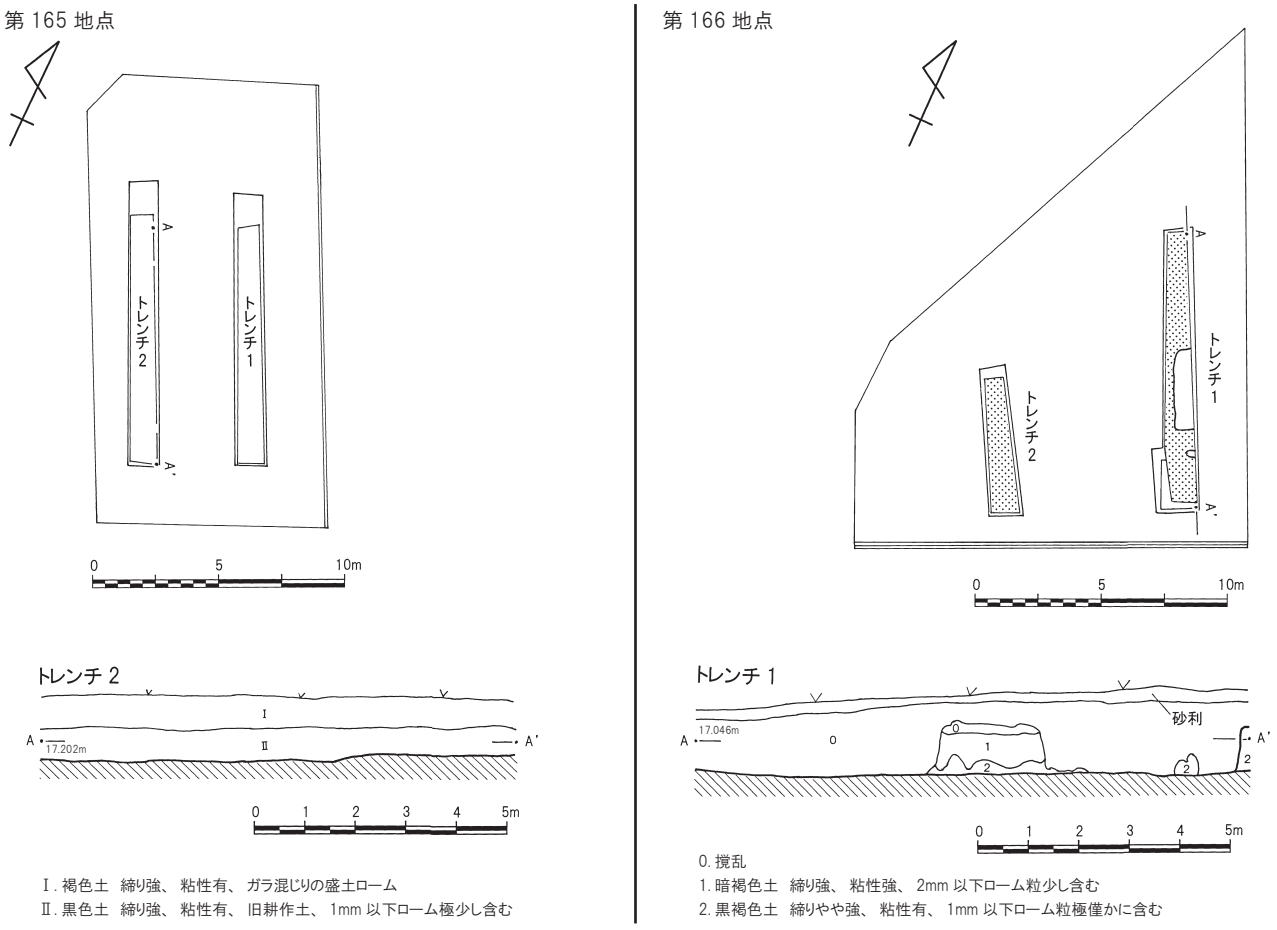
調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。旧石器時代の調査は行っていない。

Ⅳ　西ノ原遺跡第 166 地点

（1）調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 10 月 19 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 11 月 5 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1.3m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から遺構確認面までの深さ約 150 ㎝である。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の調査は行っていない。



第 72 図　西ノ原遺跡第 165・166 地点 調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

Ⅴ　西ノ原遺跡第 167 地点

（1）調査の概要

調査はアスファルト造成工事に伴うもので、原因者より 2015 年 10 月 19 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 11 月 9 ～ 10 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1.6m のトレンチ 4 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 50 ～ 60 ㎝である。

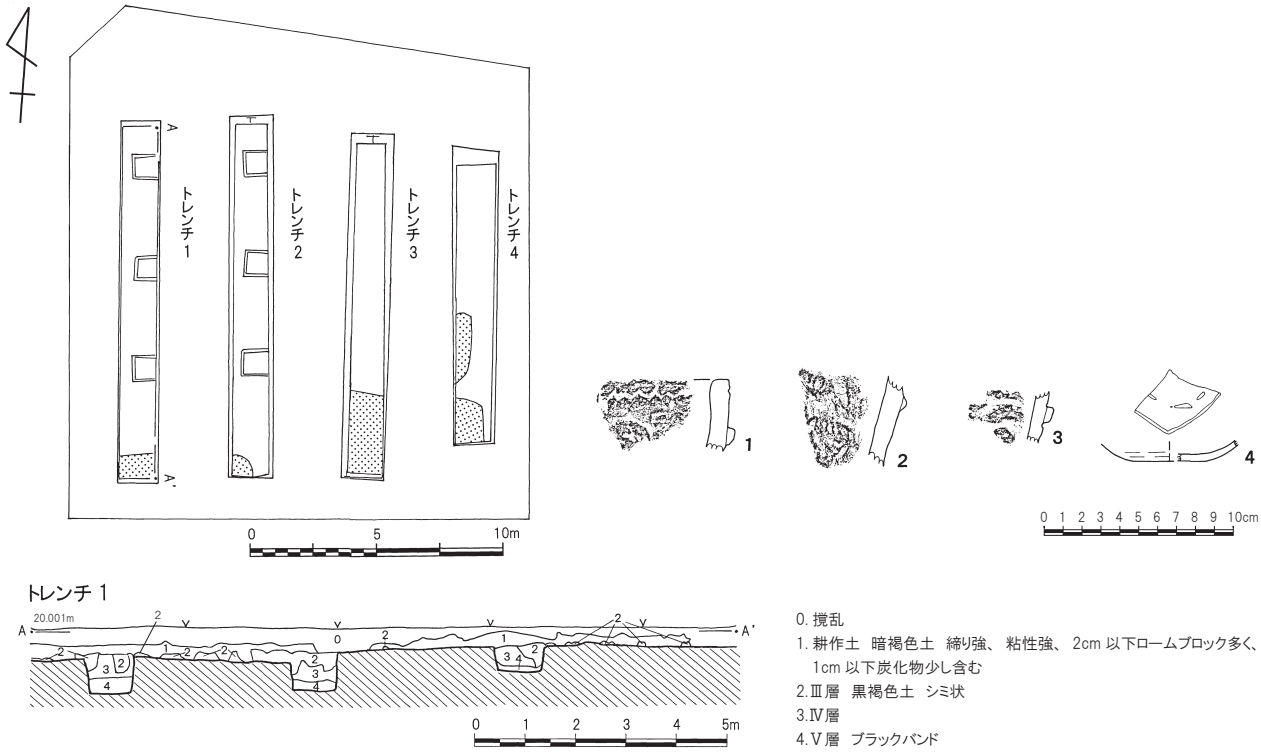
調査の結果、遺構は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

また、トレンチ 1・2 において石器時代の確認調査を実施した。1 m 四方の調査区を約 3m 間隔で計 6 ケ所設定して掘り下げたが、遺構・遺物は確認されなかった。

（2）遺構と遺物

遺構は確認されなかったが、表土中より縄文土器片と陶器片が出土した。

1 ～ 3 はすべて縄文時代の深鉢である。1 は口縁部で波状の沈線と横位の隆帯を施す。2・3 は胴部で、どちらも隆帯貼付だが摩耗が激しく詳細は不明。4 は灯明皿の破片である。底径 4 ㎝、内面に鉄釉を施す。内面に重ね焼きの痕跡が見られる。1 ～ 3 は縄文時代中期、4 は近世に帰属する。



第 73 図　西ノ原遺跡第 167 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)、出土遺物 (1/4)

第 17 章 神明後遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

神明後遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約300m、さかい川の谷頭部から約 1,500m 下った右岸に位置し、標高 12 ～ 16m、現谷底との比高差は 1.5m を測る。さかい川は本遺跡付近から崖を形成し始め、本遺跡をのせる南側台地は急斜面、対岸の北側は緩やかな斜面を形成している。

周辺の遺跡は、上流に中沢前遺跡、下流に浄禅寺跡遺跡、苗間東久保遺跡が隣接し、さかい川の対岸には富士見市の外記塚遺跡がある。

遺跡周辺は古くからの集落があり、現在でも大きな屋敷地が多く大きな開発もなかったが、ふじみ野駅の開設に伴い徐々に再開発が進みつつある。

本遺跡の最初の調査は 1987 年に大井町史編纂事業の一環として行われた。その後 1993 年に新駅へ延びる道路をはじめ、2018 年 4 月現在、55 地点で試掘調査および発掘調査が行われている。

これまでの調査で縄文時代中期後半～後期前半の住居跡、奈良時代から平安時代の住居跡、中世の建物跡などの遺構を検出した。

Ⅱ　神明後遺跡第 54 地点

（1）調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 9 月 15 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 12 月 3 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1.5m のトレンチ 1 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から 60 ㎝下でも地山ローム層は確認されなかった。

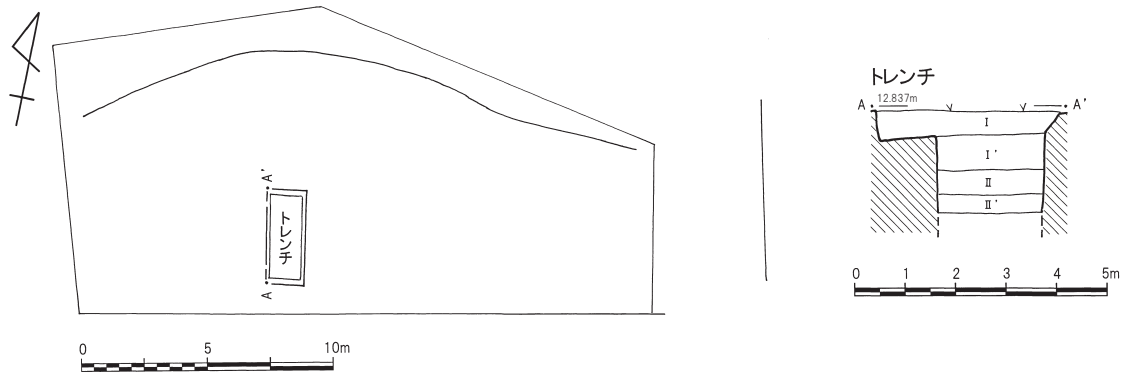
調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

第 74 図　神明後遺跡の地形と調査区（1/4,000）

第 45 表　神明後遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間（　）は試掘調査	面積（㎡）	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	苗間281-1	1993.5.6～11	615	共同住宅	遺構なし、平安時代須恵器片、陶器片	町Ⅲ
2	苗間295-2、299-3	1993.5.12～20	1,688	道路築造	落とし穴１、平安住居跡１（Ｈ１号）、縄文土坑１、中・近世掘建柱建物跡、地下式壙１、井戸、堀	町Ⅲ
3	苗間309-12	(1995.3.24～29) 1995.4.3～5.19	200	分譲住宅	縄文住居跡１（２号）、伏甕２、埋甕１、土坑２、ピット34他	町Ⅵ
4	苗間302	(1996.6.17～19)	703	物置	遺構なし、縄文土器片	町Ⅵ
5	苗間神明後395-5	(1997.3.15) 1997.3.15～4.2	80	個人住宅	縄文住居跡１（３号）、土坑５、溝、縄文中期後半～後期初頭土器	町Ⅵ
6	苗間255、227-2	(1997.9.29～30)	150	個人住宅	土坑１、土器片・石器片	町Ⅶ
7	苗間260	(1998.6.1～2)	1,460	個人住宅	近世地下室１	町Ⅷ
8	苗間235-1	(1998.7.13～24)	458	共同住宅	縄文土器片	町Ⅷ
9	苗間310-1	(1998.9.1～11) 1998.9.14～10.15	219	共同住宅	縄文住居跡４、集石土坑１、落とし穴１、縄文土坑２、近世土坑１、井戸２、地下室１、ピット33	町Ⅷ
10	苗間298-1	(1999.9.16)	44	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	町Ⅸ
11	苗間366	(1999.10.21) 1999.10.22～26	239	個人住宅	土坑17、ピット７	町Ⅸ
12	苗間282-2・5	(2000.3.6)	211	共同住宅	遺構遺物なし	町Ⅸ
13	苗間302-1	(2000.4.17～19)	694	個人住宅	土坑12、ピット	町Ⅹ
14	苗間252-2	(2000.8.18～23)	357	共同住宅	土坑１、近世掘建柱建物跡１、溝２、井戸１、柵列、ピット38	町Ⅹ
15	苗間293-15	(2001.4.11) 2001.4.12～13	163	個人住宅	集石土坑１（阿玉台期）	町Ⅺ
16	苗間309-14	(2001.7.23～24) 2001.7.25～9.3	165	個人住宅	縄文屋外埋甕４、土坑13、溝２、地下式壙１、地下室１、竪穴状遺構１、ピット38	町Ⅺ
17	苗間369-1	(2002.3.28)	581	個人住宅	近世溝	町Ⅺ
18	苗間304-1、303-6	(2002.5.15～25) 2002.5.27～6.21	672	分譲住宅	縄文中期住居跡５（８～12号）、土坑、古代・中世堀跡	町Ⅻ
19	苗間264-4	(2002.9.18～20)	216	個人住宅	根切溝、溝４	町Ⅻ
20	苗間293-11	(2003.1.14～15)	143	個人住宅	中・近世溝２、ピット２	町Ⅻ
21	苗間283-1	(2003.1.10～30)	674	土地造成	ピット７、井戸１、近世地下室２、土坑１	町Ⅻ
22	苗間235-2・3	(2003.7.8～29)	430	分譲住宅	井戸１、土坑10、ピット38、江戸後期陶磁器	町Ⅻ
23	苗間253	(2004.4.9)	62	個人住宅	地下室１、銭貨	町Ⅻ
24	苗間神明後293-4・10	(2004.9.30～10.7)	148	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅻ
25	苗間295-1	(2004.9.30～10.7)	660	店舗併用住宅	遺構遺物なし	町Ⅻ
26	苗間神明後301、303-3～5・7、304-1	(2005.6.1～8) 2005.6.15～30	689	分譲住宅	縄文中期住居跡１（13号）、中世地下式壙、近世土坑５、溝	調査18集
27	苗間248-2、249-1	(2005.7.20～25) 2005.7.27～29	385	共同住宅	縄文中期住居跡１（14号）	調査18集
28	苗間神明後306-1	(2006.5.8～31) 2006.6.29～10.5	2,171	宅地造成	縄文中期住居跡11（15～25号）、集石23、土坑５、落とし穴１、炉穴３、ピット、溝４、古代・中世堀跡１	市３
29	苗間神明後303-21・24	(2006.5.8～11) 2006.5.12～19	135.9	個人住宅	ピット１、古代・中世堀跡１	市３
30	苗間神明後303-1	(2006.5.8～19) 2006.12.14～19	101.13	個人住宅	ピット12	市３
31	苗間神明後284	(2007.8.3～7)	499	個人住宅	土坑２	市４
32	苗間神明後247-2	(2008.3.13)	136	個人住宅	近・現代撹乱	市４
33a	苗間240-2	(2008.4.25～5.16)	298	個人住宅	落とし穴１、中世以降溝６、井戸２、土坑38、ピット16	市６
33b	苗間240-2	(2008.4.25～5.16)	357	分譲住宅		市６
34	苗間字神明後283-1、284-1の一部	(2008.4.30～5.15) 2008.5.16～28	1,693	個人住宅	縄文中期住居跡１（26号）、落とし穴１、集石３、ピット	市５
35	苗間字神明後293-6・20	(2008.8.1)	247	個人住宅	遺構遺物なし	市６
36	苗間字神明後293-3	(2008.9.2)	165	個人住宅	ピット１	市６
37	苗間258-1の一部	(2009.4.13) 2009.4.15～30	120	個人住宅	縄文後期住居跡１	市８
38	苗間字神明後293-1、292-13	(2009.7.6～7) 2009.7.8～16	265	個人住宅	中近世溝１	市８
39	苗間字神明後264-1	(2009.8.5～12) 2009.8.24～9.1	378	共同住宅	中～近世溝２、ピット28、落とし穴１	市７
40	苗間309-1	(2009.11.9～16) 2009.12.18～2010.1.15	156	個人住宅	縄文集石土坑１、中世地下式坑２、井戸１、竪穴状遺構１、土坑９	市８
41	苗間字神明後298-1、299-1の一部	(2010.5.25～6.7) 2010.6.15～7.21	486.36	共同住宅	縄文時代集石土坑１、中世の掘立柱建物跡、方形竪穴状遺構16、溝７、木炭窯２、ピット214	市９
42	苗間神明前380-3	(2010.6.1～2)	312	宅地造成	遺構遺物なし　（隣接地）	市10
43	苗間292-14	(2010.10.20～22) 2010.10.22	107	個人住宅	中世～近世期ピット７、本調査	市10
44	苗間神明後367-1、368-1の一部	(2011.7.8) 2011.7.11～13	1,535.8	個人住宅	落とし穴１、土器・陶器片	市14
45	苗間神明後235-9	(2011.12.5)	200	個人住宅	遺構遺物なし	市14
46	苗間神明後235-6	(2012.4.9～10)	233	個人住宅	縄文土坑１、土器片	市15
47	苗間神明後227-2	(2012.4.24) 2012.4.25～5.10	340	個人住宅	縄文時代集石３、ピット４、縄文土器片	市15
48	苗間神明後315-1の一部	(2012.5.7) 2012.5.8～14	171	個人住宅	井戸２、溝３、土坑８、ピット、板碑、カワラケ、近世陶磁器、石臼片	市15
49	苗間神明後367-1,368-6	(2013.1.30)	27.5	個人住宅	遺構遺物なし	市15
50	苗間375	(2013.12.11)	531	薬師堂	遺構遺物なし	市18
51	神明後295-1、297-1・2の一部、298-1、299-1	(2014.11.5～13) 2014.11.20～25	487.33	集合住宅	縄文時代土坑２、中近世溝２、縄文土器	市16
52	苗間字神明後231-1	(2015.1.28)	379	個人住宅	遺構なし、土器片	市20
53	苗間字神明後298-1	(2015.1.28)	495	個人住宅	遺構遺物なし	市20
54	苗間字神明後293-7・9	(2015.12.3)	342	共同住宅	遺構遺物なし	市22
55	苗間字神明後310-1の一部	(2017.5.8) 2017.5.9～12	180	個人住宅	縄文住居跡２、縄文土器、石器	未報告

※町：大井町町内遺跡群、調査：大井町遺跡調査会報告、市：ふじみ野市市内遺跡群



Ⅰ. 黒褐色土　締り弱、 粘性有、 表土盛土層で、 木の根・ロームブロック・礫を多く含む
Ⅰ'. 暗褐色土　締り弱、 粘性無、 砂質で礫主体の盛り土
Ⅱ. 黒褐色土　締り強、 粘性有、 旧耕作土、 やや灰黒色
Ⅱ'. 黒色土　締り強、 粘性有、 旧包含層で黒色土

第 75 図　神明後遺跡第 54 地点調査区域図（1/300)、土層 (1/150)

第 18 章　浄禅寺跡遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

浄禅寺跡遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約600m、浄禅寺川の湧水地南側から右岸の台地上に位置する。標高 12 ～ 14m で現谷底との比高差は 2m を測る。浄禅寺川はさかい川と砂川堀の間を東流し、さかい川に合流する。さかい川はやがて砂川堀に合流して新河岸川へと注ぐ。

周辺の遺跡は北西に神明後遺跡、北側に苗間東久保遺跡が隣接する。本遺跡は 1989 年に苗間東久保遺跡の一部を、浄禅寺川を境に分割して登録した。

遺跡周辺は市街化が進み、残された畑地も周辺の区画整理の影響で開発が増加している。

2018 年 4 月現在 50 地点で試掘調査及び発掘調査を行い、縄文時代早期の炉穴多数、前期住居跡 1 軒、中期住居跡 4 軒、中・近世の薬研状の堀や、遺跡名の由来である浄禅寺墓域から土壙墓 157 基、一字一石経約 76,000 点が出土している。浄禅寺は江戸時代に建立されたが、幕末に焼失して以来再建されていない。

Ⅱ　浄禅寺跡遺跡第 40 地点

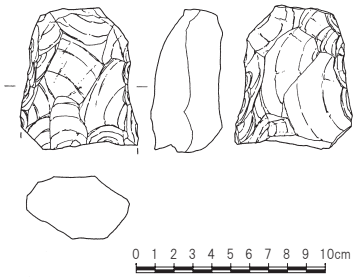
（1）調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴い、2015 年 8 月 19 日～9 月 30 日に試掘調査、10 月 1 日～ 11 月 9 日に本調査を実施した。詳細については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第 20 集『市内遺跡群 19』(2017 年 3 月刊行) にて報告済みのため、本書では割愛した。

（2）遺構と遺物

集石土坑の礫中より新たに見つかった石器 1 点について報告する。石器は打製石斧で、長さ (7.5) ㎝、幅 6.1 ㎝、厚さ 3.7 ㎝、重量 176.66g である。頁岩製で、一部欠損する。

集石土坑 1



第 76 図　浄禅寺跡遺跡の地形と調査区（1/4,000)、第 40 地点出土遺物 (1/4)

第 46 表　浄禅寺跡遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 （　）は試掘調査	面積（㎡）	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	苗間東久保579	1979.4.3～21	605	共同住宅	苗間東久保１地点として報告済み 炉穴10、土坑14、縄文早期後半・中期	東部遺跡群Ⅰ
2	苗間東久保573	1982.4.1～3	396	共同住宅	苗間東久保７地点として報告済み 遺構なし、磨耗縄文土器	東部遺跡群Ⅲ
3	苗間東久保581	1984.7.20～21	320	共同住宅	苗間東久保12地点を浄禅寺３地点とする 遺構なし、縄文中期末	未報告
4	苗間神明後346-1	1989.11.15～25	150	開発予定地	炉穴10、土坑７、ピット14、縄文早期後半・前・中期	東部遺跡群Ⅹ
5	苗間374-9	1991.8.28～9.3	100	個人住宅	遺構なし、縄文前期・中期土器片	町内遺跡群Ⅰ
6	苗間358-1	1991.9.21～12.26	826	個人住宅	遺構・遺物なし	町内遺跡群Ⅰ
7	苗間東久保573-4	1992.10.20～11.20	831	共同住宅	炉穴８、井戸３、堀３、縄文草～中期	調査会報告５集
8	苗間357-1	（1994.9.20～27）	615	宅地分譲	落とし穴、根切溝	町内遺跡群Ⅳ
9	苗間353	（1994.10.18）2007.5.22～24	1,266	農地改良	土坑、溝、縄文土器、磁器	町内遺跡群Ⅳ、市内４
10	苗間356-1	1994.10.31～11.2	999	宅地分譲	近世土壙墓、一石経埋納土坑、六道銭、江戸中後期	調査会報告12集
11	苗間352-1　他	（1995.1.9～2.3）	572	道路	湧水口	町内遺跡群Ⅳ
12	苗間35-95	1995.9.25～10.21	140	個人住宅	屋外炉、遺物集中３、ピット16、溝５、縄文中期土器、磁器	町内遺跡群Ⅴ
13	苗間314-2	（1996.1.8～29）	101	個人住宅	土坑13、ピット11、井戸１、溝２、縄文早～後期、陶磁器	町内遺跡群Ⅴ
14	苗間360-1,362-2	（1996.6.3～12）1996.6.18～7.11	2,178	個人住宅	礫群３、落とし穴１、溝４、ピット251、旧石器、縄文土器、陶磁器片	町内遺跡群Ⅵ
15	苗間362-4・5	（1996.6.3～12）1996.7.12～8.2	494	分譲住宅	炉穴７	町内遺跡群Ⅵ
16	苗間579-1	1997.11.10～12.19	291	個人住宅	縄文住居１、炉穴14、ピット61、土坑16、溝４、縄文早期後半、前期、中期	町内遺跡群Ⅶ
17	苗間345-2・10	（1998.9.29～10.2）	877	個人住宅	遺構なし、縄文早期後半、中期後半	町内遺跡群Ⅷ
18	苗間345-3・4	（1999.5.26～6.24）1999.6.26～8.3	599	個人住宅	炉穴８、集石土坑３、土坑13、ピット27、溝、縄文後期土器、土師器	町内遺跡群Ⅸ
19	苗間神明後345-4	1999.828～9.14	703	分譲住宅	炉穴１、集石２、焼土痕４、土坑22、井戸２、溝８、掘立５、縄文早～晩期土器、石器、中近世陶磁器、板碑	調査会報告15集
20	苗間神明後351-1	（2001.10.26～29）	223	倉庫	遺構なし、近世磁器	町内遺跡群Ⅺ
21	苗間東久保591-3、592-7	（2001.11.19～20）	182	個人住宅	遺構なし、遺物なし	町内遺跡群Ⅺ
22	苗間373-5・8、377-5・3・4	（2002.4.23～5.14）	935	分譲住宅	土坑１、ピット４、溝、遺物なし	町内遺跡群Ⅻ
23	苗間592-1	（2003.4.28）	100	個人住宅	ピット２、溝、遺物なし	町内遺跡群Ⅻ
24	苗間神明後346-1・2の一部	（2004.8.30～31）	391	個人住宅	遺構・遺物なし	町内遺跡群Ⅻ
25	苗間339-1・2	（2004.9.22～10.12）	721	共同住宅	ピット２	町内遺跡群Ⅻ
	苗間神明後338-8、339-2	（2012.6.27）	844.8	個人住宅	遺構・遺物なし	市内遺跡群14
26	苗間神明後354-2の一部	（2005.3.3～8） 2006.4.17～28、6.7～15	216	分譲住宅	炉穴10、土坑８、ピット21、溝１、縄文中期片	市内遺跡群３
27	苗間神明後354-2	（2005.12.1～2006.1.22） 2006.1.23～2.23	696	道路・分譲住宅	住居跡１、炉穴15、埋甕２、土坑117、ピット127、溝１	市内遺跡群２
28	苗間字東久保719-7、720-1	（2007.1.23）	2,478	園舎改築	溝２	市内遺跡群３
29	苗間570-1・2、571-1・2、575	（2007.8.7～9.21）2007.9.25～11.6	4,920	分譲住宅	掘立柱建物跡３、井戸15、土坑15、堀跡１、溝17、陶磁器・板碑他	市内遺跡群４
30	苗間359-1	（2007.9.14～10.9）2007.10.9～11.2	1,298	分譲住宅	茶毘跡５、木炭窯１、土坑15、溝２、陶磁器・板碑他	市内遺跡群４
31	苗間字神明後342-14一部	（2007.2.19）2007.2.19～3.5	171	個人住宅	住居跡１、炉穴１、土坑１、ピット26、縄文土器・石器	市内遺跡群４
32	苗間字神明後340-17,342-10・15	（2007.2.25～3.4）	188	個人住宅	堀跡１、ピット１、縄文土器	市内遺跡群４
33	苗間字神明後340-21	（2010.8.6）	76	個人住宅	土坑１	市内遺跡群10
34	苗間字東久保586-7,587-2の一部	（2012.8.24）	160	個人住宅	遺構・遺物なし	市内遺跡群14
35	苗間字東久保582-8	（2012.4.4）	80	個人住宅	ピット１、縄文土器片	市内遺跡群15
36	苗間字東久保573-5	（2012.8.6～9）2012.9.5～12	401	宅地造成	土坑２、ピット14、溝５	市内遺跡群15
37	苗間字東久保727-17	（2012.11.21）	100.52	個人住宅	遺構・遺物なし	市内遺跡群15
38	苗間東久保578-11	（2013.5.14）	53.42	個人住宅	遺構なし、表採土器	市内遺跡群18
39	苗間565-1	（2013.6.25～7.3）	1,709	分譲住宅	中世以降の溝、遺物なし	市内遺跡群18
40	苗間字神明後355-1・2・12	（2015.8.19～9.30）2015.10.1～11.9	2,308.06	分譲住宅	縄文時代住居跡１、集石土坑３、溝６、土坑13、ピット51、地下式坑１、井戸１、縄文土器	市内遺跡群19
41	苗間字神明前509-1・5	（2015.12.21）	349.73	分譲住宅	土坑１、ピット１、土器片	市内遺跡群22
42	苗間字神明前564-3の一部	（2016.4.8）	132.35	分譲住宅	土坑１、遺物なし	未報告
43	苗間字589-1	（2016.6.20～24）	1,402	公園	遺構・遺物なし	未報告
44	苗間字神明前564-5	（2016.7.4）	124.05	分譲住宅	溝１、遺物なし	未報告
45	苗間字349-3、350-4	（2016.8.18～19）	310	個人住宅	ピット12、縄文土器、泥面子	未報告
46	苗間588-10	（2017.2.6）	108	道路拡幅	遺構なし、縄文土器	未報告
47	苗間字神明後345-1	（2017.4.24）2017.4.25～5.2	401	個人住宅	炉穴、土坑、ピット、縄文土器	未報告
48	苗間字東久保717-3	（2017.4.24）	103	分譲住宅	遺構・遺物なし	未報告
49	苗間字東久保569-1	（2017.5.22～23）	798	分譲住宅	遺構・遺物なし	未報告
50	苗間字東久保717-12	（2017.7.10）	132	個人住宅	遺構・遺物なし	未報告

Ⅲ　浄禅寺跡遺跡第 41 地点

（1）調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 12 月 4 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 12 月 21 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1 ～ 1.4m のトレンチ 5 本を設定し、重機で表土除去後、人力により表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは 50 ～ 90 ㎝である。

調査の結果、土坑とピットを 1 基ずつ検出した。土坑は建物の影響を受けないため完掘していない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の調査は行っていない。

（2）遺構と遺物

①土坑

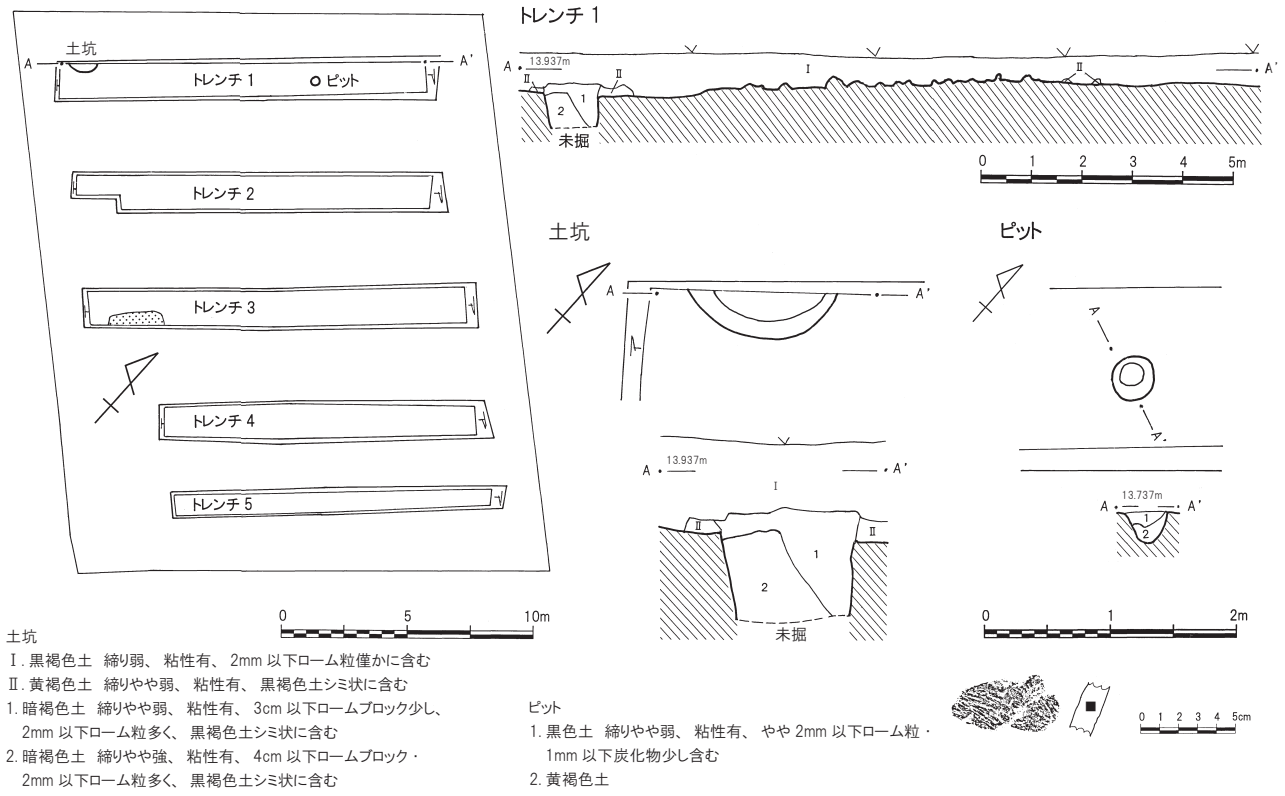
土坑は調査区東端で検出した。土層の観察から近世以降に帰属するものと考えられる。建物建築範囲に当たらなかったため、トレンチ内での確認に留めた。そのため規模・形状ともに不明。遺物は出土していない。

②ピット

ピットは調査区北側、トレンチ 1 で検出した。平面形状は円形で、遺構の規模は確認面径 30 × 30 ㎝、底径 20 × 15 ㎝、深さ 24.3 ㎝である。出土遺物はない。帰属時期は、土層の観察から土坑と同様に近世以降であると考えられる。

③出土遺物

出土遺物は、表土中より縄文土器片が 1 点出土した。条痕文を施文し、胎土に繊維を含む。縄文時代早期。



第 77 図　浄禅寺跡遺跡第 41 地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)、土坑・ピット (1/60)、出土遺物 (1/4)

第 19 章　小田久保遺跡の調査

Ⅰ 遺跡の立地と環境

小田久保遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約 1.3 ㎞、砂川堀の左岸、標高 23 ～ 28m に位置する。本遺跡をのせる台地は緩やかな斜面を形成するが、対岸の南側台地は急傾斜をなす。

周辺の遺跡は、砂川堀を挟んだ南側台地上に旧石器時代の石器・礫群を検出した西台遺跡が、本遺跡の東側、微高地の突端には縄文時代前期住居を検出した大井氏館跡遺跡がある。

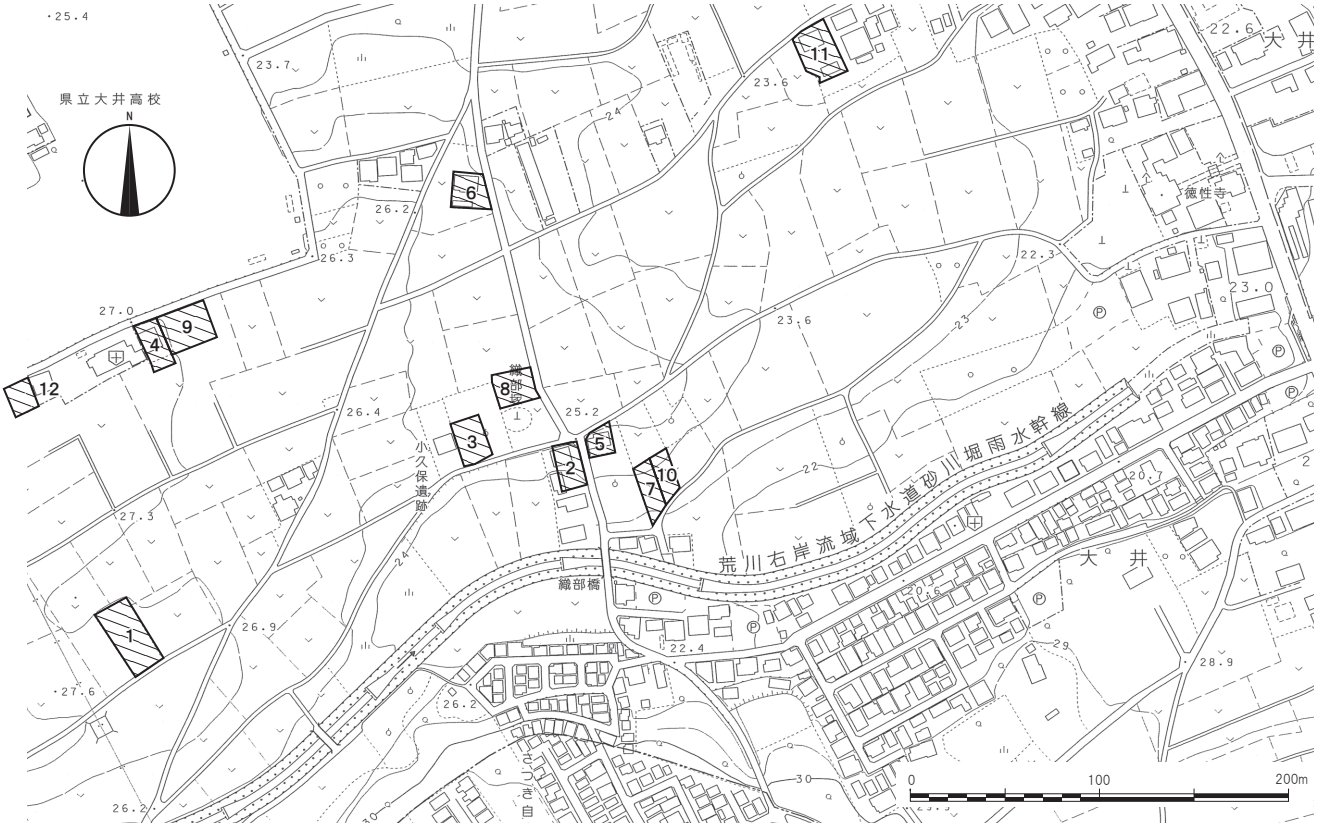
本遺跡は市街化調整区域のため比較的武蔵野の面影を残す農村地帯だが、区画整理事業とふじみ野駅の開設により、ここ数年開発の波が押し寄せつつある。

1990 年に最初の試掘調査が行われて以来、過去の調査では数点の縄文土器片を確認しているだけであったが、2003 年と 2004 年の調査において本遺跡では初の住居跡を検出したことにより、本遺跡が縄文時代中期の集落である事が明らかとなりつつある。今後は集落の分布や範囲の解明が待たれる。分布調査や発掘調査から遺跡の時期は旧石器時代、縄文時代早期から中期、中近世である。2018 年 4 月現在、12 ヶ所で調査を行っている。

第 47 表　小田久保遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間（　）は試掘調査	面積（㎡）	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	大井1223-3	(1990.10.12～18) H3.1月末～継続調査予定	694	資材置場	遺構なし、縄文中期土器片	東XI
2	大井1249-1	(1993.9.21～10.1)	498	個人住宅	遺構なし、縄文中期土器片、石器	町内III
3	大井1214-3	(1994.6.7)	330	個人住宅	遺構なし、縄文中期土器片、石器	町内IV
4	大井1185-5	(1997.6.24～26)	271	分譲住宅	土坑１	町内VII
5	大井字西原1023	(2003.8.18～19) 2003.8.20～9.2	165	個人住宅	縄文中期住居跡１、縄文土器・石器	町内XII
6	大井字小田久保1207-5	(2004.10.26～27) 2004.10.28～11.13	306	個人住宅	縄文中期住居跡１、集石土坑１、土坑２、ピット８、縄文土器・石器	町内XII
7	大井字西原1023-9・8	(2008.5.19～21)	333	個人住宅	遺構遺物なし	市内６
8	大井字小田久保1211-1	(2010.3.3～9)	421	個人住宅	縄文時代土坑５、ピット８、近世以降根切り溝９、縄文土器・石器、泥面子	市内８
9	大井字小田久保1185-1	(2010.3.9)	536	個人住宅	遺構遺物なし	市内10
10	大井字西原1023-3	(2014.10.7)	317	個人住宅	縄文時代土坑１、縄文土器	市内20
11	大井985-4	(2015.5.14)	330.16	個人住宅	遺構遺物なし	市内22
12	小田久保1190-1・2・4、1196-1・2	(2015.8.18)	536	個人住宅	遺構遺物なし	市内22

※東：大井町東部遺跡群、町：大井町町内遺跡群、町資：大井町史資料編Ⅰ、調査：大井町遺跡調査会報告、市：ふじみ野市市内遺跡群



第 78 図　小田久保遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

Ⅱ　小田久保遺跡第 11 地点

（1）調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 5 月 8 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 5 月 14 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1.5m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力よる表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 60 ㎝である。

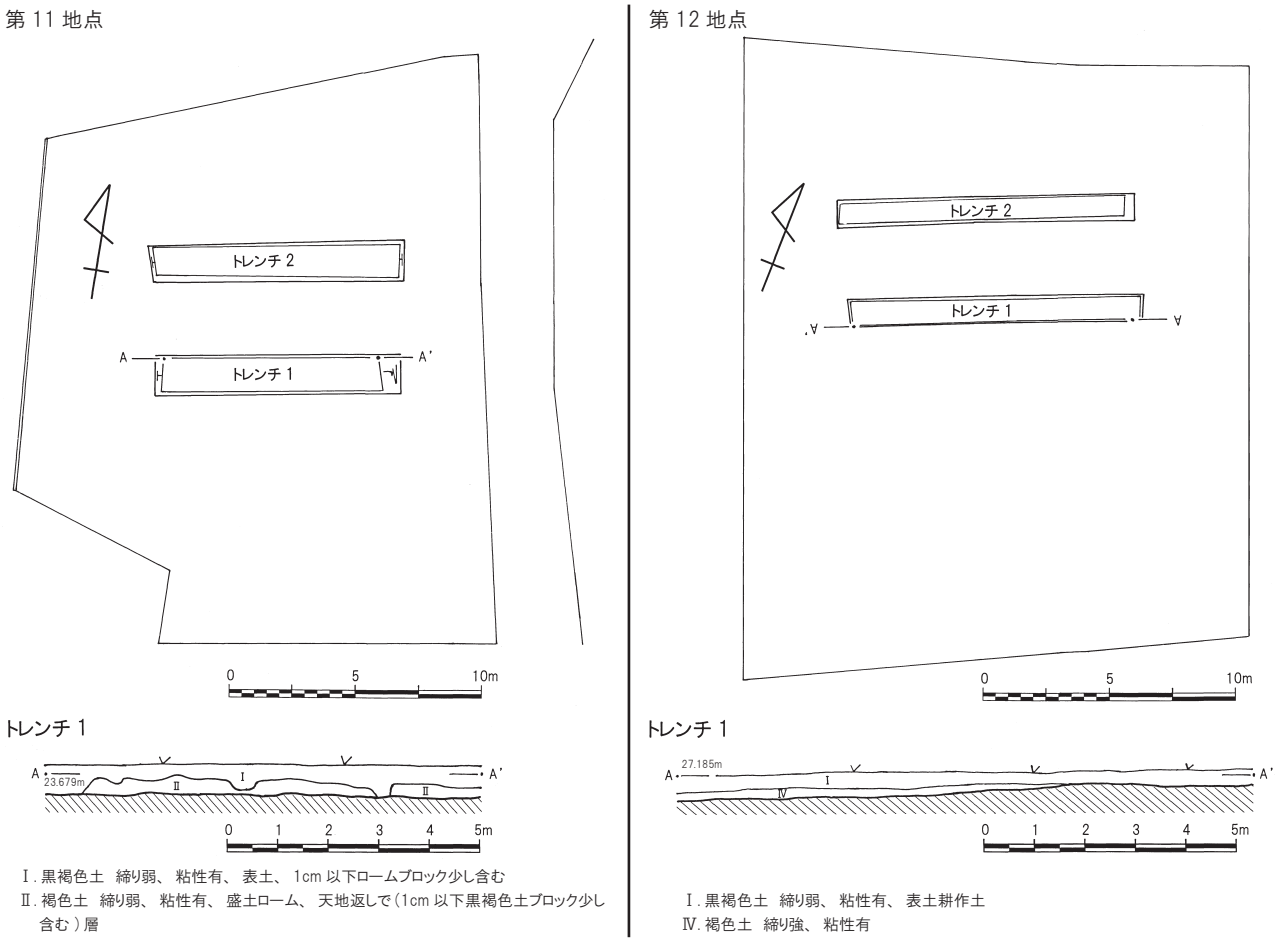
調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

Ⅲ　小田久保遺跡第 12 地点

（1）調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 4 月 21 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 8 月 18 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1 m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 50 ～ 60 ㎝である。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



第 79 図　小田久保遺跡第 11・12 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

第 20 章　大井氏館跡遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

本遺跡の名称は『埼玉の城館跡』(1972 埼玉県教育委員会) によるもので、平安時代末から鎌倉時代に活躍した武蔵七党の一つ、村山党の大井氏一族の館跡という想定による。遺跡は砂川堀左岸 (北側) の舌状に張り出した微高地上、標高 21 ～ 22m に立地し、西は川越街道に接している。砂川堀の対岸は段丘面を形成しており、比高差 5m の崖になる。

遺跡の時期はＡＴ降灰前の立川ローム層第Ⅳ層段階の石器群、縄文時代前期、中世、大井宿に関連した近世・近代まで多岐にわたる。

Ⅱ　大井氏館跡遺跡第 26 地点

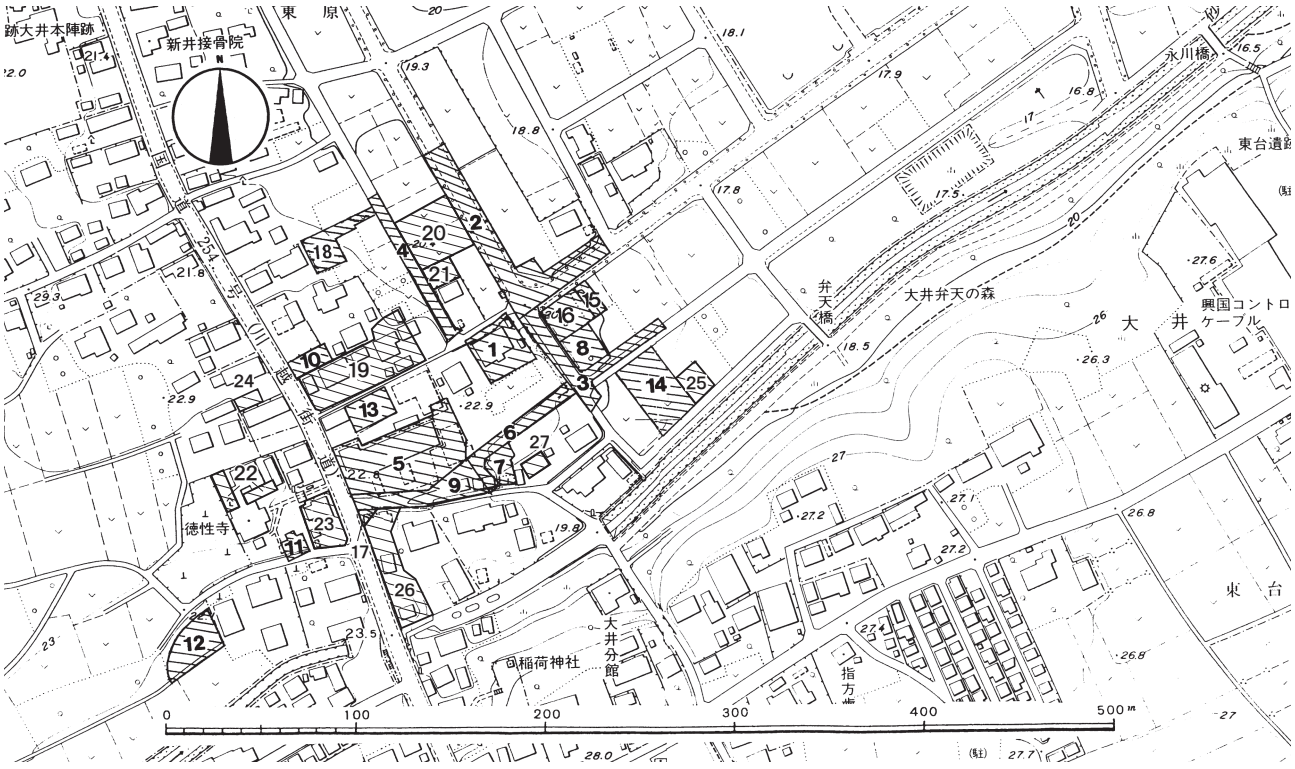
（1）調査の概要

調査は貸店舗建設に伴うもので、原因者より 2015 年 5 月 19 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじ

第 48 表　大井氏館跡遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間（　）は試掘調査	面積（㎡）	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1 2 3 6 8 9	大井212他	1988.6.24～1993.10.26	4,800	大井・苗間第一土地区画整理事業	旧石器時代－石器集中６、礫群14－石器、縄文時代－集石土坑１、土坑４－石器・土器、中近世・近世－地下式坑12、井戸２、土坑28、溝５、近世土坑14－国産陶器、舶載磁器、土師質土器、瓦質雑器類、石製品、板碑、金属製品、銭貨	調査会７
4		(1990.3.14～15)				—
5	大井	(1991.6.11～17) 1991.6.18～1993.4.6	2,220	店舗建設	縄文前期住居跡１、掘立建物跡、溝、前期中葉黒浜式土器、石器、陶磁器、砥石、銅銭、金属器、土製品	調査会５・町内Ⅰ
7	大井241-1	(1992.6.2～17)	157	個人住宅	堀１、溝１、道路遺構１、縄文土器、砥石、陶器	町内Ⅱ
10	大井208-1、209-1、210-4	(1998.8.22) 1998.9.19～10.2	1,153.46	ガソリンスタンド	縄文時代落とし穴１、近世の近代土坑、近世近代掘立柱建物跡１、井戸１、溝１、ピット24、陶磁器、土器、瓦、石製品、金属製品、ガラス製品	町内Ⅵ・調査会12集
11	大井182	(1998.11.9～17)		個人住宅	近世～近代の土坑６、溝５、陶磁器、土師器、鉄製品、ガラス製品、土製品、銭貨	町内Ⅷ
12	大井952	(1999.5.28～6.4) 1999.6.2～4	690	駐車場	溝５、陶磁器、銭貨、石器、鉄、瓦質土器、土師器	町内Ⅸ
13	大井1-8-1	(2000.11.21～24)	76	事務所	遺構遺物なし	町内Ⅹ
14	大井苗間129街区２画地	(2002.5.22～6.6) 2002.6.20～8.9	984	共同住宅	中世の溝９、井戸１、掘立柱建物跡、地下式坑１、茶毘跡６、土坑24、ピット	町内Ⅻ
15	大井苗間126街区１画地	(2002.7.24～8.2)	135	個人住宅	溝１、ピット４	町内Ⅻ
16	大井2-242-1	(2002.8.5～.22) 2002.8.23～9.5	677	個人住宅	縄文時代の集石４、土坑１、ピット14	町内Ⅻ
17	大井1-11-9	2002.11.19～12.2	50	道路	近世～近代の土坑14、ピット13、砥石、銭貨	町内Ⅻ
18	大井・苗間80-6-9	(2003.1.17～22)	476	個人住宅	溝２、陶磁器、ミニチュア土器、ガラス瓶	町内Ⅻ
19	大井1-6-13	(2005.6.7～8)	1,500	個人住宅	遺構遺物なし	市内２
20	大井1-7-7	(2006.3.2～14)	773	共同住宅	時期不明の溝12、ピット21、縄文土器、陶器	市内２
21	大井1-7-15	(2006.5.22)	174	個人住宅	遺構遺物なし	市内３
22	大井字西原954-1	(2007.11.27～12.1)	1,962	寺院庫裏建設	礎石３、土坑４、ピット25、近代陶磁器、石製品	市内４
23	大井字西原955-1、956-1	(2012.11.7～9) 2012.11.12～14	502.82	専用住宅	近世～近代の土坑10、近世～近代の陶磁器、土器、ガラス製品、石製品、銭貨、木製品等	市内15
24	大井字西原959、960	(2014.6.23) 2014.6.25	68.55	宅地	土坑（ごみ穴）１、近世陶磁器、瓦他	市内20
25	大井2-14-13の一部	(2014.12.15)	414	畑	遺構遺物なし	市内20
26	大井1-11-1～2他	(2015.6.1)	993.73	宅地	遺構なし、砥石３	市内22
27	大井1-9-5の一部	(2016.9.12)	301	個人住宅	遺構遺物なし	未報告

※町：大井町町内遺跡群、調査：大井町遺跡調査会報告、市内：ふじみ野市市内遺跡群

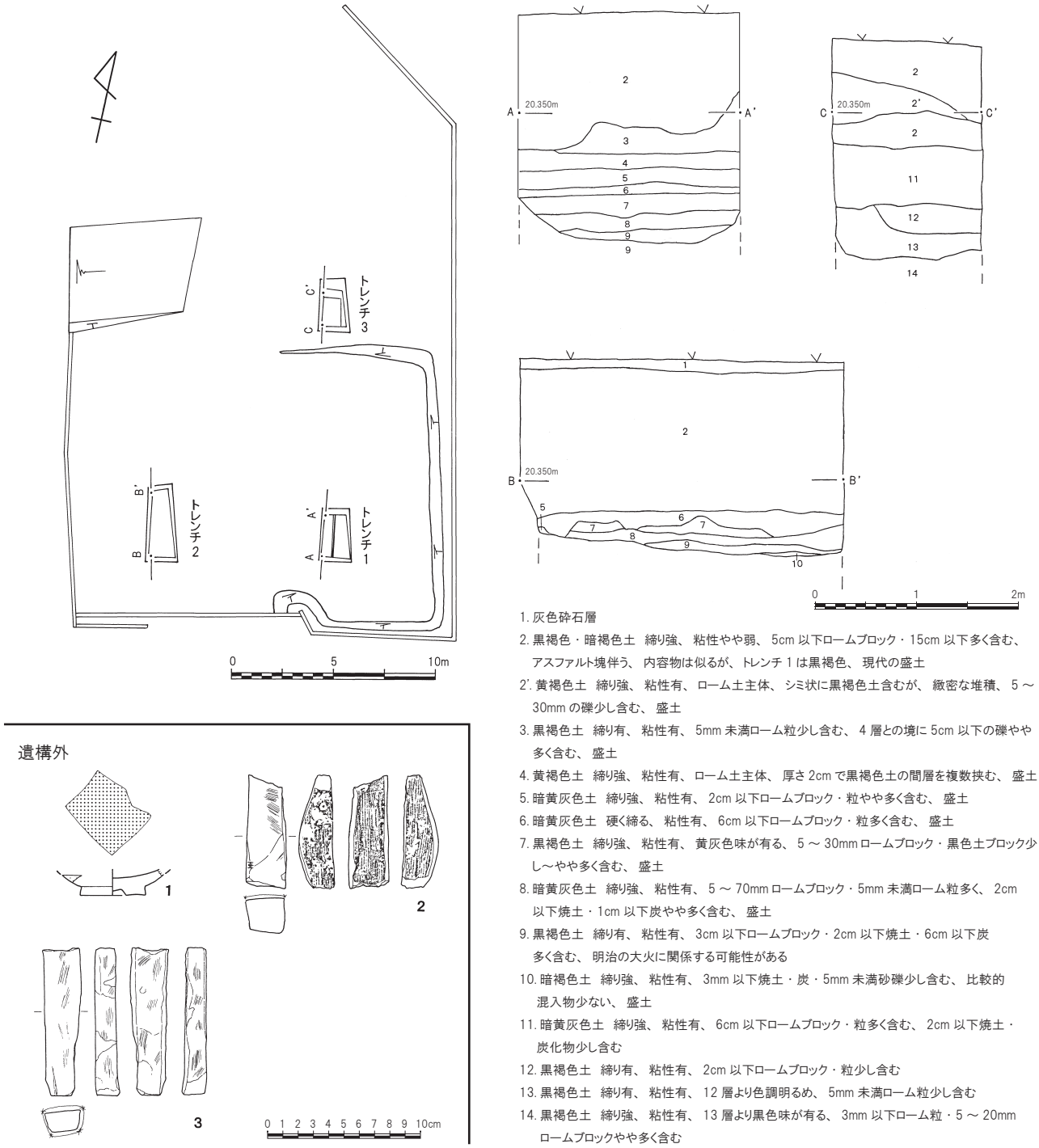


第 80 図　大井氏館跡遺跡の地形と調査区（1/4,000)

み野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 6 月 1 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1.5m のトレンチ 3 本を設定し、重機で表土除去後、人力により表面精査を行った。

調査の結果、表土層が厚く堆積しており、現地表面から 2m 下まで掘削したが地山ローム層は確認できなかった。遺構は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

表土中より陶器片 1 点と砥石 2 点が、現地表面から 1.7～2.1m 下の焼土と炭化物を含む層から出土した。1 は瀬戸・美濃産の陶器碗の底部である。底径 4.3 ㎝、高台幅が 1.3 ㎝である。底部を除いた内外面に鉄釉を施す。18 世紀後半～ 19 世紀前半に帰属する。2・3 はどちらも流紋岩製の砥石である。2 は長さ 7.4 ㎝、幅 2.7 ㎝、厚さ 2.3 ㎝、重量 67.9g で灰色を呈する。3 側面に櫛目状成形痕が認められる。3 は長さ 9.6 ㎝、幅 2.4 ㎝、厚さ 1.4 ㎝、重量 56.78g で灰白色を呈する。上州産である。



1. 灰色砕石層
2. 黒褐色・暗褐色土　締り強、 粘性やや弱、 5cm 以下ロームブロック・15cm 以下多く含む、アスファルト塊伴う、 内容物は似るが、トレンチ 1 は黒褐色、 現代の盛土
2'. 黄褐色土　締り強、 粘性有、 ローム土主体、 シミ状に黒褐色土含むが、 緻密な堆積、 5 ～ 30mm の礫少し含む、 盛土
3. 黒褐色土　締り有、 粘性有、 5mm 未満ローム粒少し含む、 4 層との境に 5cm 以下の礫やや多く含む、 盛土
4. 黄褐色土　締り強、 粘性有、 ローム土主体、 厚さ 2cm で黒褐色土の間層を複数挟む、 盛土
5. 暗黄灰色土　締り強、 粘性有、 2cm 以下ロームブロック・粒やや多く含む、 盛土
6. 暗黄灰色土　硬く締る、 粘性有、 6cm 以下ロームブロック・粒多く含む、 盛土
7. 黒褐色土　締り強、 粘性有、 黄灰色味が有る、 5 ～ 30mm ロームブロック・黒色土ブロック少し～やや多く含む、 盛土
8. 暗黄灰色土　締り強、 粘性有、 5 ～ 70mm ロームブロック・5mm 未満ローム粒多く、 2cm 以下焼土・1cm 以下炭やや多く含む、 盛土
9. 黒褐色土　締り有、 粘性有、 3cm 以下ロームブロック・2cm 以下焼土・6cm 以下炭多く含む、 明治の大火に関係する可能性がある
10. 暗褐色土　締り強、 粘性有、 3mm 以下焼土・炭・5mm 未満砂礫少し含む、 比較的混入物少ない、 盛土
11. 暗黄灰色土　締り強、 粘性有、 6cm 以下ロームブロック・粒多く含む、 2cm 以下焼土・炭化物少し含む
12. 黒褐色土　締り有、 粘性有、 2cm 以下ロームブロック・粒少し含む
13. 黒褐色土　締り有、 粘性有、 12 層より色調明るめ、 5mm 未満ローム粒少し含む
14. 黒褐色土　締り強、 粘性有、 13 層より黒色味が有る、 3mm 以下ローム粒・5 ～ 20mm ロームブロックやや多く含む

第 81 図　大井氏館跡遺跡第 26 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/60)、出土遺物 (1/4)

第 21 章　本村遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

本村遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約800m、砂川堀の左岸で標高 15 ～ 20m に位置する。遺跡内には旧砂川の流路であった埋没河川が幾筋も認められ、それに取り残されるように微高地が存在する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。

砂川堀の流域には多くの遺跡で、旧石器時代からの人々の活動の跡をみることが出来る。現在においても砂川の果たす役割は当時にも増して大きいものであるが、残念ながらその役割は大きく異なり、用水機能としての砂川から排水機能の砂川堀と言うのが現在の状況である。市内を流れる砂川堀も河川改修により、その姿を都市下水路に変え、往時を忍ばせる面影は残されていない。

周辺の遺跡では、砂川堀を挟んで縄文時代中期の大集落と奈良平安時代の製鉄関連遺跡である東台遺跡、旧石器時代の大井戸上遺跡と西台遺跡が位置する。左岸には旧石器時代～縄文時代の小田久保遺跡、旧石器時代～近世の大井氏館跡遺跡が位置する。本遺跡が中世から近世にかけての中心的な集落とするならば、大井氏館跡遺跡は近世川越街道整備以後の中心的な宿場および集落とみることができる。 いずれにしても、町内における砂川堀流域の本村遺跡周辺は旧石器時代から現代にかけて良好な生活・住環境であったことがわかる。

2018 年 4 月現在 134 地点で調査を行い、旧石器時代の礫群・石器集中、縄文時代の落とし穴・炉穴、中世～近世の掘立柱建物跡・方形竪穴状遺構・井戸・溝・柵列・地下式壙・荼毘跡などを多数検出している。

第 82 図　本村遺跡の地形と調査区（1/5,000）

第 49 表　本村遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間（　）は試掘調査	面積（㎡）	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	市沢2-10、市沢3-1・2（弁天後１）	1985.8.27～30	2,000	農地転用	遺構遺物なし	なし
2	大井280-1他（弁天後２）	1987.9.1～12.4	2,500	土地区画整理	旧石器、縄文：集石、落とし穴、土坑	大調７
3	大井111、113-1・2、114-1、115-1、282（弁天後３）	1988.9.5～1989.1.13	3,600	土地区画整理	縄文：落とし穴、土坑、中世：井戸、土坑、溝、掘立柱建物跡、地下式坑	大調７
	大井2-20-（東原１）	1978.7.27～8.5	40	町史編纂事業	遺構遺物なし	大史12
	大井2-20-（東原２）	1979.4.29～5.6	80	町史編纂事業	地下式坑、ピット、土坑	大史12
	大井2-20-（東原３）	1980.12.25～1981.1.5	130	町史編纂事業	地下式坑、ピット、土坑	大史12
4	大井189、190、191、192（東原４）	1987.12.8～1988.1.29	1,872	土地区画整理	縄文：落とし穴、中世井戸、第六天	大調７
5	大井143、144-2（東原５）	1989.1.13～2.3	1,600	土地区画整理	中世：井戸、土坑、溝、掘立柱建物跡	大調７
6	大井149、160、164-1（東原６）	1989.5.15～6.15	1,565	土地区画整理	旧石器礫群、縄文：落とし穴、中世：土坑、溝	大調７
7	大井134の一部（東原７）	1989.8.2～31	500	土地区画整理	諸磯Ｃ式土器、堀之内式土器	大調７
8	大井134	（1989.9.11～13） 1989.9.30～1991.7.11	13,161	小学校グランド	縄文：落とし穴、中世：土坑、溝、掘立柱建物跡	大調４・東部Ⅹ
9	大井138	（1989.12.4）	200	ゲートボール場	盛土保存	東部Ⅹ
10	大井172-1	1989.2.21～28	500	範囲確認調査	縄文：落とし穴	東部Ⅹ
11	大井82-3	（1990.2.7～22）	370	範囲確認調査	旧河道の北側落ち込み	東部Ⅹ
12	大井240、241-4	1990.5.8～9	340	個人住宅	土坑、常滑片	東部Ⅺ
13	大井180	1990.7.25～26	428	個人住宅	土坑	東部Ⅺ
14	大井151、152、154～157	1990.9.17～10.31	2,160	土地区画整理	井戸２、土坑36、溝４	大調７
15	大井100、106～109、344	1990.10.1～11.30	2,820	土地区画整理	井戸13、土坑26、溝６、掘立柱建物跡１	大調７
16	大井110-2	（1990.11.6～13）	230	学童保育所	井戸１、溝２	東部Ⅺ
17	大井146、149	1991.1.7～3.7	1,270	事務所	旧石器：礫群、ブロック６、縄文：炉穴４、土坑２、中世：柵列、溝２、地下式坑１、段切	大調３
18	大井110	1991.4.1～6.11	252	フェンス工事	旧石器：礫群２、中世：井戸６、溝４、地下式坑５、土坑15	大調３
19	大井110-2	1991.4.1～6.11	1,420	土地区画整理	旧石器：礫群２、中世：井戸６、溝４、地下式坑５、土坑16	大調７
20	大井253-1	1991.5.21～6.14	1,150	個人住宅	井戸２、土坑３、溝１	町内Ⅰ
21	大井81-3、364	1991.6.17～8.31	1,772	土地区画整理	井戸１、溝６、地下式坑２、土坑６、柱穴列	大調７
22	大井108、109	1991.7.15～31	110	個人住宅	縄文土器、石器、陶器、磁器、ガラス、瓦、板碑、針金	町内Ⅰ
23	大井169	1991.8.29～30	268	個人住宅	溝１	町内Ⅰ
24	大井110-2	1992.2.28～7.31	4,646	土地区画整理	旧石器：礫群、中世：井戸24、地下式坑10、掘立柱建物跡、溝６、土坑40	大調７
25	大井107	（1992.5.21）	370	倉庫建設	ピット	町内Ⅱ
26	大井348、369、370の一部	（1992.10.4～7）	575.7	個人住宅	遺構遺物なし	町内Ⅱ
27	大井145	（1992.10.27）	1,101	個人住宅	遺構遺物なし	町内Ⅱ
28	大井21-2、137、143、150、156、159、373-1	1992.12.1～1993.2.28	4,358	土地区画整理	縄文：土坑、中世：段切２、井戸３、地下式坑７、掘立柱建物、土坑３、近世：土坑墓６	大調７
29	大井159	1993.5.20～6.4	330	土地区画整理	地下式坑３、ピット、土坑	大調７
30	大井155	（1993.7.28～7.30）1993.8.6～25	411	個人住宅	溝１、土坑１、ピット25	町内Ⅲ
31	大井154、155	1994.8.4～5	484	共同住宅	井戸２、地下式坑２、溝１、土坑14	大調７
32	大井351	1994.11.9～25	14,310	共同住宅	縄文：落とし穴	町内Ⅲ
33	大井107、427-1	1994.11.11	337	駐車場造成	段切状遺構、土坑	町内Ⅲ
34	大井533-5	1994.12.2～3	1,013	共同住宅	遺構遺物なし	町内Ⅲ
35	大井357-1	（1994.4.4～12）	452	共同住宅	遺構遺物なし	町内Ⅳ
36	大井101-9-10	（1994.7.28～8.4）1994.9.2～10.31	890	共同住宅	旧石器：礫群２、縄文：落とし穴、土坑、中世：井戸２、溝３、土坑16、柵列、ピット	大調12
37	大井251	（1994.8.31～9.2）	596	事務所	遺構遺物なし	町内Ⅳ
38	大井253	（1994.8.30～9.7）	264	個人住宅	中世～近世の溝１	町内Ⅳ
39	大井124-1	（1994.11.9～16）	805	共同住宅	遺構遺物なし	町内Ⅳ
40	大井321-1	（1994.11.22）	131	宅地分譲	遺構遺物なし	町内Ⅳ
41	大井325	（1994.11.15～22）1994.11.29～12.7	614	宅地分譲	近代のゴミ穴	大調12
42	大井326	（1994.11.15～22）1994.11.29～12.7		宅地分譲	近代のゴミ穴	大調12
43	大井153-2・3	（1995.1.12～19）1995.2.23～3.29	704	宅地開発	縄文：土坑、中世：井戸１、土坑３、溝１、水路跡	大調12
44	大井287-1	（1995.2.17～28）1995.4.10～5.25	1,198	共同住宅	縄文：落とし穴１、土坑３、中世：井戸１、溝１、土坑１、柵列、ピット34	大調12
45	大井253他	（1995.6.18～7.17）	324	個人住宅	縄文：落とし穴１、中世：溝５、土坑14、ピット23	町内Ⅴ
46	大井126	1995.6.1～7.28	744	共同住宅	中世：土坑15、ピット７、南側旧河床	大調12
47	大井253、255	（1995.7.18～28）	608	宅地分譲	土坑２	町内Ⅴ
48	大井140	（1995.9.18～19）1995.9.30～11.20	1,122	宅地分譲	中世：井戸11、掘立柱建物跡７、溝２、地下式坑３、土坑14、柵列４、水路	大調12
49	大井333	（1996.1.10～11）1996.1.16～2.3	280	個人住宅	溝１、土坑５、ピット51、北側埋没河川	町内Ⅴ
50	大井106	（1996.2.20～24）	571	個人住宅	遺構遺物なし	町内Ⅴ
51	大井350、360他	（1996.3.21～27）1996.4.3～5.30	2,412	共同住宅	旧石器、縄文：落とし穴８、集石土坑２、中世：井戸２、土坑１、柵列	大調12・町内Ⅴ
52	大井328	（1997.4.10～25）	140	倉庫	地下式坑３、掘立柱建物跡１、土坑６、ピット24	町内Ⅵ
53	大井243-2、244-1、289-1	（1997.4.17～6.25）	275	個人・分譲住宅	礫群１、土坑４、近世：溝４	町内Ⅵ
54	大井3491-2	（1997.4.11～17）	207	個人住宅	溝	町内Ⅵ
55	大井125-1、38-2	（1996.5.23～30）1996.6.25～7.31	936	共同住宅	旧石器：石器群２、礫群５、中世：溝１、土坑26、柵列、焼土跡、ピット21	大調12・町内Ⅵ
56	大井302-1	（1996.7.18～19）1996.7.24～8.7	243	個人住宅	地下式坑１（21地点で確認の地下式坑）	大調12・町内Ⅵ
57	大井331	（1996.8.28～29）	300	共同住宅	遺構遺物なし	町内Ⅵ
58	大井279、282	（1996.12.24～1997.1.9）	284	店舗併用住宅	土坑１	町内Ⅵ
59	大井365-2	（1997.2.12）	331	共同住宅	遺構遺物なし	町内Ⅵ
60	大井129	（1997.6.2～14）	320	分譲住宅	礫集中５・ピット３	町内Ⅶ
61	大井76	（1997.6.4～14）	134	個人住宅	井戸１	町内Ⅶ
62	大井342	（1997.6.30～7.18） 1997.10.21～1998.1.20	391	共同住宅	旧石器：礫群１、縄文：落とし穴、中世：井戸５、溝16、土坑98、柵列２、ピット、地下式坑２、掘立柱建物跡、竪穴状遺構	大調12・町内Ⅶ
63	大井380	（1998.10.31～11.1）	154	個人住宅	遺構遺物なし	町内Ⅶ
64	市沢2-8-2	（1998.10.13～18）	134	個人住宅	ピット１	町内Ⅶ
65	大井110-2	（1998.3.6～13）1998.4.16～5.21	391	学校増築	旧石器：礫群５、中世：溝１、土坑２、ピット13	大調12
66	大井2-8-8・9	（1999.2.7～16）	179	駐車場造成	近世以降：溝、ピット	町内Ⅶ
67	市沢2-1-4	（1999.3.25～26）	140	個人住宅	遺構遺物なし	町内Ⅶ
68	大井182	（1999.4.17～21）	302	個人住宅	落とし穴１	町内Ⅷ
69	大井1-4-5	（1999.8.24）	116	個人住宅	遺構遺物なし	町内Ⅷ
70	大井2-12-7	（1999.9.4）	354	個人住宅	縄文：ピット１	町内Ⅷ
71	大井2-7-3	（1999.10.12）	116	個人住宅	ピット	町内Ⅷ
72	市沢2-12-12	（1999.11.12）	210	アスファルト駐車場	ピット	町内Ⅷ
73	市沢2-14-1	（1999.11.12）	156	個人住宅	遺構遺物なし	町内Ⅷ
74	大井108-2・3・6・7	（1999.1.11～19）1999.2.8～17	1,495	共同住宅	中世：溝４、土坑２、ピット18、柵列１	町内Ⅷ
75	市沢2-1-2	（1999.1.18）	224	個人住宅	遺構遺物なし（地山は水成堆積した黒色土）	町内Ⅷ
76	大井1-4-6	（1999.5.15～18）	118	個人住宅	遺構遺物なし	町内Ⅸ
77	市沢2-6-18・19	（1999.7.27～8.2）	538	駐車場造成	ピット１	町内Ⅸ
78	市沢2-6-6	（1999.9.20）	158	個人住宅	ピット１	町内Ⅸ
79	大井2-19-9	（1999.10.22～30）	642	個人住宅	集石土坑１、ピット２	町内Ⅸ
80	大井2-11-2	（1999.10.26～30）	204	個人住宅	縄文：土坑２、ピット１	町内Ⅸ
81	大井2-7-3	（1999.12.8～10）	117	個人住宅	遺構遺物なし	町内Ⅸ
82	市沢2-6-11	（1999.12.9～10）	171	個人住宅	遺構遺物なし	町内Ⅸ
83	市沢2-8-4	1999.12.9～13	181	個人住宅	遺構遺物なし	町内Ⅸ
84	市沢2-7-6	（1999.12.24～2000.1.31） 2000.2.2～3.6	1,310	共同住宅	縄文：落とし穴１、中世：段切、井戸２、茶毘跡１、掘立柱建物跡10、土坑26、溝２、柵列２	大調15
85	大井2-7-2	（2000.1.6）	409	個人住宅	遺構遺物なし	町内Ⅸ

地点	所在地	調査期間（　）は試掘調査	面積（㎡）	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
86	大井2-19-1～4・14	（2000.4.19～5.11）2000.5.15～6.29	5,745	公衆浴場	古代：木炭窯１、中世：掘立柱建物跡１、段切１、地下式坑５、井戸６、溝13、茶毘跡３、土坑墓97、柵列２、ピット531	大調15・町内Ⅹ
87	大井2-12-2	（2000.5.31～6.3）	165	個人住宅	旧河川流域路・ピット３	町内Ⅹ
88	大井2-17-6	（2000.6.27～7.3）	154	個人住宅	用水路	町内Ⅹ
89	市沢2-11-1・2	（2000.7.19～8.1）	326	分譲住宅	縄文：落とし穴１、イモピツ	町内Ⅹ
90	大井2-7-4・5	（2000.8.31～9.22）	540	店舗	縄文：集石１、近世溝	町内Ⅹ
91	大井2-12-2	（2000.9.25～27）	37	個人住宅	旧河川流域路	町内Ⅹ
92	大井2-14-11	（2000.10.10）	25	個人住宅	旧河川流域路	町内Ⅹ
93	大井2-20-9	（2001.2.16～21）	283	社員寮	ピット	町内Ⅹ
94	大井2-18-6	（2001.2.17～19）2001.2.20～3.6	87	個人住宅	中世：溝６、土坑１、ピット７、近世：溝４	町内Ⅹ
95	大井2-7-10	（2001.3.6～9）	41	個人住宅	遺構遺物なし	町内Ⅹ
96	市沢2-8-5	（2001.7.10～13）	99	個人住宅	遺構遺物なし	町内Ⅺ
97	大井1-7-11	（2001.7.11～12）	41	個人住宅	遺構遺物なし	町内Ⅺ
98	大井2-9-3	（2001.12.17～19）	17	学童保育所	溝２	町内Ⅺ
99	市沢2-1	（2002.6.19～21）2002.7.1～31	300	共同住宅	旧石器：礫群４、石器集中１、中世：土坑４、柵列１	大調15・町内Ⅻ
100	大井2-20-7	（2002.8.20～26）	463	分譲住宅	遺構遺物なし	町内Ⅻ
101	大井2-11-3	（2002.9.30～10.4）	217	店舗併用住宅	溝	町内Ⅻ
102	市沢2-8	（2002.11.11～15） 2002.12.11～2003.2.10	1,264	共同住宅	縄文：落とし穴、古代以降：井戸７、柱穴列８、溝４、土坑11、道路状遺構	大調15
103	大井143	（2003.2.13～18）	237	個人住宅	土坑１、ピット１	町内Ⅻ
104	市沢3-4-1	（2003.5.14～30）	804	共同住宅	縄文：炉穴４、中世：段切遺構、地下式坑２、溝３、土坑４、ピット36	町内Ⅻ
105	大井2-12-4	（2003.6.4～6）	131	個人住宅	土坑１	町内Ⅻ
106	大井2-1-11	（2003.7.2～8）	135	分譲住宅	遺構遺物なし	町内Ⅻ
107	大井2-12-4	（2003.7.3～5）	130	個人住宅	溝１、土坑１、ピット１	町内Ⅻ
108	市沢2-6-25	（2003.7.17～23）	109	個人住宅	ピット５	町内Ⅻ
109	市沢2-6-26	（2003.7.17～23）	114	個人住宅	遺構遺物なし	町内Ⅻ
110	市沢2-6-27	（2003.10.16～18）	101	個人住宅	遺構遺物なし	町内Ⅻ
111	大井2-16-2	2003.11.21～12.11	1,033	分譲住宅	縄文：炉穴１、風倒木痕２、中世：溝１、地下式坑２、土坑１、木炭窯１、不明遺構１、ピット10	大調21
112	市沢1-17-16	（2004.7.27）	289	共同住宅	遺構遺物なし	町内Ⅻ
113	大井2-4-8	2002.8.22	1,051	駐車場造成	遺構遺物なし	町内Ⅻ
113-b	市沢2-2-3	（2005.5.9～10）	27	個人住宅	柵列の一部	市内２
114	市沢3-2-1・12	（2005.10.21～28）	129	分譲住宅	遺構遺物なし	市内２
115	市沢2-10-6	（2005.11.21～29） 2005.12.19～2006.1.31	170	分譲住宅	中世掘建柱建物跡、井戸、土坑、ピット、溝	市内２
116	市沢2-10-4の一部	（2006.1.17）	9	個人住宅	遺構遺物なし	市内２
117	大井2-11-4・6	（2006.3.22～4.14）	1,487	店舗	溝、土坑、柵列	市内２
118	市沢2-12-13	（2006.5.24～25）2006.5.25	80	個人住宅	縄文：落とし穴１	市内３
119	市沢3-4-24	（2008.5.27～6.4）2008.6.4～25	559	共同住宅	中世：地下式坑２、土坑16、ピット58	市内５・６
120	市沢2-2-2	（2008.12.18）	141	個人住宅	遺構遺物なし	市内６
121	市沢2-11-9	（2009.4.22）	150	個人住宅	遺構遺物なし	市内８
122	市沢2-11-9・26・27	（2009.5.27～6.3）	301	宅地造成	中世：地下式坑	市内８
123	市沢2-7-2	（2010.7.5～9）	619.57	宅地造成（４区画）	遺構遺物なし	市内10
124	市沢2-6-1	（2010.7.8～12）2010.7.12	428	宅地造成（３区画）	中世：土坑１	市内10
125	大井2-12-17	（2010.9.6）	143	個人住宅	遺構遺物なし	市内10
126	大井2-12-2	（2010.10.4～6）	611	個人住宅	遺構遺物なし	市内10
127	大井2-12-5・16・18	（2010.11.4～8）	417	分譲住宅	遺構遺物なし	市内10
128	大井2-18-1	（2014.11.17～27）	327	分譲住宅	中近世溝２、井戸１、ピット９、土器片	市内20
129	市沢1-1-8	（2014.8.28）	262	個人住宅	遺構遺物なし	市内15
129	大井2-20-4	（2015.11.5～13）	1,253.99	宅地造成	ピット１、陶磁器	市内22
130	大井2-16-17	（2015.11.16～20）	776	分譲住宅	土坑1.ピット３、土器片	市内22
131	市沢2-8-2	（2016.3.4～8）	135.18	共同住宅	遺構遺物なし	市内22
132	大井2-17-9	（2016.8.4～5）	212	分譲住宅	溝１、陶磁器	未報告
133	大井2-7-6	（2016.10.11）	107.54	専用住宅	ピット３、遺物なし	未報告
134	大井2-20-2・3・9	（2017.6.5～19）	2,670.63	宅地造成 （開発道路築造）	遺構遺物なし	未報告

大調＝大井町遺跡調査会、大史＝大井町史料、東部＝東部遺跡群、町内＝町内遺跡群、市内＝市内遺跡群

Ⅱ　本村遺跡第 129 地点

（1）調査の概要

調査は宅地造成に伴うもので、原因者より 2015 年 8 月 20 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 11 月 5 日～ 13 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1.5 ～ 1.7 m のトレンチ 9 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 30 ～ 100 ㎝である。

調査の結果、ピット 1 基を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

また、トレンチ 6・9 以外で旧石器時代の調査を実施した。1 m 四方のトレンチを 2.5 ～ 3m 間隔を基本として設定し掘削を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。

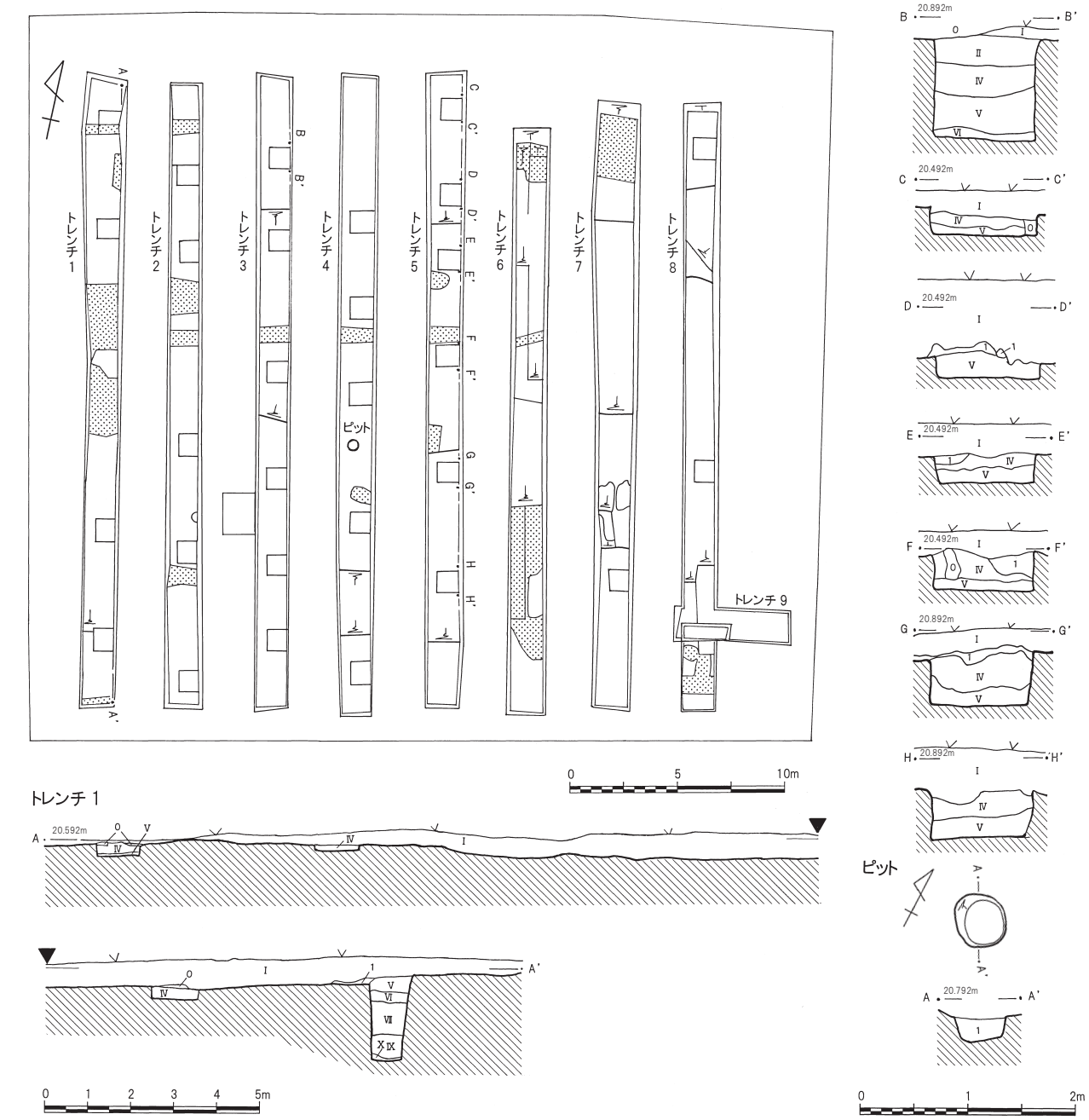
（2）遺構と遺物

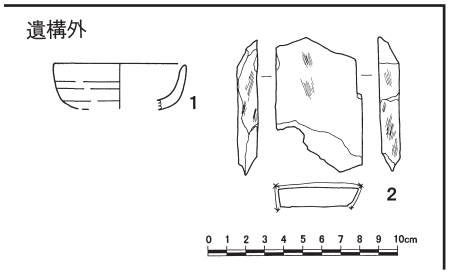
①ピット

ピットは調査区中央部、トレンチ 4 で検出した。平面形態は円形で、遺構の規模は確認面径 49 × 47 ㎝、底径 41 × 36 ㎝、深さ 27.1 ㎝である。土層の観察より中近世以降と推測される。出土遺物はない。

②出土遺物

出土遺物は 2 点で、どちらも遺構外の表土中より出土した。1 は陶器小坏の破片である。推定口径は (7.0) ㎝で高台等は欠損しているため不明である。内外面に灰釉を施す。瀬戸・美濃産で 18 世紀後半～ 19 世紀に帰属するものと考えられる。2 は砥石の破片で、長さ (7.1) ㎝、幅 4.5 ㎝、厚さ (1.0) ㎝、重量 43.35g である。にぶい赤橙色の粘板岩製で、3 面に使用痕が確認できる。近世以降と考えられる。





Ⅰ. 表土
Ⅱ. 黒褐色土　ローム粒僅かに含む
Ⅳ. 褐色土　ハードローム　1mm 以下白色粒子多く含む、 立川ロームⅣ層
Ⅴ. 暗褐色土　ハードローム　1mm 以下白色粒子多く含む、 立川ロームⅤ層
Ⅵ. 褐色土　ハードローム　1mm 程度の赤褐色粒多く含む、 立川ロームⅥ層
Ⅶ. 黄褐色土　小礫、 1mm 以下赤色粒子多く含む、 立川ロームⅦ層
Ⅸ. 黒褐色土　1mm 以下白色粒子含む、 立川ロームⅨ層
Ⅹ. 混入物少ない、 立川ロームⅩ層
0. 撹乱
1. 黒褐色土　締りやや強、 粘性強、 5cm 以下ロームブロック・2mm 以下ローム粒多く、 炭化物粒僅かに含む、 耕作土か
ピット
1. 黒褐色土　締りやや強、 粘性やや強、 1mm 大ローム粒多く、 1mm 大炭化物・同赤色粒少し含む

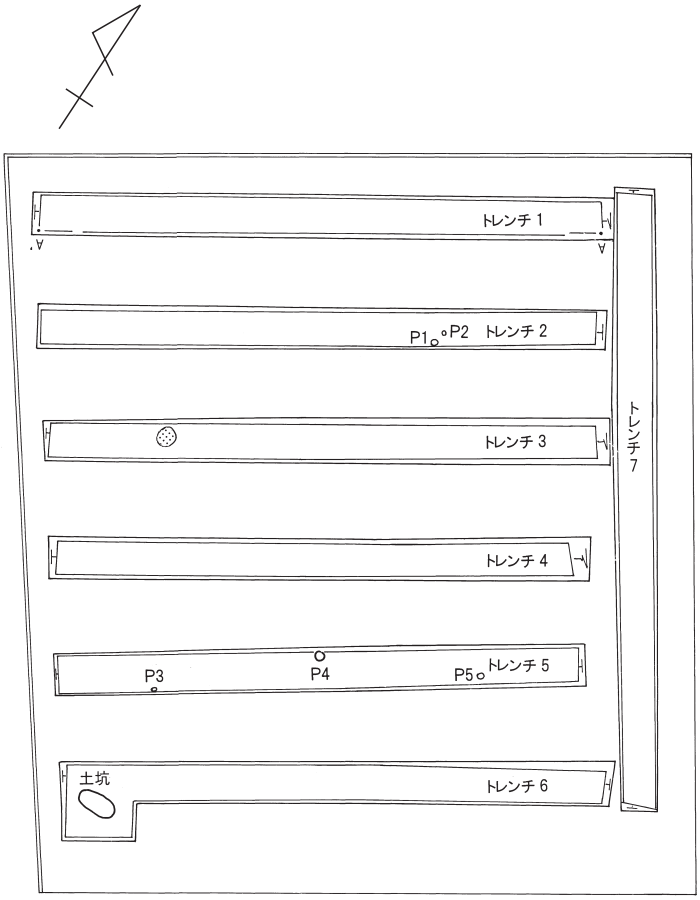
第 83 図　本村遺跡第 129 地点遺構配置図（1/300)、土層 (1/60・1/150)、ピット (1/60)、出土遺物 (1/4)

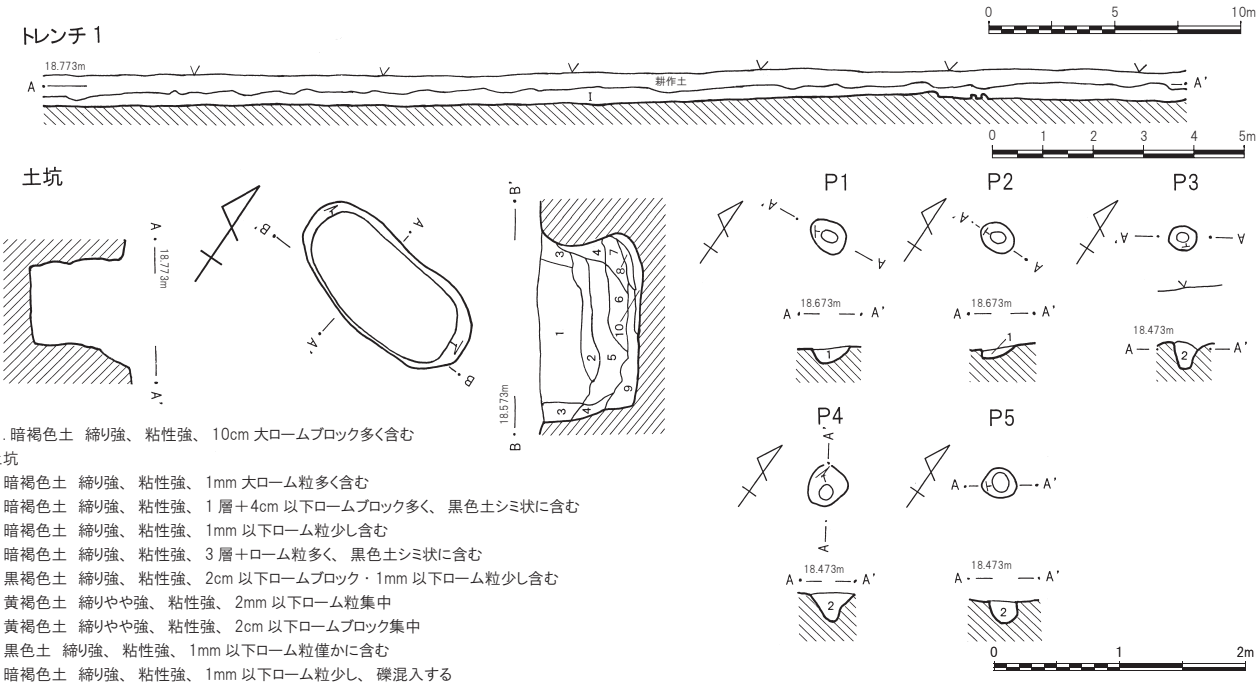
Ⅲ　本村遺跡第 130 地点

（1）調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 10 月 23 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 11 月 16 日～ 20 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1.5 ～ 1.7m のトレンチ 7 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 50 ～ 60 ㎝である。

調査の結果、土坑 1 基とピット 5 基を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の調査は実施していない。





第 50 表　本村遺跡第 130 地点ピット一覧表（単位㎝）

新No.	平面形態	確認面径	底径	深さ
1	円形	31×25	13×10	13
2	円形	28×21	11×10	12
3	円形	21×18	10×7	20
4	方形	33×32	11×10	22
5	円形	27×23	16×13	16

第 84 図　本村遺跡第 130 地点遺構配置図（1/300）、土層 (1/150)、土坑・ピット (1/60)、出土遺物 (1/4)

（2）遺構と遺物

①土坑

土坑は調査区の南西、トレンチ 6 の西端で検出した。平面形態は楕円形で、遺構の規模は確認面径 161 × 72 ㎝、底径 141 × 65 ㎝、深さ 79.6 ㎝である。土層の観察から近世以降に帰属するものと考えられる。出土遺物はない。

②ピット

調査区内で検出した 5 基のピットの詳細については第 50 表に掲載した。いずれも土層の観察から中近世以降のものと思われる。出土遺物はない。

③出土遺物

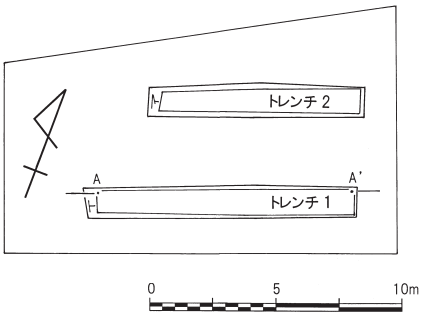
遺構外で小型の深鉢土器の底部破片が出土した。底径は推定約 6.5 ㎝で、外面及び底部に丁寧にミガキを施す。胎土に黒色粒子と微細な白色粒子を含む。底部中心の厚みがなく、最も薄い部分では 5 ㎜程度である。縄文時代中期か。

Ⅳ　本村遺跡第 131 地点

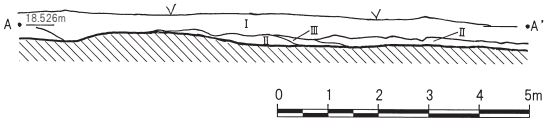
（1）調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より 2016 年 3 月 1 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部やや北側に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016 年 3 月 4 ～ 8 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1.2m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。

本地点は埋没河岸の上に位置しており、大井・苗間第一土地区画整理時に黒色土を全て漉き取り、ローム質の黄褐色土と黒色土を盛土している。調査の結果、現地表面から 80 ㎝下でも地山ローム層は確認できなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



トレンチ 1



Ⅰ. 黒褐色土　締り弱、粘性有、2mm 以下ローム粒僅かに含む、耕作土
Ⅱ. 黄褐色土　締り弱、粘性有、ローム埋土
Ⅲ. 黒褐色土　締り弱、粘性有、Ⅰ層とⅡ層が混じる層

第 85 図　本村遺跡第 131 地点調査区域図（1/300）、土層 (1/150)

第 22 章　東台遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

東台遺跡は東武東上線ふじみ野駅の南約 1 ㎞、砂川堀右岸の台地上に位置する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。標高は 24 ～ 26m で砂川堀との比高差は約 5m で急崖を成し、左岸が緩やかな傾斜を成すのとは対照的である。

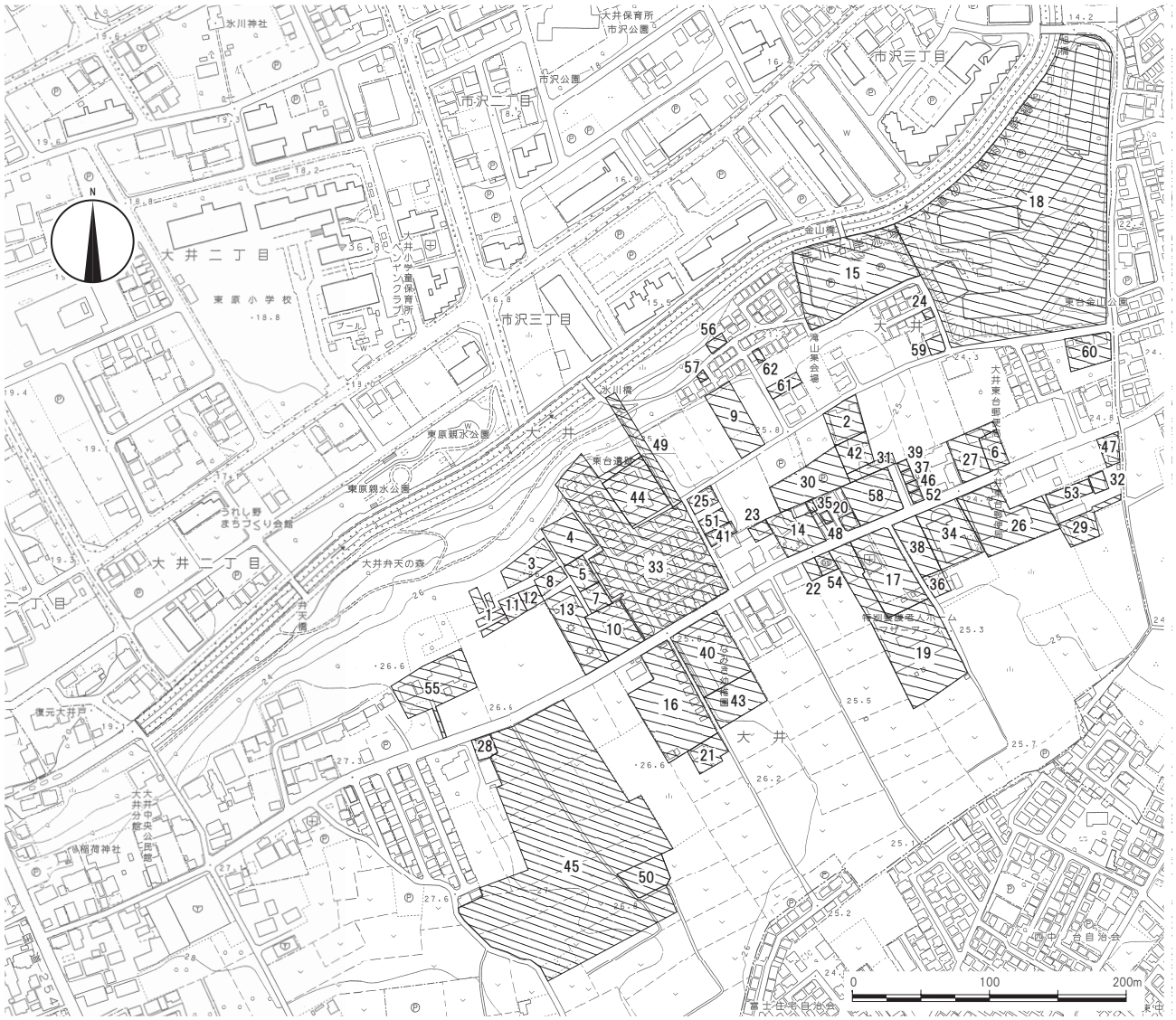
遺跡内には砂川堀に向かって小さな埋没谷が数本確認されている。遺跡の範囲は東西 700m、南北 250m、遺跡面積約 170,000 ㎡、市内で最大規模の遺跡であり、約 17％の 30,000 ㎡を調査している。

2018 年 4 月現在、62 地点で調査を行っている。旧石器時代の調査では、第 18 地点の調査で埋没谷に沿った崖沿いにⅥ・Ⅶ層～Ⅳ層下部のナイフ型石器を伴う礫群等が分布する。

縄文時代の調査では、住居跡等多数の遺構と遺物が確認されている。特に中期の住居跡は双環状に配置しており武蔵野台地縁辺部における拠点集落の一つである。

奈良・平安時代には遺跡の北東部の第 15・18 地点で 8 世紀後半の製鉄炉や木炭窯など、県内でも有数の規模と古さを誇る製鉄関連遺跡を検出している。

周辺の遺跡は、砂川堀右岸の西約 50m に大井戸上遺跡、西約 300m に旧石器時代の西台遺跡が位置する。また、砂川堀を挟んだ左岸に旧石器時代～近世の本村遺跡と大井氏館跡遺跡が位置する。今後、旧石器時代では西台遺跡・本村遺跡との関係が、奈良・平安時代から中世にかけては本村遺跡、大井氏館跡遺跡との関係が注目される。



第 86 図　東台遺跡の地形と調査区（1/5,000）

第 51 表　東台遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間（　）は試掘調査	面積㎡）	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	大井東台	1981.		町史編纂	遺構なし、縄文中期土器	
2	大井東台640-4	1981.12.14～1982.2.13	667	宅地造成	縄文中期住居跡12、旧石器時代石器	東Ⅲ
3	大井東台672	1982.5.19～6.15	666	宅地造成	炉穴７、土坑２、柱穴群	東Ⅳ
4	大井東台671	1982.6.17～11.18	587	農地転用	旧石器ユニット、縄文中期住居跡３、後期住居跡１、集石４、土坑14、溝	東Ⅳ
5	大井東台	1983.7.25～8.9	195	町史編纂	縄文中期住居跡２、土坑１	東台遺跡
6	大井東台	1984.1.9～1.12		宅地造成	縄文中期住居跡１	
7	大井東台670-2	1984.5.15～6.13		共同住宅	縄文中期住居跡４、後期住居跡１	
8	大井東台672	1984.8.18～9.21	345	町史編纂	縄文中期住居跡１、炉穴２、土坑14	東台遺跡Ⅱ
9	大井東台	1984.10.25～1985.2.15	1,000	駐車場	旧石器礫群、縄文中期住居跡22、後期住居跡１、炉穴、ピット群	町資Ⅰ
10	大井東台670-1	1985.10.1～11.25	896	住宅	縄文中期住居跡５、土坑５	東Ⅵ
11	大井東台673	1986.1.14～3.20	660	宅地造成	縄文中期住居跡２、集石土坑３、土坑１、ピット	東Ⅵ
12	大井東台673	1987.5.6～6.26	330	転地返し	縄文早期住居跡１、土坑18、平安時代住居跡２、溝１	東Ⅶ
13	大井東台670-6	1988.1.14～2.27	971	倉庫	縄文中期住居跡９、集石１、土坑９、ピット20	東Ⅷ
14	大井東台649-16他	1988.1.27～2.24	735	住宅	縄文中期住居跡12、屋外埋甕１、集石土坑１、土坑８、ピット38	東Ⅸ
15	大井市沢577-1他	（1989.10.17～11.10）1989.11.17～1990.8.1	700	住宅	落とし穴１、木炭窯１、粘土採掘坑２、奈良・平安土器	東Ⅹ
16	大井713-4・5	（1990.8.1～4）	3,048	資材置場	縄文中期住居跡１、土坑１	東Ⅺ
17	大井621-1	（1990.9.5～12）1990.10.9～12.27	1,470	診療所	縄文中期住居跡８、土坑30、ピット94、柵列	東Ⅺ
18	大井529-1、588	（1991.3.11～5.20）1992.2.24～1994.7.5	20,000	共同住宅	旧石器礫群、石器集中17、落とし穴１、竪形製鉄炉７、木炭窯９、採掘坑４、土坑９、溝、柵列、道路跡、平安土器	東台製鉄遺跡
19	大井621	（1992.5.31～6.7）	4,489	特養新設	縄文中期住居跡８	町Ⅰ
20	大井649-27	1992.1.30	5	個人住宅	縄文中期住居跡１	町Ⅲ
21	大井713-11・12	1992.3.7～11	299	個人住宅	遺構無し、縄文土器片	町Ⅲ
22	大井651-6	（1994.5.10～11）1994.5.30～7.30	146	店舗	縄文中期住居跡６、土坑１	調13集
23	大井649-12・13	（1995.6.23～27）	285	個人住宅	縄文中期住居跡２	町Ⅳ
24	大井634-20	（1995.7.6）	58	個人住宅	縄文時代集石、土坑	町Ⅳ
25	大井648-13・14	1995.10.22～12.16	296	個人住宅	縄文中期住居跡５、後期住居跡１、袋状土坑１、土坑10、ピット６	町Ⅳ
26	大井東台601-1・4・5	（1996.11.6～18）1997.1.14～3.18	2,248	共同住宅	縄文中期住居跡１、土坑３、落とし穴１、ピット24	調13集
27	大井600-1	（1997.2.19）1997.2.19～3.14	965	個人住宅	縄文中期住居跡１、炉穴１、土坑１、落とし穴１、ピット44	町Ⅵ
28	大井東台710-4	（1997.3.17～19）	231	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	町Ⅵ
29	大井東台606-3	（1998.2.27～3.3）1998.3.4～5	500	個人住宅	縄文早期炉穴９、ピット２	町Ⅶ
30	大井640-1	（1998.11.4～12）	1,330	駐車場	縄文中期住居跡１、屋外炉、ピット	町Ⅷ
31	大井630-3、640-8	（1999.5.7～21）	186	道路築造	縄文中期住居跡２	町Ⅸ
32	大井603-1	（2000.8.4～9）	92	製茶工場	ピット３	町Ⅹ
33	大井662-1	（2000.8.4～8）2000.8.10～2001.1.25	7,076	分譲住宅	石器群４、礫群４、縄文中期住居跡30、後期住居跡４、掘立柱建物跡１、炉穴14、集石土坑４、他	町Ⅹ
34	大井東台624-2	（2002.3.12～25）2002.3.26～5.8	1,414	共同住宅	縄文中期住居跡５、土坑11、ピット16	町Ⅺ
35	大井東台649-31	（2001.9.6～8）	48	個人住宅	縄文中期住居跡１	町Ⅺ
36	大井東台614	（2001.10.15～11.2）	272	倉庫	ピット５、土器片	町Ⅺ
37	大井東台626-12	2001.10.12～11.5	100	個人住宅	縄文中期住居跡２、ピット１	町Ⅺ
38	大井東台614-3	（2002.1.28～2.15）	787	駐車場	縄文中期住居跡１、竪穴状遺構１、集石土坑２、土坑２、ピット２	町Ⅺ
39	大井626-8	（2002.6.3～20）	100	個人住宅	ピット３、縄文土器片、石屑	町Ⅻ
40	大井661	（2003.10.6～11.4）	1,875	幼稚園	土坑６、ピット10、柵列	町Ⅻ
41	大井東台648-4	（2004.5.11～14）	182	個人住宅	縄文中期住居跡３、集石１、土坑１、屋外ピット１	町Ⅻ
42	大井640-7	（2004.9.7～17）	515	教会	縄文中期住居跡２、落とし穴１、土坑３、ピット20	町Ⅻ
43	大井東台661-6	（2005.1.13）	964	駐車場	ピット４	町Ⅻ
44	大井東台664-15	2005.12.8～28	200	個人住宅	縄文中期住居跡１、後期住居跡２、土坑５、ピット９	市２
45	大井東台710-1、711-1、717-1・2	（2006.5.31～9.1）2006.9.8～2007.3.7	7,971	東台小学校	縄文中期住居跡１、後期住居跡２、土坑５、ピット10	市３
46	大井東台626-11	（2006.9.4～6）2006.9.15～28	100.02	個人住宅	縄文中期住居跡２、集石２、土坑１	市３
47	大井東台602-4・5	（2006.9.19～20）	320	個人住宅	遺構遺物なし	市３
48	大井東台649-21	（2007.1.16～26）	60	個人住宅	縄文中期住居跡３	市３
49	大井東台646、647-1、665	（2008.1.28～30、2.4～19）2008.1.31～2.1	174	東台小学校通学路築造	縄文時代中期～後期住居跡１検出・５軒を確認、屋外埋甕１、粘土採掘坑１、土坑１、ピット１、溝６	市４
50	大井東台716-1の一部	2008.7.14～22	646	東台小学校プール	遺構遺物なし	市６
51	大井東台648-2	（2009.3.10～18）2009.3.18～5.7	296	個人住宅	縄文時代中期住居跡６、土坑４、ピット14、縄文土器、石器	市６
52	大井東台626-8・14	2009.5.12～19	100	分譲住宅	縄文時代中期住居跡２確認	市８
53	大井東台603-1	（2011.8.8～18）	1,251	工場	井戸１、縄文土器	市14
54	大井東台651-6・13・14	（2011.9.5～12）	309.3	店舗	縄文時代住居跡１、縄文土器	市14
55	大井東台694-2・3	（2011.9.20～22）	1,268	個人住宅	遺構遺物なし	市14
56	大井東台字市沢296-4	（2012.1.11）	59.6	分譲住宅	遺構遺物なし	市14
57	大井東台644-9の一部	（2013.4.5～10）	31.4	個人住宅	遺構遺物なし	市18
58	大井東台625-1	（2014.7.3～8.4）	1,175.47	店舗	縄文時代住居跡15、土坑３、縄文土器、石器	市20
59	大井東台633-6	（2014.7.15）	145.91	個人住宅	遺構なし、土器片	市20
60	大井597	（2015.7.7）	687.77	個人住宅	遺構なし、土器片	市22
61	大井東台639-25	（2016.9.21）	249.00	個人住宅	ピット２、縄文土器、石器	未報告
62	大井東台638-17	（2017.12.25）	57.96	個人住宅	時期不明ピット１、遺物なし	未報告

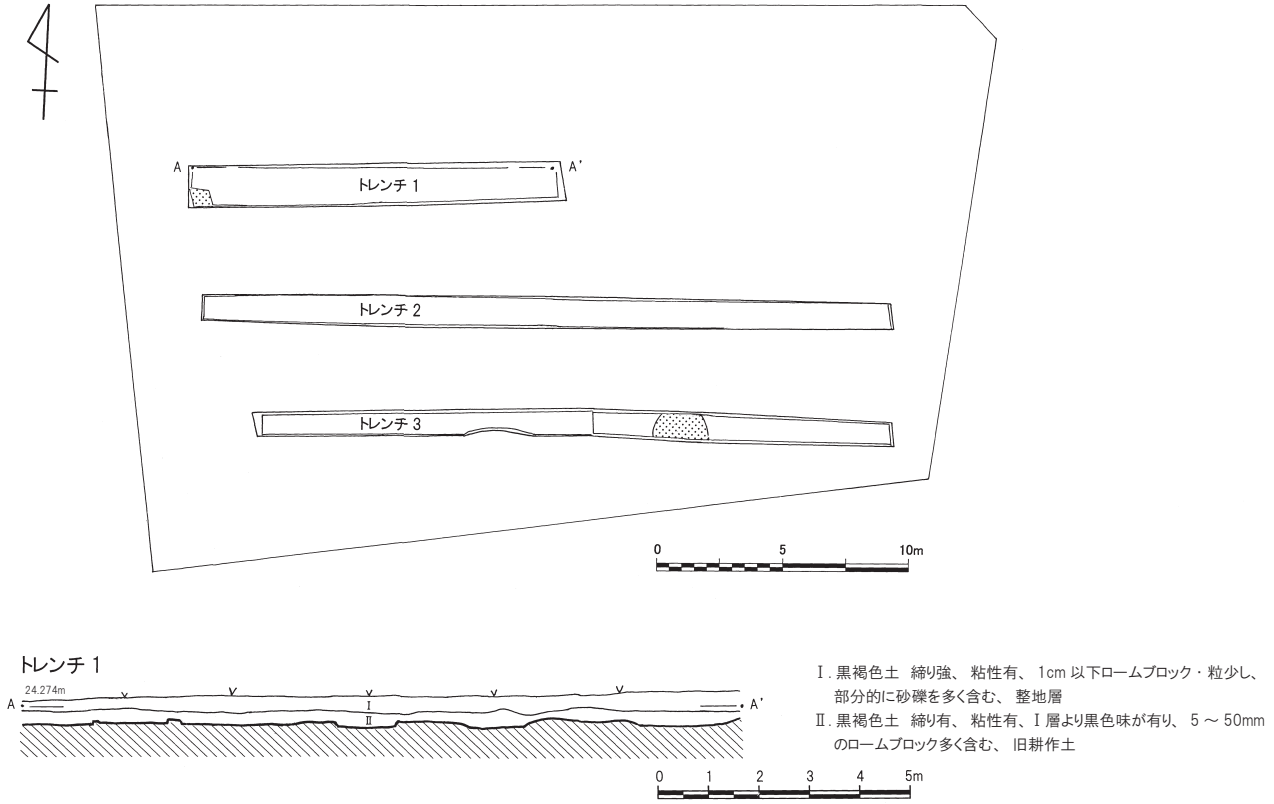
※東：大井町東部遺跡群、町：大井町町内遺跡群、町資：大井町史資料編Ⅰ、調査会報告：大井町遺跡調査会報告、市：ふじみ野市市内遺跡群

Ⅱ　東台遺跡第 60 地点

（1）調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 6 月 19 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 7 月 7 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1 ～ 1.5m のトレンチ 3 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面より 30 ～ 45 ㎝下で地山ローム層を確認した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の調査は行っていない。



第 87 図　東台遺跡第 60 地点調査区域図（1/300）、土層 (1/150)

第 23 章　まとめ

2015 年度は試掘調査が 48 件、うち本調査となったものが 8 件であった。ハケ遺跡第 19 地点、及び第 20 地点については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第 22 集『市内遺跡群 21』（2018 年 3 月刊行）で、その他の本調査についてはふじみ野市埋蔵文化財調査報告第 20 集『市内遺跡群 19』（2017 年 3 月刊行）にて報告済みであるため割愛する。よって今回は上記以外の地点について時代ごとに概観する。

【縄文時代】

縄文時代の遺構としては、まず西遺跡第 2 地点及び第 3 地点が挙げられる。第 2 地点で 3 軒、第 3 地点で 3 軒の縄文時代住居跡を検出した。いずれも本調査は実施していないため詳細は不明であるが、覆土中の出土遺物から概ね縄文時代中期の勝坂Ⅱ～加曽利ＥⅡ式期にまとまるものと考えられる。特に第 3 地点は 1992 年及び 2007 年に調査を実施した第 1 地点に隣接しており、同一の集落であると考えられる。今回の 2 地点の調査によって、さらに西遺跡の縄文時代中期中葉から後葉にかけての集落範囲の広がりが確認できた。

もう 1 点特筆すべきは西ノ原遺跡第 164 地点の調査である。今回の調査では縄文時代中期の屋外埋甕を 1 基検出した。埋設されていた土器は口径 47.2 ㎝を測る大型土器である。逆位に埋設されており、底部を欠損するという特徴を持つ。本地点の北側に隣接する第 19 地点及び南側に隣接する第 70 地点の調査でも屋外埋甕を検出している。1996 年刊行の『西ノ原遺跡』によれば、両地点合わせて 6 基の埋甕を確認しており、いずれも加曽利ＥⅡ式期か並行関係にある曽利Ⅲ式期に該当する。また、6 基とも逆位で埋設されており、他の遺構と複合しないという特徴を有する。本地点の屋外埋甕も時期・特徴ともに共通しており、両地点と合わせて一体を成すものと考えられる。大型の埋設土器を有する土坑は墓壙であった可能性が指摘されている。仮にいずれの埋甕を墓壙であるとすれば、本地点を含めた一帯は墓域であったと考えられる。今回の調査は西ノ原遺跡の集落における居住域と墓域との関係を考える上で、貴重な発見であったと言えよう。今後の調査に期待したい。

【古代】

古代の遺跡としてはまず滝遺跡第 26 地点及び第 27 地点が挙げられる。両地点合わせて 3 軒の住居跡を検出した。出土遺物から 42 号住居跡、44 号住居跡は 7 世紀後半、43 号住居跡は 8 世紀中頃以降に位置づけられる。滝遺跡のこれまでの調査成果から、古墳時代前半期（4 世紀代）と後半期（6 世紀）、そして 7 ～ 8 世紀にかけての住居跡が確認されている。特に 7 世紀後半から 8 世紀にかけて増加傾向にあり、今回の調査結果もこれを補強する。滝遺跡は、遺跡範囲に対して調査面積が多くないため、今後の調査が進めば集落の全体像の解明だけでなく、隣接する権現山古墳群との関連や、長宮遺跡、松山遺跡との関係などが明らかになるであろう。

川崎遺跡第 42 地点では平安時代の住居跡 1 軒を検出した。プランのみ検出のため遺構の詳細は不明だが、覆土上層から出土した土器から 9 世紀後半頃と考えられる。川崎遺跡では、現在までに古墳時代から平安時代中頃までの住居跡を 80 軒確認している。中でも 8 世紀の後半から 10 世紀初頭にかけて連綿と集落が形成される傾向にある。特に今回検出した住居跡と同時期である 9 世紀代の住居跡が、現在判明している中で最も多い。また、緑釉陶器、灰釉陶器、墨書土器が出土する住居跡や掘立柱建物跡も確認されており、古墳時代から 10 世紀後半まで続く集落形成の中で最盛期であったと考えられる。

松山遺跡第 84 地点では、第 45 地点の調査で検出した H35 号住居跡の北西隅を確認した。第 45 地点の調査では南側 1/2 の調査であったため、遺構の規模が明らかになっていなかったが、今回の調査で 504 × 480 ㎝の住居跡であることが判明した。

【中近世・近代】

中近世にかけては各地点で多くの溝及び堀跡を確認した。以下に特筆すべき地点について言及する。

まず滝遺跡第 26 地点では溝 2 条を検出した。そのうち、北側に位置する溝 1 は東西方向に走行する。溝の性格や時期は不明であるが、規模や走行方向から、本地点の東側約 50m に位置する第 14 地点で検出した溝 2 と同一である可能性が高い。

松山遺跡第 82 地点では南北方向に走行する堀跡 1

本を検出した。断面は薬研状を呈している。これまでの調査で、1999 年試掘‐5、2001 年試掘‐3、2004 年試掘‐5、第 43、45、62、64 地点の各地点において確認された堀跡に続くものである。土層の観察から耐水していた形跡が見られないため、水路のような役割ではなかったものと考えられる。第 43 地点以北に関しては未調査であるため、全長がどのくらいの規模であったかは判然としない。しかし 1795（寛政 6）年の「福岡村・中福岡村・福岡新田絵図面」（冨田初美家文書）を見ると、江川から北側の田んぼへ水を引くための用水が描かれている。現在も残る長宮氷川神社の位置や古い道路等を踏まえて考えると、今回第 82 地点で検出した堀跡はこの絵図面に描かれた用水路に当たる可能性が高い。今後、北側部分の調査が進むと全容が明らかになるだろう。

近代では、大井氏館跡遺跡第 26 地点の調査で大井宿関連の遺物等を確認した。特に遺構は確認されなかったが、調査区南側のトレンチ内で炭化物と焼土が集中する土層が確認された。おそらく明治期に大井宿で起きた 3 度の大火に関連するものと考えられる。3 度のうち、どの時期の火災が原因なのかはわからないが、本地点は大井宿下組に位置していることから、下組で被害の出た 1 度目または 2 度目の火災に関連するものではないかと推測できる。

最後にハケ遺跡第 16 地点出土人物埴輪の破片分析について報告する。ハケ遺跡第 16 地点は新河岸川右岸に位置し、隣接する第 19 地点と合わせて古墳時代後期の古墳群である。本地点では、周溝の一部から人物埴輪をはじめとする多量の埴輪が出土し、これをハケ遺跡古墳群 1 号墳とした。調査の詳細については、『ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第 22 集　市内遺跡群 21』の中で報告済みである。今回、平成 31 年 1 月 23 日付で市指定文化財に指定された人物埴輪 7 点に使用された胎土の産地を特定するための調査として、海綿骨針（白色針状物質）混入の有無の調査を埼玉県立川越女子高等学校の松岡喜久次氏に依頼した。結果として、わずかではあるが海綿骨針（白色針状物質）が確認された。このことから、ハケ遺跡古墳群 1 号墳出土の人物埴輪は、比企丘陵の土を使用して製作されたことが判明した。通常、材料となる粘土等は製作地の近辺で調達したものと考えられるため、これらの人物埴輪も比企丘陵の近くの工房で製作されたものである可能性が一段と高くなった。

〈参考文献〉

・大井町史編さん委員会編　1988 『大井町史　通史編　下巻』
・大井町遺跡調査会編　1996 『西ノ原遺跡』
・上福岡市教育委員会・上福岡市史編纂委員会編　2000 『上福岡市史　通史編　上巻』
・埼玉県大井遺跡調査会　2009 『大井遺跡調査会報告第21集　中沢前遺跡Ⅰ・本村遺跡Ⅴ・大井宿遺跡Ⅰ』

附　編

ふじみ野市ハケ遺跡出土の埴輪の破片の分析

松岡喜久次（埼玉県立川越女子高等学校）

1　分析対象

A：14 ハケ 16-H5

B：14 ハケ 16-No.13

2　分析方法

（1）表面観察

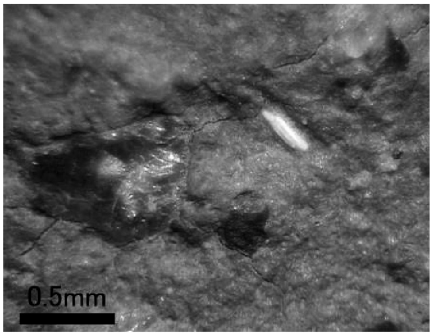
（2）切断面の観察と薄片の作成による鉱物観察

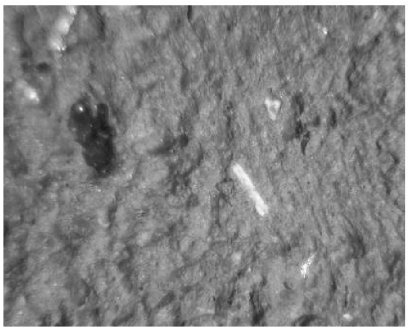
（3）試料の粉砕とフッ化水素酸で処理し、残渣の観察

3　分析結果

（1）表面観察

A　　B

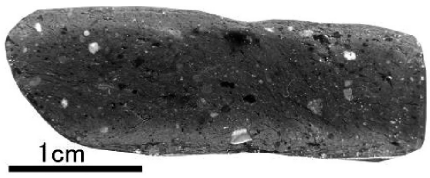


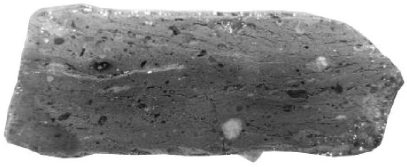


ＡとＢの試料の表面に、白色の針状の物質（海面骨針）がわずかに確認できた。長さは、それぞれ 0.3 ㎜である。

（2）切断面の観察と薄片の作成による鉱物観察

A　　B

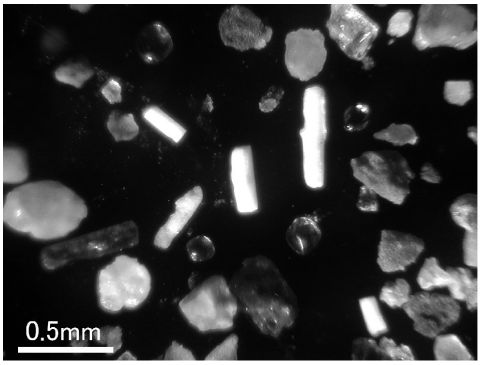


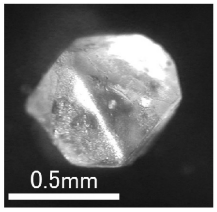


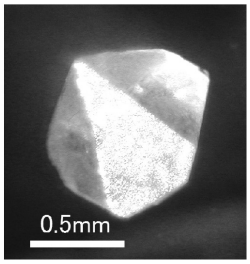
ＡとＢのそれぞれの試料には、多くの砂粒子が混在している。石英、チャート岩片が多く、長石、輝石、砂岩岩片、結晶片岩岩片が少量みられる。石英の外形は角ばっているが、チャート岩片はやや丸い。

（3）試料の粉砕とフッ化水素酸で処理し、残渣の観察

A　　A　　B







試料Ａの残渣から５本、試料Ａの残渣から１本の海面骨針がみつかった。海面骨針は白色の円筒形をし、長さ 0.5 ㎜である。放散虫化石はみつからなかった。また、試料ＡとＢから丸い石英や六角錐をした石英が多数みつかった。六角錐をした石英は、本来 12 面体の形をした高温石英の結晶であるが、一部が欠けている。

４　考察

海面骨針の産出はわずかであったが、埴輪の胎土に海面骨針が含まれる土が使われたと考えられる。松岡・鈴木（2014）および松岡（2014）は、須恵器から多くの海面骨針や放散虫化石を抽出し、比企丘陵に露出した粘土が胎土として利用されたと推定した。海面骨針を多く含む土は、深海性で放散虫化石を含む可能性が高い。埴輪の破片を大量に処理すれば、放散虫化石がみつかると考えられる。埴輪に海面骨針が含まれていることは、これまでの研究から比企丘陵で製作されたものと考えるのが妥当である。

また、高温石英の結晶が多数みつかったことから、高温石英を含む胎土を利用したことが明らかとなった。大澤ほか（1993）により比企丘陵の南東部において高温石英を含む火山灰質シルト層が発見されている。この地点は東松山市の桜山埴輪窯跡の近隣にあることから、桜山埴輪窯跡の周辺にも高温石英を含む火山灰質シルト層が露出していたと考えられる。

以上のことから、埴輪の胎土は比企丘陵の海面骨針を含む土と高温石英を含む火山灰質シルト層の土が利用されたと考えられる。一方、チャート、砂岩および結晶片岩の岩片は、都幾川や越辺川により由来されたものと考えられる。

文献

松岡（2014）須恵器に含まれる海綿骨針について．地学教育と科学運動，73：53 － 56.

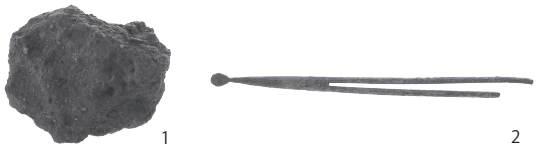
松岡喜久次・鈴木紀毅（2014）須恵器（土器）から発見された中新世中期の放散虫化石と胎土の起源となった層準の推定．地球科学，109-114.

大澤　進・楡井　尊・間室幸仁（1993）岩殿丘陵より産出した Fagus microcarpa を含む植物化石群．埼玉県立自然史博物館研究報告，11：7376.

鶴ヶ岡遺跡第 7 地点調査風景

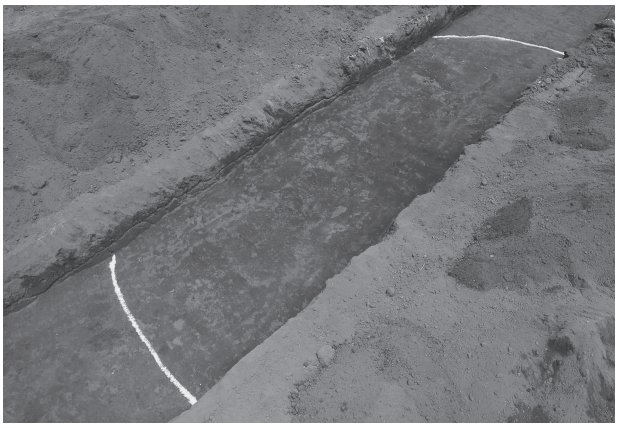
鶴ヶ岡遺跡第 7 地点土坑完掘状況

鶴ヶ岡遺跡第 7 地点トレンチ 8



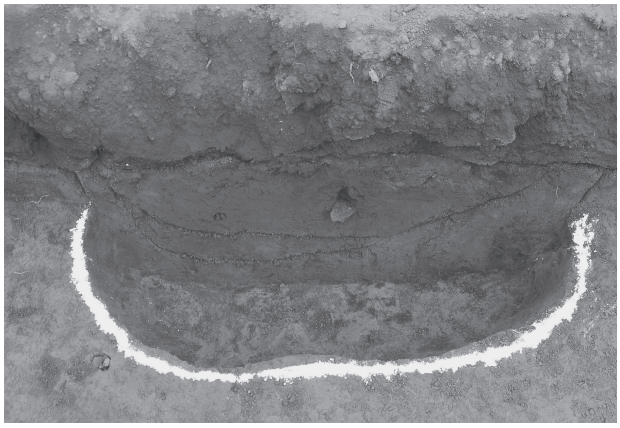
鶴ヶ岡遺跡第 7 地点出土遺物

西遺跡第 2 地点 24 号住居跡



西遺跡第 2 地点 25 号住居跡

西遺跡第 2 地点 26 号住居跡



西遺跡第 2 地点土坑 1